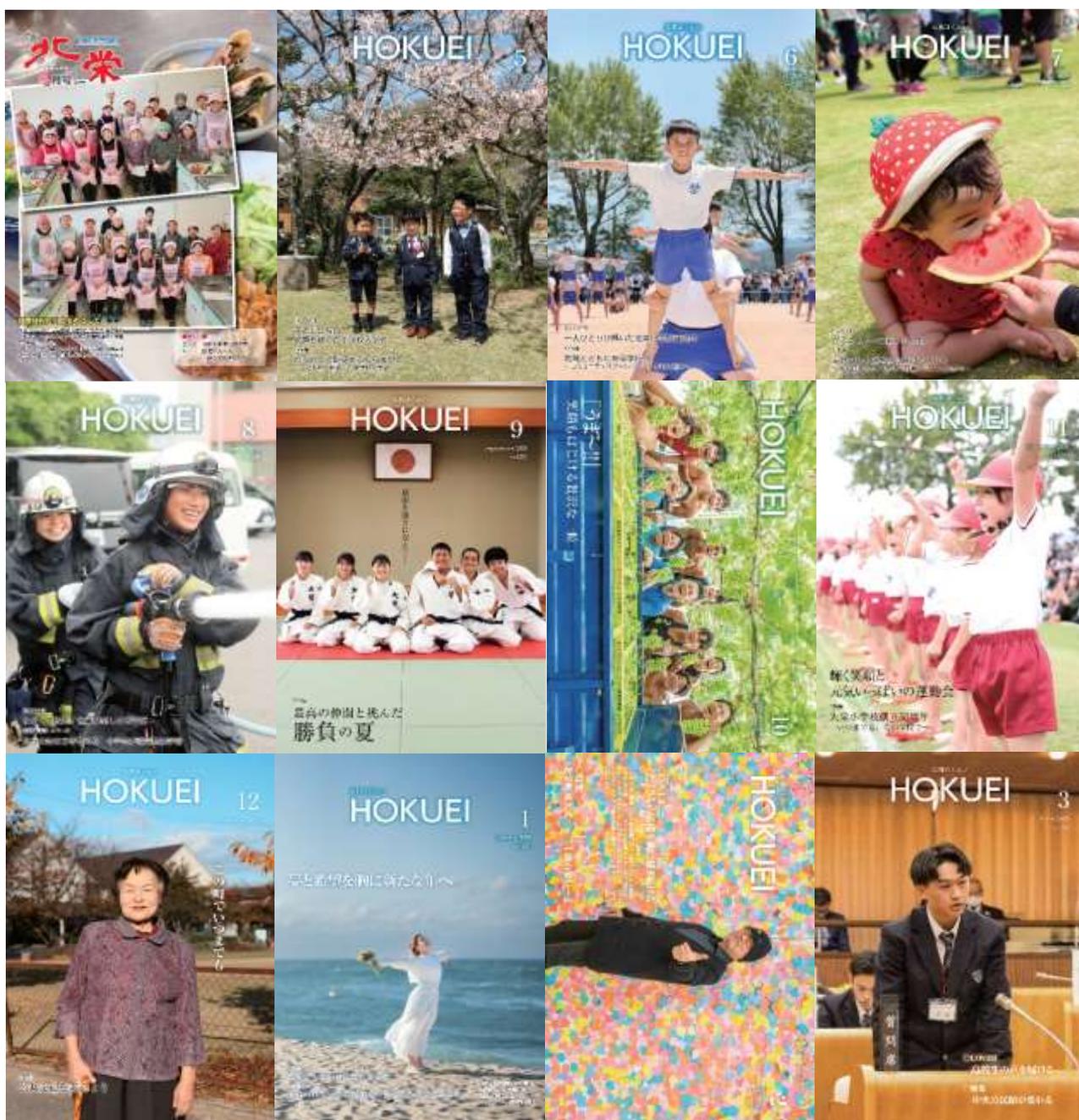


令和6年度

主要施策の成果



目

次

○ 一般会計

議会事務局、監査委員事務局	3	産業振興課	58
総務課	6	観光交流課	74
企画財政課	16	地域整備課	78
町民課	22	教育総務課	84
福祉課	28	生涯学習課	100
健康推進課	40	中央公民館	110
環境エネルギー課	49	図書館	114
農業委員会	55		

○ 特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計	117	後期高齢者医療事業特別会計	128
介護保険事業特別会計	119	水道事業会計	129
農業集落排水事業特別会計	124	下水道事業会計	131
栄財産区特別会計	125	風力発電事業会計	133
大栄歴史文化学習館特別会計	126		

○ 資料編

令和6年度各会計別決算状況	136
令和6年度一般会計決算状況	137
令和6年度普通会計決算状況	139
財政状況・財政指標の推移	142
健全化判断比率等の状況	147
健全化判断比率等の推移	154

款	1 議会費	項	1 議会費	予算現額	決算額
		目	1 議会費	108,146千円	107,591千円

①議員経費事業 5,099千円

(1) 本会議の開催状況

区分	R6年						R7年			
	第4回 臨時会	第5回 定例会	第6回 臨時会	第7回 定例会	第8回 臨時会	第9回 定例会	第1回 臨時会	第2回 臨時会	第3回 定例会	
招集日	5/23	6/4	7/16	9/5	10/15	12/3	1/14	2/20	3/4	
会期	1日	11日	1日	20日	1日	17日	1日	1日	21日	
会議日数	1日	5日	1日	5日	1日	6日	1日	1日	6日	
議案	町長提出	4件	6件	7件	23件	5件	8件	15件	2件	30件
	委員会提出	0件	4件	2件	0件	0件	1件	1件	0件	1件
	議員提出	0件	0件	0件	0件	0件	2件	0件	0件	0件
一般質問	-	9人	-	8人	-	8人	-	-	7	
	-	19問	-	14問	-	13問	-	-	15問	
傍聴者数	1人	18人	2人	22人	1人	24人	1人	0人	26人	

(2) 委員会、全員協議会の開催状況

区分	全員協議会	議会運営委員会	広報広聴 常任委員会	総務教育 常任委員会	民生経済 常任委員会	予算決算 常任委員会
会議日数	16日	20日	23日	8日	8日	6日

区分	特別委員会		
	道の駅整備	定数及び報酬等	ふるさと館再整備
会議日数	2日	8日	3日

(3) 請願・陳情状況

区分	受理件数	審査件数	その他
請願	1件	1件	0件
陳情	13件	9件	4件

(4) 意見書提出状況

提出件数 3件

(5) 調査研究活動及び議員研修旅費 3,389千円

【議員先進地視察調査研究】

○議会運営委員会：5/13～15

議会改革～デジタル戦略と、NOと言える議会を目指して～

- ・福島県磐梯町議会、会津若松市議会、西会津町議会

○総務教育常任委員会：10/17～18

- (1) コミュニティスクールの地域企業連携と不登校対策の個別サポートの取り組み
- (2) 全世代型豊かなデジタル生活浸透プロジェクト事業の取り組み

- ・大阪府富田林市中学校・高等学校
- ・徳島県神山町

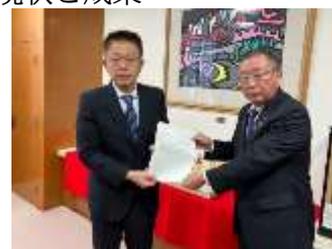
○民生経済常任委員会：10/8～10

- (1) 住民との協調を重視し、地域資源を活用した再生可能エネルギーを地域活性化につなげる取り組み
- (2) 陸上風力発電による地域振興、経済効果及び雇用創出の現状と成果

- ・青森県野辺地町、七戸町
- ・岩手県庁

【他団体との意見交換会】

- ・4/30、1/28総務教育常任委員会と教育委員との意見交換会
- ・7/3民生経済常任委員会と北栄町商工会役員との意見交換会
- ・8/13民生経済常任委員会と民生児童委員との意見交換会
- ・11/18民生経済常任委員会と農政委員会との意見交換会



委員会での意見を
まとめて提言へ

【議員研修】

- ・北栄町議会議員研修（議場）【全議員】
よくわかる市町村財政分析基礎講座
- ・町村議会議長・副議長研修会（東京都）【議長・副議長】
- ・鳥取県町村議会女性議員研修会（三朝町）【議員2人】
- ・鳥取県町村議会広報研修会（三朝町）【広報委員3人】
- ・町村議会広報研修会（東京都）【広報委員6人】
- ・町村議会議長全国大会（東京都）【議長】
- ・中部町村議会議員研修（湯梨浜町）【全議員】
- ・鳥取県町村議会議員研修会（三朝町）【全議員】
- ・市町村議会議員研修（滋賀県大津市）【議員9人】
- ・道の駅ほうじょう現地踏査【全議員】



北栄町議会議員研修（財政分析講座）
（講師：鳥取大学助教授 石山雄貴氏）

- (6) 議会報告会等の開催状況
議会出前座談会1回（六尾）
議会議員定数及び報酬等に関する報告会
（中央公民館大栄分館）



議会出前座談会（六尾自治会）

- (7) 議長交際費 220千円
議長または議会が行政執行上必要な外部との交際に
要した経費
慶弔費等 18件

- (8) 議会だより発行事業 1,483千円
発行回数 年4回 発行部数 5,400部

- (9) 高校生議会
鳥取中央育英高等学校生徒による高校生議会
11人の高校生が参加し、一般質問(11問)を実施
高校生議長(1人)・高校生議員(11人)



議長からアドバイスを
受ける高校生議長



県町村議会広報コンクールで
佳作を受賞した「議会だより」70号

【成果】

先進地への調査研究や議員研修に参加することで各位が議員としての責務を果たすべく自己研鑽に励み、資質向上に努めた。研修会への積極的な参加を通じて、政策理解を深め、住民の皆様へより良い提案ができるよう努力した。地域課題の解決に向け学びと実践を重ねた一年となった。

「議会報告会」や「議員定数及び報酬等に関する報告会」を実施して町民との意見交換の場を設け、いただいた課題や問題について各委員会で調査研究し、その成果をフィードバックすることに取り組んだ。さらには議員定数を2人減じ、改選後（R7.10.23）からは13人で議会を運営することとなり、より効率的で効果的な運営が求められている。

一般質問の1人あたりの質問時間を、質問と答弁を合わせて60分に変更することで、傍聴しやすい環境の整備にも取り組んだ。

そのほか、議会だよりを発行し、情報公開、情報発信を積極的に行うことができた。高校生議会を開催し、若い世代に町政への関心を持ってもらうことができた。

②事務局経費事業 4,863千円

- ・会議録調製並びに検索システム委託 3,973千円
定例会・臨時会の会議録を調製し、ホームページで公開した。

【成果】 議会の情報公開、情報発信を広く行うことができた。
（議長交際費の公開、会議結果の公表等）

③議会関係負担金事業 1,957千円

- ・県議長会負担金 1,749千円
- ・中部議長会負担金 208千円

款	2 総務費	項	6 監査委員費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 監査委員費	1,401千円	1,354千円

①監査委員事業 1,354千円

- (1) 監査委員 2人
 ・ 識見監査委員（代表監査委員）
 ・ 議会選出監査委員



定期監査報告

(2) 活動状況

○検査

- ・ 例月出納検査 12回（毎月1回）
- ・ 現金及び現金等価物実査（年1回）

○監査

- ・ 定期監査（年2回）
5月
 - ・ 委託状況について
 - ・ 遊具安全点検



現地視察

11月

- ・ 補助金状況について
- ・ 工事状況について
- ・ 現地視察



町長への監査報告

○審査

- ・ 決算審査（11会計）
- ・ 基金の運用状況審査（17件）
- ・ 普通会計の財政健全化審査（8件）
- ・ 公営企業会計の経営健全化審査（3件）

○各種研修会

- ・ 鳥取県町村監査委員研修会：2回（湯梨浜町）
- ・ 中部町村監査委員協議会研修会：1回（北栄町）
- ・ 町村監査委員全国研修会（東京都 渋谷公会堂）
- ・ 市町村議員研修「自治体財政の見方」：1名参加（滋賀県大津市）

【成果】 年間監査計画を作成し、公正で合理的かつ能率的な町の行政運営の確保を行うことができた。定期監査では備品管理状況を監査し、新しい視点での内容を取り入れた。その他計画的に監査を実施し監査結果は講評や町長報告によりフィードバックしたほか、告示、ホームページ、町報により町民に向けて公表した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 一般管理費	1,354,856千円	1,313,998千円

①一般管理事業 161,543千円

・職員研修関係 2,947千円

団体等が実施する各種研修に参加させたほか、町単独でメンタルヘルス研修等を実施した。

(研修参加の状況)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央研修	1人	8人	4人
県自治研修	34人	80人	104人
町単独研修	839人	778人	631人

・町長交際費 1,035千円

(交際費の支出件数)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
支出件数	59件	84件	97件

・電話、郵便代等通信運搬費 17,603千円

・職員健康診断経費(ドック含む) 3,944千円

・公共施設廃棄物収集委託料 2,995千円

・北条支所窓口、庶務業務委託料 25,163千円

【成果】 職員を各種の研修に参加させ、職員の資質の向上及び能力開発を行った。また、民間で可能なことは民間に委託し、定型業務の効率化を図った。

②電算処理委託事業 74,335千円

公会計、住基、税務、給与、農業行政、保育料、選挙、町営住宅などの業務処理に係る経費を支出。

基幹システム運用委託：(株)鳥取県情報センター

【成果】 各業務の電算処理委託によって、事務の効率化を図った。標準化に向けた移行業務を行った。

③一般管理関係負担金事業 2,969千円

・県、中部町村会負担金 2,916千円

・行政不服審査会共同設置負担金 21千円

・安全運転運行管理者協議会負担金 30千円

④事務用品一括購入事業 2,430千円

・事務用品等消耗品費 2,430千円

⑤鳥取県中部ふるさと広域連合負担金事業 25,825千円

・管理費(一般管理費、議会費、監査委員費等) 21,421千円

・休日急患診療所及び病院輪番制病院運営費 4,404千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																												
		目	3 会計管理費	2,956千円	2,606千円																												
<p>①会計管理事業 2,606千円</p> <p>銀行オンラインシステム基本手数料等 464千円</p> <p>口座振込手数料(R6.10月～) 2,142千円</p> <p>【成果】 銀行オンラインシステムを利用した公金の口座振込等により、迅速確実に公金支払を行うことができた。</p>																																	
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																												
		目	4 財産管理費	482,731千円	406,370千円																												
<p>①町有財産管理事業 12,767千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町有建物災害共済保険料 6,864千円 ・町有施設電気設備保安委託料 4,437千円 <p>②大栄庁舎管理事業 37,364千円</p> <p>大栄庁舎の維持管理をするとともに、施設の老朽化に伴う修繕などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 10,732千円(大栄改善センターの電気料金含む) ・修繕費(施設修繕) 451千円 ・委託料(清掃、冷暖房機保守、植木管理など) 7,855千円 ・工事請負費(車庫シャッター更新、照明器具LED化など) 16,222千円 ・備品購入費(事務イスなど) 676千円 <p>③公用車管理事業 4,808千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用車燃料費 1,207千円 ・自動車損害共済保険料 1,299千円 <p>(大栄庁舎集中管理車両)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通乗用自動車</td> <td>3台</td> <td>3台</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>軽自動車</td> <td>12台</td> <td>11台</td> <td>9台</td> </tr> </tbody> </table> <p>④防災行政無線維持管理事業 8,181千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線保守点検業務委託 2,780千円 ・屋外子局移転工事 3,082千円 ・備品購入費(戸別受信機50台) 1,799千円 <p>(戸別受信機の設置状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R4年度末</th> <th>R5年度末</th> <th>R6年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般家庭</td> <td>5,032台</td> <td>5,056台</td> <td>5,064台</td> </tr> <tr> <td>企業等</td> <td>61台</td> <td>58台</td> <td>59台</td> </tr> <tr> <td>自治会・公共施設</td> <td>136台</td> <td>136台</td> <td>136台</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤天神いこいの広場管理事業 562千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 114千円 ・維持管理委託料 441千円(植木、トイレ、倒木撤去) <p>⑥天神桜づつみ管理事業 345千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理委託料 345千円(植木) 						区 分	R4年度	R5年度	R6年度	普通乗用自動車	3台	3台	3台	軽自動車	12台	11台	9台	区 分	R4年度末	R5年度末	R6年度末	一般家庭	5,032台	5,056台	5,064台	企業等	61台	58台	59台	自治会・公共施設	136台	136台	136台
区 分	R4年度	R5年度	R6年度																														
普通乗用自動車	3台	3台	3台																														
軽自動車	12台	11台	9台																														
区 分	R4年度末	R5年度末	R6年度末																														
一般家庭	5,032台	5,056台	5,064台																														
企業等	61台	58台	59台																														
自治会・公共施設	136台	136台	136台																														

⑦北条多目的広場管理事業 1,169千円

- ・光熱水費 65千円
- ・施設管理委託料 981千円（芝生、植木、トイレ）
- ・原材料費 20千円（芝生目土）

【成果】 芝生広場として地域に定着しつつあり、グラウンドゴルフ利用など定期的に利用する住民の姿を見られるようになった。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 北条庁舎管理費	9,177千円	8,482千円

①北条庁舎管理事業 8,482千円

- ・光熱水費 5,740千円
- ・施設管理委託料（警備、清掃、消防設備等） 1,444千円

（鳥取中部ふるさと広域連合からの事務所経費負担の状況）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
金 額	5,122千円	5,223千円	5,305千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 北条支所管理費	8,352千円	7,508千円

①北条支所管理事業 3,744千円

北条支所の総合窓口業務と北条健康福祉センターの維持管理を行った。

- ・光熱水費 1,567千円
- ・修繕費（建物・設備） 71千円（栄養指導室建具修繕等）
- ・施設管理委託料（警備、消防設備、清掃等） 717千円

（窓口取扱件数の状況）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
窓口取扱数	19,148件	19,776件	19,444件
うち現金取扱数	4,613件	5,540件	4,067件

（北条健康福祉センターの利用状況）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
回 数	197回	218回	106回
利用者	3,055人	4,745人	1,993人

②北条地区振興事業 2,524千円

あつまらいや北条を中心に住民有志が集い、北条地区振興の活動を実施した。

- ・印刷製本費（広報紙・ポスター） 242千円
- ・北条地区振興活動補助金 500千円
- ・集落支援員配置 1,692千円

【成果】 北条ふるさとまつりを始め、様々な事業により、北条地区に住民交流の場を提供した。



賑わった第7回北条ふるさとまつり

③公用車管理事業 1,240千円

(北条庁舎集中管理車両等)

区分	R4年度	R5年度	R6年度
軽自動車	1台	1台	1台
マイクロバス	2台	2台	2台
バス団体等利用件数	410件	672件	654件

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 北条改善センター費	5,261千円	4,923千円

①北条改善センター管理事業 4,923千円

- ・光熱水費 2,697千円
- ・施設修繕費（雨漏り修繕ほか） 1,157千円
- ・施設管理委託料（警備、消防設備、清掃等） 826千円

(センターの利用状況)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
回数	196回	183回	149回
利用者	17,549人	9,143人	10,397人

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 大栄改善センター費	2,733千円	2,731千円

①大栄改善センター管理事業 2,731千円

- ・光熱水費（ガス、上下水道） 1,115千円
- ・修繕費（水漏れ、排水管修繕など） 1,138千円

(センターの利用状況)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
回数	1,244回	952回	867回
利用者	16,267人	14,554人	16,164人

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	162,345千円	157,271千円

①コミュニティ助成事業 7,300千円

一般財団法人自治総合センターが実施する事業を活用し、自治会の設備等を整備した。

(補助金活用の状況)

R4年度	R5年度	R6年度
さつきヶ丘団地 東園、東亀谷、妻波	由良宿5区、米里、 駅前	瀬戸、別所、江北浜

【成果】 助成制度の活用により、自治会活動に必要な設備を購入することができ、自治会の財政的な負担軽減となった。

※写真は整備した設備の一部



エアコンの整備(瀬戸)



エアコンの整備(別所)



空気清浄機の整備(江北浜)

②自治体DX推進事業 35,683千円

副町長を最高情報責任者（CIO）とし、民間のデジタル専門人材をCIO補佐官とする体制で、北栄町DX推進計画に基づき、DXを推進した。

- ・ デジタル人材（CIO補佐官）支援業務委託料 811千円
- ・ 情報配信アプリ導入業務 34,089千円
- ・ 音声合成、文字起こし等利用料 673千円

【成果】 情報配信アプリの導入により、情報発信の多重化を図った。
文字起こしツールなどを導入し、議事録作成のための時間を削減するなど業務の効率化を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 自治会活動促進費	14,584千円	14,542千円

①自治会総合交付金事業 14,075千円

- (1) 自治会運営交付金 12,086千円
自治組織の活性化を図るため、全自治会に事務費等の補助を行った。
- (2) 防犯灯維持管理交付金 964千円
61自治会に対し、自治会が設置した防犯灯の電気料金の3分の1の補助を行った。
- (3) 再生可能エネルギー交付金 1,024千円
全自治会に対し、自治会が設置した太陽光発電設備などに対して補助を行った。

②自治会集会施設整備費補助金事業 467千円

- ・ 自治会が行った集会施設のバリアフリー化等整備に対し助成を行った。

（自治会補助の状況）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
自治会数	1自治会	8自治会	4自治会

【成果】 町と地域（自治会）との連携を強化するとともに、自治活動の推進を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	11 交通安全対策費	5,263千円	4,910千円

①交通安全対策事業 2,242千円

交通指導員を配置し、交通安全パトロール、イベント等で交通指導を行った。

- ・ 交通安全指導員出動手当 788千円

（交通指導員等の状況）

年 度		R4年度	R5年度	R6年度
交通指導員数（定員22名）		20人	20人	21人
活動 延人数	研修長時間指導	12人	10人	21人
	啓発パトロール等	252人	223人	333人

（本町で発生した交通死亡事故等の状況） …… 県警資料

年	R4年	R5年	R6年
交通事故死亡者数	1人	1人	1人
人身事故件数	28件	25件	29件

【成果】 全国交通安全運動期間の取組を中心に、交通事故の犠牲が多い子どもや高齢者への交通安全啓発を実施し、交通安全意識の向上を図った。

②交通安全施設整備事業 1,936千円

カーブミラーの新設、修繕を行った。

(カーブミラー整備等の状況)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
カーブミラー新設	1基	2基	1基(累計1,251基)
カーブミラー修繕	22基	30基	21基

③交通安全負担金事業／交通安全補助金事業 732千円

- ・倉吉地区交通安全指導員連絡協議会負担金 22千円
- ・交通安全協会倉吉地区協会負担金 6千円
- ・ルートナイン交通安全対策協議会負担金 20千円
- ・交通災害共済加入促進交付金 495千円
- ・交通安全協会北栄支部活動費補助金 189千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	12 光ファイバーネットワーク施設管理費	47,820千円	44,888千円

①光ファイバーネットワーク施設管理事業 44,888千円

各種情報の提供、地域住民のコミュニティの醸成を図るための光ファイバーネットワーク施設の管理を行った。

- ・光ファイバー施設修繕費 809千円
- ・光ファイバーネットワーク施設保守 25,696千円
- ・電柱共架料、自営柱用地借上料 6,867千円
- ・伝送路ケーブル新設・移設・撤去工事 7,873千円
- ・備品購入費(ONU 90台) 3,564千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 情報処理費	74,799千円	74,533千円

①情報処理事業 74,533千円

機器及び各庁舎及び出先施設を結ぶネットワークの維持管理等を行った。

- ・行政情報システム保守委託 13,086千円
- ・LGWAN機器等更新業務 11,495千円
- ・パソコン等備品購入費 4,727千円(パソコン41台)
- ・自治体ICT共同化推進等県負担金 2,643千円
- ・仮想基盤サーバー更新業務 35,750千円(繰越事業)

【成果】 庁内ネットワークの維持管理に努め、業務の効率化を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	14 防犯対策費	5,574千円	5,442千円

①防犯対策事業 5,542千円 ※風のまちづくり基金活用事業

- ・町設置防犯灯、カメラ電気料金 1,678千円
- ・LED化対策工事請負費 2,484千円
- ・環境にやさしいLED防犯灯整備補助金 820千円

(防犯灯整備等の状況)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
公設防犯灯整備	18灯	23灯	7灯(累計355灯)
自治会整備補助	11自治会	11自治会	18自治会

【成果】 町内の防犯、環境にやさしいまちづくりを推進した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	15 諸費	35千円	26千円

①自衛官募集事業 26千円

自衛隊鳥取地方本部倉吉地域事務所及び北栄町自衛隊友の会と連携し、自衛官募集にかかる広報、啓発活動を実施した。

(新入隊の状況)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
北栄町内	1人	1人	1人

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 選挙管理委員会費	199千円	100千円

①選挙管理委員会事業 100千円

選挙管理委員会の開催 4回開催
 ・委員会の主な内容
 各種選挙人名簿登録、裁判員候補者予定者の選定、検察審査員候補者の選定
 住民投票資格者名簿の作成、投票機会の確保対策と実施

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 選挙啓発費	76千円	30千円

①選挙啓発事業 30千円 (県明るい選挙推進協議会負担金含む)

北栄町明るい選挙推進協議会の開催 令和7年2月13日開催
 主権者教育に関する授業(選挙出前講座)の実施 令和7年2月25日開催
 明るい選挙啓発ポスター募集事業 令和6年5月～9月募集
 鳥取県明るい選挙推進協議会連合会負担金 4千円

【成果】 町内の学校で主権者教育に関する授業(選挙出前講座)を実施し、明るい選挙の推進を行い、政治や選挙に対する関心と理解を深めることができた。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 衆議院議員選挙費	11,346千円	11,270千円

①衆議院議員選挙事業 11,270千円

公示日 令和6年10月15日
 投票日 令和6年10月27日
 投票率 衆議院議員総選挙(小選挙区) 66.47%

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 常備消防費	224,908千円	223,696千円

①鳥取中部ふるさと広域連合負担金（消防）事業 223,696千円
常備消防として整備している鳥取中部ふるさと広域連合消防局への負担金支出。

（火災発生件数等）

区 分		R4年度	R5年度	R6年度
火災発生	北栄町内	7件	8件	5件
	広域連合内	38件	30件	27件
救急出動	北栄町内	659件	680件	732件
	広域連合内	5,350件	5,423件	5,469件

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 非常備消防費	12,372千円	11,955千円

①消防団活動事業 8,486千円

町消防団の消防活動における出動経費などの支弁を行うとともに、必要な消防ホースなどの消防器具や団員装備の整備を実施。

（町消防団の状況）

（人数は年度末）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団
実数／定員	93人／110人	89人／110人	83人／110人
うち女性団員数	8人	9人	9人

（町消防団の出動等の状況）

区分	R4年度		R5年度		R6年度		
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	
出 動	火 災	3件	128人	2件	44人	5件	69人
	非火災	1件	37人	1件	18人	1件	2人
	捜 索	0件	0人	0件	0人	1件	15人
	警 戒	0件	0人	2件	35人	1件	28人
操法水防訓練等	26件	273人	52件	699人	18件	412人	
会議・研修等	22件	55人	38件	170人	30件	157人	
火災予防広報等	54件	436人	60件	532人	57件	502人	

（消防ポンプ操法大会の状況）

大会名等	R4年度		R5年度		R6年度	
町操法大会	優勝	新型コロナウイルスの影響により中止	4分団		4分団	
	2位		3分団		3分団	
	3位		5分団		5分団	
郡操法大会	出場		4分団	3分団	4分団	
	順位		5位	8位	4位	
県操法大会	出場		出場なし		出場なし	
	順位					

【成果】 火災出動や警報発令時における警戒出動を行ったほか、操法訓練・水防訓練活動や、消防団員による防火啓発活動を行い、災害対応能力を強めた。

消防団員の減少が課題であり、自治会長会等で勧誘を行ったが、増員にはつながらなかった。今後も町報でのPRや各種会議で勧誘を行っていく。

②消防関係負担事業 3,469千円

- ・ 県、郡消防協会負担金 613千円
- ・ 鳥取県町村消防災害補償組合負担金 443千円
- ・ 消防団員退職報奨金掛金負担金 2,112千円

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 消防施設費		7,660千円

①消防施設設置事業 6,542千円

- ・ 消火栓工事負担金（水道会計へ） 2,602千円
- ・ 消火栓維持管理負担金（ 〃 ） 620千円

(消火栓修繕等の状況)

区分	R4年度	R5年度	R6年度
消火栓修繕	8か所	2か所	5か所
消火栓新設	-	-	1か所（累計891か所）
防火水槽	-	標識更新5	標識更新2、蓋取替1（累計109か所）

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 災害対策費		16,738千円

①災害対策事業 7,194千円

- ・ 備蓄品購入費 2,862千円（毛布、ベッド、テント）
- ・ 災害対策費用保険掛金 910千円
- ・ 感震ブレーカー設置補助 455千円

(防災訓練等の状況)

区分		R4年度	R5年度	R6年度
防災会議	開催日	R5.3.15	R6.3.22	R7.3.25
	内 容	計画の見直し等	計画の見直し等	計画の見直し等
防災訓練	開催日	R4.9.4	R5.9.3	R6.9.1
	主会場	大栄改善センター	北条改善センター	大栄改善センター
	想 定	水害/コロナ対策	水害	地震
防災士資格 取得(累計)	町職員	1人	2人	2人（累計19人）
	一 般	11人	4人	5人（累計46人）
他市町村災害への 職員応援派遣		派遣なし	能登半島地震6人	能登半島地震1人

(町の警戒等体制の配備状況) ※大雨等＝大雨警報、洪水警報 大雪等＝大雪警報、暴風雪警報

区分	R4年度	R5年度	R6年度
警戒体制配備	暴風2、大雪2	大雨等2、大雪1	大雨1、大雪1
非常体制配備	-	-	-
避難所開設	-	-	-
避難指示	-	-	-

②自主防災組織育成事業 4,507千円

自主防災組織、自衛消防団の運営や訓練、資機材購入に対して、交付金等を支給した。

(自主防災組織等の状況)

区 分	R4年度	R5年度	R6年度
自主防災組織数	48組織	48組織	48組織
自衛消防団(隊)数	50団、4隊	50団、4隊	50団、4隊
資機材整備組織数	44組織	34組織	37組織
訓練活動実施組織数	32組織	38組織	38組織

③空家等対策事業 1,942 千円

・助言等の実施件数 助言指導 22件、勧告 0件、命令 0件

(空家除却費助成等の状況)

区 分	R4年度	R5年度	R6年度
老朽危険空家 件数	4件	4件	3件
除却費助成 金額	6,539千円	4,396千円	1,832千円
空家把握数(年度末)	279件	276件	275件

【成果】 危険空家の除却を促し、地域住民の安心・安全に寄与した。

④自治会除雪活動支援事業 64 千円

(除雪等補助の状況) …1/2補助

区 分	R4年度	R5年度	R6年度
除雪費用	1,283千円/35自治会	846千円/34自治会	64千円/4自治会
除雪機購入	250千円/1自治会	750千円/3自治会	なし

⑤被災者住宅再建支援基金積立事業 1,275 千円

指定自然災害における被害世帯へ給付金を支給するための基金拠出 (H30年~10年間)

・被災者住宅再建支援負担金 1,275 千円

⑥災害対応人件費事業 440 千円

・警戒体制配備による職員給与費 440 千円

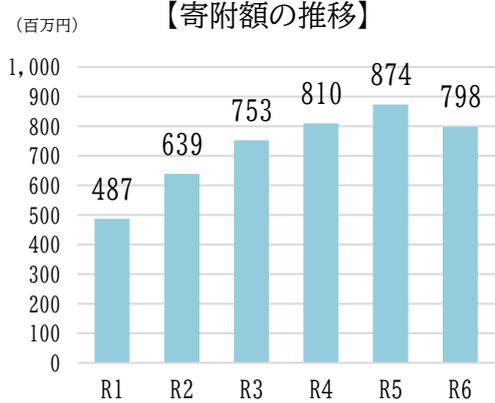
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 一般管理費	1,354,856千円	1,313,998千円

①ふるさと北栄基金事業 785,827千円

ふるさと納税制度を活用して受け入れた寄附金を財源として、返礼品送料やふるさと納税業務委託料などの返礼品に係る経費のほか、基金へ積立を行った。

《ふるさと納税に係る主な経費》

- ・ 返礼品の調達 242,556 千円
- ・ 受発注業務委託料等の事務 103,276 千円
- ・ 返礼品の送付 40,966 千円
- ・ ふるさと北栄基金への積立 372,725 千円



【成果】 町の貴重な財源を確保することができた。

②統一的な基準による地方公会計整備事業 534千円

財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）を作成した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 広報費	7,661千円	7,227千円

①広報事業 5,302千円

- ・ 町報印刷 3,886千円

「広報 ほくえい」発行

区 分	R4年度	R5年度	R6年度
ページ数（延べ）	252ページ	196ページ	212ページ
発行部数（部/月）	5,600	5,600	5,600

- ・ ホームページ保守業務 772千円
- ・ 外部広報誌仕分け作業委託料 141千円

【成果】 町報やSNSなど多様な情報媒体を活用し、町政の動きや町内の様々な情報を発信することができた。SNS運用については、目標の設定の仕方、定期的な分析と効果的な発信について研究が必要である。



広報ほくえい 2024年9月号

②町勢要覧作成事業 1,925千円

令和7年度発行に向け、委託業者と企画、デザイン案のすり合わせを行った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 財産管理費	482,731千円	406,370千円

①財政調整基金積立金事業 57,598千円

財政運営の安定のため、町の「貯金」にあたる財政調整基金を積み立てた。

(単位：千円)

	R4年度	R5年度	R6年度
基金残高	2,243,386	2,080,139	2,137,737

②減債基金積立金事業 129,111千円

将来の公債償負担の財源とするため減債基金を積み立てた。

(単位：千円)

	R4年度	R5年度	R6年度
基金残高	104,684	204,688	333,799

③普通財産管理事業 3,203千円

町有地の維持管理及び貸付、また、財産の売却を行った。

(単位：千円)

区分	R4年度	R5年度	R6年度
町有地貸付収入	4,148	4,015	3,901
財産売却収入	167,079	1,550	10,092

- ・町有地管理委託料 419千円
- ・由良駅、旧六尾北団地等修繕費 1,246千円
- ・旧町民スポーツ広場駐車場水路土砂撤去工事 627千円
- ・由良藩倉跡樹木伐採工事 245千円

【成果】 町有財産を適切に維持管理した。

また、未利用町有地の貸付と山陰道整備にかかる財産の売却により、自主財源を確保することができた。

④風のまちづくり基金積立金事業 50,000千円

北条風力発電所の収益の一部を環境施策や子どもの育成支援に活用するため、基金に積み立てた。

《風のまちづくり基金を活用した取組》基金繰入額 50,000千円

・創エネ設備等設置に対する補助金、省エネ住宅リフォーム補助金、省エネルギーの普及啓発、再生資源の収集、再生可能エネルギー等導入事業、再生資源の収集委託、防犯灯のLED化対策、こども園の運営ほか

⑤普通財産活用事業 100,000千円

売却した三陽合織跡地の利活用促進のため、建物解体等に要する経費の補助を行った。

【補助対象経費】

解体工事、場内整備工事、上下水道整備工事、残置物処分等

【成果】 該当物件の今後の有効活用を促進することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	162,345千円	157,271千円

①企画事業 7,123千円

- ・倉吉未来中心管理運営負担金 1,404千円
- ・住民満足度調査委託料 4,400千円
- ・自治基本条例審議会開催 2回
- ・まちづくりビジョン検討委員会開催 2回
- ・地方創生推進会議開催 2回
- ・男女共同参画審議会開催 1回

【成果】 自治基本条例やまちづくりビジョン、総合戦略、男女共同参画推進計画の点検を通じて、町の取組の方向性の確認や事業成果の振り返りができた。
住民満足度調査で町民の暮らしや地域等に対する満足度を把握・分析し、今後のウェルビーイング向上につなげるための基礎資料とすることができた。

②女性団体連絡協議会補助金事業 219千円

町内10団体で組織する女性団体連絡協議会の活動を支援した。

- ・女性団体連絡協議会補助金 219千円
 - 女性と町長と語る会
 - 男女共同参画フォーラム



女性と町長と語る会

【成果】 団体の活動を通じて町民の連携やネットワークづくりにつながった。

③地域の自立活性化活動支援交付金事業 480千円

地域の活性化・自立に向けて積極的な活動を行おうとするコミュニティに対し、活動に必要な交付金を交付した。

	R4年度	R5年度	R6年度
交付団体数	4団体	2団体	2団体

団体名	事業名・内容
つながるがっこう実行委員会	つながるがっこう（だがし屋出店、人形劇、空き家活用拠点づくり）
夢の図書館プロジェクト	レールトイin図書館、フォトコンテスト

【成果】 意欲ある団体の自主的な活動を支援し、地域の賑わいやまちづくりに参加する若者層の増加につなげた。支援終了後の事業継続が課題となっている。



だがし屋出店



空き家活用拠点づくり



レールトイin図書館

④交通対策事業 69,706千円

輸送人員の減少による利用者の減少で維持が困難なバス路線に対し、路線維持に必要な経費を補助した。

・路線維持費補助金 (単位：千円)

事業者	路線	R4年度	R5年度	R6年度
日交	北条線（西倉吉～倉吉駅～江北～由良駅）	5,124	6,109	7,753
日ノ丸	赤碕線（倉吉駅～由良駅入口～赤碕駅）	6,110	6,278	7,574
	栄線（倉吉駅～西亀谷）	702	636	719
合計		11,936	13,023	16,046

・乗りあいタクシー運行支援事業費補助金

区分	R4年度	R5年度	R6年度
利用者数（延べ）	302人	237人	207人
補助金額	640千円	522千円	488千円

・鳥取砂丘コナン空港連絡バス運行支援事業補助金

区分	R4年度	R5年度	R6年度
利用者数（延べ）	1,483人	2,544人	2,877人
補助金額	549千円	0円	0円

※利用者の増加により利用料が事業費を上回ったため補助なし

- ・共助交通運行支援事業補助金 367千円
- ・由良駅周辺の維持管理 1,846千円
- ・由良駅改修工事 49,236千円

【成果】 新たに「買い物支援さくら号」の運行を開始したことで共助交通の取組が広がり、住民の移動手段の確保につなげることができた。また、由良駅の無償譲渡を受け、耐震化などの改修工事を行った。

⑤しあわせ♡創生事業 855千円

若い男女が安心して結婚できるような環境づくり、新婚生活を応援する取組を行った。

出合いのイベント（鳥取中部ふるさと広域連合へ委託）

区分	R4年度	R5年度	R6年度
（出合いの）イベント開催	5回	6回	5回
イベント参加者	125人	160人	164人
カップル成立数	25組	17組	22組
（うち町民を含む組数）	（8組）	（4組）	（6組）

結婚新生活支援事業補助金

区分	R4年度	R5年度	R6年度
補助金額	1,200千円	1,500千円	600千円
件数	4件	4件	1件



えんトリ登録料支援

区分	R4年度	R5年度	R6年度
新規加入	5人	3人	5人
更新	1人	0人	6人

【成果】 参加しやすい工夫をしながら結婚に向けた出合いの場を提供した。女性の参加率が低いことやイベントで成立したカップルの継続率が低いことが課題。

⑥鳥取中央育英高校魅力化事業 3,649千円

鳥取中央育英高校の入学人数増に向けた取組を行った。

- ・高校魅力化専門員、高校魅力化マネージャー（1/14～）の配置 300千円
 - ・魅力発見チケット贈呈、魅力化動画作成 2,647千円
 - ・高校魅力化活動支援事業補助金 500千円
- 高校魅力化プロジェクトに取り組む「エイ！ホクエイ」の活動を支援した。

- 7/22 出前県議会
- 12/24 高校生とクリスマスわくわく体験会

【成果】 全校生徒への魅力発見チケット贈呈、水球部・バレーボール部出演の動画配信（TikTok）といった「見えるカタチ」で魅力を発信したことで、多くのメディアに取り上げられ認知度向上につながった。また、新たに高校魅力化マネージャーを任命して独自の魅力発信イベントを計画した。
令和7年度入学人数は定員120人の3分の2を若干下回った。（78人）



魅力発見チケット（ほくえい商品券）を贈呈



TikTokで発信 テーマは「筋トレ×農業」

⑦地域力創造事業 17,935千円

地域活性化起業人・地域おこし協力隊の知見やネットワークの活用、返礼品開発等支援補助金の新設により、ふるさと納税寄附額の増加や北栄町の魅力発信を行った。

- ・地域活性化起業人派遣負担金（2人） 11,199千円
 - ・副業型地域活性化起業人活動謝金 1,950千円
 - ・地域おこし協力隊活動支援業務委託料 2,553千円
 - ・地域活性化起業人イベント開催委託料 1,000千円
- 6/29 EI!Fes（主催：エイ！ホクエイ、共催：北栄町）
- ・北栄町ふるさと納税返礼品開発等支援補助金 5件 1,233千円

【成果】 昨年度に引き続き事業者訪問を行い、返礼品提供事業者の掘り起こしや共同商品、地元の素材を活かした返礼品開発などの新規返礼品の開拓（約40点以上）に取り組み、寄附者の満足度向上に繋がる返礼品の拡充を図ることができた。

また、地域活性化起業人を中心に、地域の若者が活躍できる新たな場として、これまでにないイベント「EI!Fes」を開催し、若者の挑戦を大人が応援する仕組みを創出した。



約1,600人の来場者で賑わったEI!Fes

⑧関係人口創出事業 2,000千円

- ・関係人口創出業務委託料 2,000千円
- 「関係人口創出事業」の一環として、「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」をテーマにまちづくり企画プロジェクトを実施した。（全国の名探偵コナンファンのITエンジニア5人）

【スケジュール】

12/4～6 わいがや会議（ワーケーション・企画会議）

12/7～2/25 リモートワーク

2/26 成果発表会（地域密着型謎解きイベント、スタンプラリーの提案）

【事業総括・調整】 西尾Cx0アドバイザー



わいがや会議



成果発表会

【成果】 町内に滞在し、自らの仕事をこなしながら、地域資源を活用した施策案を練り上げるという新しい取り組みを実施。具体的なイベントの提案を受け、実現に向けた検討につながった。

款	2 総務費	項	5 統計調査費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 統計費	2,582千円	2,129千円

①統計調査事業 2,129千円

主な調査 農林業センサス、人口移動調査、学校基本調査、住宅土地統計調査

款	10 公債費	項	1 公債費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 元金	678,450千円	678,379千円

①町債償還元金事業 613,379千円

②繰上償還事業 65,000千円

後年度における公債費の平準化と起債残高の縮小のため一部繰上償還を行った。

【成果】 公債費の平準化を図るとともに、将来の利息負担額を2,500千円程度縮小することができた。

款	10 公債費	項	1 公債費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 利子	29,213千円	29,213千円

①町債償還利子事業 29,213千円

	R4年度	R5年度	R6年度
起債残高	7,327,413千円	7,225,868千円	8,183,289千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	162,345千円	157,271千円

①消費者行政推進事業 1,559千円

中部ふるさと広域連合負担金 1,339千円
 啓発物資等消耗品費 220千円

消費生活相談窓口（町民課内）及び中部消費生活センター（専門相談員設置）にて消費者相談の受付・対応を行った。

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
相談受付件数	76件	36件	47件

町報やチラシなどを通じ、消費者トラブルについて注意喚起を行ったほか、中部消費生活センター相談員と連携し、出前講座など地域住民への啓発活動を実施した。

- ・ 出前講座（シニアクラブ・いきいきサロン） 2回
- ・ 小学生金銭講座 1回
- ・ チラシ、パンフレット配布等での啓発活動 3回
- ・ 高齢者等への「自動通話録音装置」の貸出 33台（貸出）/50台（保有）※年度末現在

【成果】 専門相談員を置く中部消費生活センターとの連携により、相談体制が充実した。地域住民への各種啓発活動（消費者講座等）により、特殊詐欺などの情報提供を行い、消費者被害の予防に努め、『くらしの安心・安全』につなげることができた。

款	2 総務費	項	2 徴税费	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 税務総務費	90,477千円	88,385千円

①税務総務事業 6,929千円

コンビニ収納手数料 902千円
 土地管理システム使用料 2,043千円 など

②税務総務関係負担金事業 2,018千円

軽自動車関係負担金 891千円
 地方税共同機構負担金 1,070千円 など

③中部ふるさと広域連合負担金事業 3,406千円 ※一般会計分のみ
 （単位：千円）

滞納徴収分	R4年度	R5年度	R6年度
広域連合負担金	8,169	7,898	5,776
広域連合徴収額	5,259	4,037	1,641

※国保会計分を含む

※延滞金含む

（単位：千円）

年度	徴収状況				処理状況				
	委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率
		本税 (B)	延滞金			完結	執行停止	取消	
R4	7,469	4,297	962	57.5%	52	34	5	1	76.9%
R5	2,871	2,648	1,390	92.2%	24	18	2	0	83.3%
R6	1,916	1,168	473	61.0%	28	18	0	3	75.0%

【成果】 積極的な臨戸や滞納処分を実施したことにより、累積滞納案件が着実に減少している。

款	2 総務費	項	2 徴税费	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 賦課徴収費	5,884千円	4,503千円

①賦課徴収事務事業 4,503千円

納付書等印刷費 867千円

過誤納還付金 3,421千円 など

【成果】 きめ細やかな催告や調査を実施し、高い徴収率を維持することができた。

・徴収率の状況

(単位：千円・%)

区 分	徴収率 $b/(a-c)$			R6年度の収納状況		
	R4年度	R5年度	R6年度	調定額a	収入額b	不納欠損c
町民税 (個人+法人)	99.9	99.8	99.9	568,514	567,725	3
現年課税分	99.9	99.8	99.9	567,055	566,666	0
滞納繰越分	89.9	67.0	72.6	1,459	1,059	3
固定資産税	99.1	99.8	99.6	686,973	684,341	0
現年課税分	99.4	99.9	99.7	685,507	683,718	0
滞納繰越分	33.6	86.2	42.4	1,466	622	0
軽自動車税	100.0	100.0	99.9	74,800	74,689	0
現年課税分	100.0	100.0	99.9	74,790	74,682	0
滞納繰越分	75.3	100.0	79.2	10	8	0
町たばこ税	100.0	100.0	100.0	100,120	100,120	0
現年課税分	100.0	100.0	100.0	100,120	100,120	0
小 計 (税合計)	99.5	99.8	99.8	1,430,407	1,426,875	3
現年課税分	99.7	99.8	99.8	1,427,472	1,425,186	0
滞納繰越分	55.2	83.5	57.6	2,935	1,689	3
国民健康保険税	99.6	99.4	98.9	381,047	376,709	47
現年課税分	99.8	99.5	99.1	378,832	375,485	0
滞納繰越分	86.3	72.0	57.4	2,215	1,224	47
介護保険料	99.9	99.9	99.9	368,509	368,203	0
現年課税分	99.9	99.9	99.9	368,282	368,059	0
滞納繰越分	99.9	100.0	63.5	227	144	0
後期高齢者医療保険料	100.0	99.6	99.9	198,448	198,345	0
現年課税分	100.0	99.6	100.0	197,797	197,742	0
滞納繰越分	99.7	100.0	92.7	651	603	0
小 計 (保険合計)	99.8	99.7	99.5	948,004	943,257	47
現年課税分	99.9	99.7	99.6	944,911	941,285	0
滞納繰越分	88.5	75.3	65.3	3,093	1,972	47
合 計	99.6	99.7	99.7	2,378,411	2,370,132	50
現年課税分	99.8	99.8	99.8	2,372,383	2,366,471	0
滞納繰越分	73.3	81.2	61.5	6,028	3,661	50

※千円単位で四捨五入しているため、項目ごとの押上計算と、小計・合計は一致しません。

・税等の収納比率（上段：R4年度、中段：R5年度、下段：R6年度） ※R4の共通納税は窓口を含む

区 分	口座振替	コンビニ 電子マネー	共通納税 システム	町差押え	広域連合	特別徴収 (年金・給特)	窓口	合計
町・県民税	14.9%	4.7%		0.1%	0.1%	75.0%	5.3%	100%
	15.5%	4.5%	3.4%	0.1%	0.0%	75.2%	1.2%	100%
	15.5%	4.5%	3.4%	0.1%	0.1%	75.6%	0.8%	100%
固定資産税	50.2%	11.4%		0.3%	0.0%		38.1%	100%
	50.3%	10.5%	31.6%	0.4%	0.2%		7.2%	100%
	52.1%	10.6%	29.6%	0.2%	0.0%		7.5%	100%
軽自動車税	42.4%	31.2%		0.1%	0.2%		26.0%	100%
	44.9%	32.5%	12.2%	0.3%	0.1%		10.1%	100%
	44.9%	31.2%	16.8%	0.3%	0.0%		6.8%	100%
国民健康保険税	64.9%	10.8%		0.2%	0.7%	13.7%	9.8%	100%
	64.7%	11.8%	6.5%	0.1%	0.2%	13.0%	3.6%	100%
	64.3%	11.2%	7.9%	0.3%	0.1%	12.5%	3.7%	100%
介護保険料	2.5%	2.0%		0.1%		92.7%	2.8%	100%
	2.9%	2.0%		0.0%		93.0%	2.1%	100%
	3.4%	2.7%		0.0%		92.9%	1.1%	100%
後期高齢者医療保険料	16.6%	3.8%		0.1%		69.8%	9.6%	100%
	18.0%	2.7%		0.0%		69.2%	10.0%	100%
	23.4%	2.5%		0.4%		66.5%	7.3%	100%

款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 戸籍住民基本台帳費	75,451千円	73,516千円

①戸籍及び住民登録事務事業 18,383千円

住基・申票システム改修（振り仮名付与） 9,338 千円
 戸籍システム改修（振り仮名追加、通知） 8,328 千円 など

・住民基本台帳事務関係

令和7年3月末の住民基本台帳人口は14,039人、世帯数は5,478世帯で、令和6年3月末と比較して人口は207人減少し、世帯は12世帯の減少であった。

(1) 住民基本台帳人口及び世帯数（年齢階層別人口）（単位：人）

年 齢	区 分	R4年度	R5年度	R6年度	対前年比
年少人口 (0～14歳)	男	946	932	890	△ 42
	女	871	844	820	△ 24
	計	1,817	1,776	1,710	△ 66
	構成比率	12.57%	12.47%	12.18%	△0.29%
生産年齢人口 (15～64歳)	男	3,767	3,682	3,624	△ 58
	女	3,671	3,567	3,497	△ 70
	計	7,438	7,249	7,121	△ 128
	構成比率	51.47%	50.88%	50.72%	△0.16%
老年人口 (65歳以上)	男	2,229	2,243	2,241	△ 2
	女	2,967	2,978	2,967	△ 11
	計	5,196	5,221	5,208	△ 13
	構成比率	35.96%	36.65%	37.10%	0.45%
合計	男	6,942	6,857	6,755	△ 102
	女	7,509	7,389	7,284	△ 105
	計	14,451	14,246	14,039	△ 207
世帯数		5,493世帯	5,490世帯	5,478世帯	△12世帯
(再掲) 75歳以上	男	1,014	1,072	1,108	36
	女	1,624	1,672	1,702	30
	計	2,638	2,744	2,810	66
	構成比率	18.25%	19.26%	20.02%	0.76%

(2) 住民基本台帳関係事務処理数 (単位：人)

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
転 入 者	340	284	259
出 生 者	87	72	75
そ の 他	7	6	2
計 (A)	434	362	336
転 出 者	392	357	299
死 亡 者	219	201	251
そ の 他	2	9	3
計 (B)	613	567	553

(単位：件)

種 別	件 数
転 居	85
世帯変更	164
職権修正	650
違反通知	0
戸籍の附票	2,162
計	3,061

社会増減	△ 52	△ 73	△ 40
自然増減	△ 132	△ 129	△ 176
その他	5	△ 3	△ 1
計 (A) - (B)	△ 179	△ 205	△ 217

(3) 印鑑登録関係件数

(単位：件)

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
登 録	517	444	386
(うち再登録)	(184)	(188)	(169)
抹 消	536	535	519
年度末登録者数	10,398人	10,141人	10,011人

・ 戸籍事務関係事業

(1) 本籍数及び本籍人口

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
本 籍 数	8,053戸籍	7,977戸籍	7,899戸籍
本 籍 人 口	19,317人	19,086人	18,875人

(2) 戸籍の取扱い件数

(単位：件)

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
新 戸 籍 編 製	79	83	94
戸 籍 全 部 消 除	192	159	172



(3) 戸籍届出の事件数

(単位：件)

事件の種類	年 度	R4年度	R5年度	R6年度
出 生		151	118	140
国 籍 留 保		1	1	0
認 知		2	2	1
養 子 縁 組		11	14	13
養 子 離 縁		5	7	8
離縁の際に称していた氏を称する届		2	0	1
婚 姻		161	169	149
離 婚		35	39	45
離婚の際に称していた氏を称する届		15	15	20
親 権 変 更		2	0	0
死 亡		311	268	323
失 踪		0	1	0
復 氏		1	1	1
姻 族 関 係 終 了		1	2	2
入 籍		37	41	49
分 籍		8	1	1
帰 化		0	1	2
国籍喪失・選択		2	3	1
外国国籍喪失		0	0	1
氏 の 変 更		0	1	5
転 籍		65	53	53
戸 籍 訂 正		5	9	22
続柄の記載更正		1	0	0
そ の 他		0	0	0
不 受 理 申 出		1	2	3
合 計		817	748	840

・住民票・戸籍など証明件数

(単位：件)

区 分	有 料			無 料		
	R4年度	R5年度	R6年度	R4年度	R5年度	R6年度
年 度						
住民票謄抄本	4,645	4,229	4,203	178	228	202
記載事項証明	129	100	116	19	3	8
戸籍の附票	368	415	420	554	637	500
閱 覧	130	239	344	14,728	11,324	10,767
小 計	5,272	4,983	5,083	15,479	12,192	11,477
印鑑登録証明書	3,773	3,556	3,638	34	54	45
身分証明書	148	119	115	0	0	0
その他証明	320	227	234	72	39	95
小 計	4,241	3,902	3,987	106	93	140
計	9,513	8,885	9,070	15,585	12,285	11,617
戸籍謄抄本	2,427	2,721	2,045	607	735	570
除籍謄抄本	2,664	3,013	2,209	1,453	1,455	1,512
届書記載事項証明	4	4	0	0	0	0
受 理 証 明	20	22	14	0	0	0
広域交付・戸籍謄本	0	11	203	0	0	308
広域交付・除籍謄本	0	26	457	0	3	817
届書等情報内容証明	0	0	1	0	0	0
計	5,115	5,797	4,929	2,060	2,193	3,207
合 計	14,628	14,682	13,999	17,645	14,478	14,824

②個人番号カード事務事業 15,713千円

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
マイナンバーカード交付 ※	4,340枚	1,460枚	1,113枚
カード・電子証明書等関係手続き	3,816件	1,425件	3,111件

※カード更新含む

【成果】 マイナンバーカードの交付・更新、電子証明書の更新等の手続きについて、専用窓口で適正かつ円滑に行うことができた。また、時間外交付窓口や出張申請受付等、交付・申請支援体制の実施により、交付率を上げることができた。



款	3 民生費	項	3 国民年金事務取扱費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 国民年金事務取扱費	213千円	213千円

①国民年金事務取扱事業 213千円

国民年金に係る法定受託事務(資格取得ほか住民記録事項の変更に伴う各種届出、保険料免除、裁定請求等)を処理した。

また、年金事務所に年金加入状況や所得状況などの情報共有を行った。

拠出年金被保険者数 (単位：人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度
1号	1,392	1,402	1,363
3号	412	373	341
任意	12	8	6
計	1,816	1,783	1,710

窓口事務受付件数 (単位：件)

区 分	R4年度	R5年度	R6年度
資格取得	137	153	154
種別変更	22	26	12
保険料減免	84	69	57
学生納付特例	26	15	18
年金裁定請求	3	12	3
未支給請求	54	51	57
その他	45	44	36
計	371	370	337

【成果】 年金加入者に不利益が生じることがないように、各加入者の相談内容に沿った年金手続きを適正に実施及び勧奨することができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	407,514千円	385,550千円

①社会を明るくする運動事業 98千円

全国統一の「社会を明るくする運動」月間（7月）に保護司等による啓発を行った。小・中学生の作文コンテスト（県主催）では優秀賞を受賞した。（北条小6年）

【成果】 のぼり旗・懸垂幕の掲出、町放送・町報等による啓発を行ったことにより、町民の社会を明るくする運動への理解が深まった。

②戦没者追悼式事業 184千円

期 日 令和6年9月26日
場 所 北条農村環境改善センター
参 列 者 数 遺族30人、来賓14人（うち遺族3人含む）



戦没者追悼式

【成果】 遺族、来賓とともに戦没者を追悼し、世界平和を祈念した。

③民生児童委員協議会事業 2,548千円

・町協議会（委員45人）への活動補助 2,390千円
・中部民生委員協議会負担金 158千円

【成果】 ひとり暮らし高齢者等の見守り、あいさつ運動期間中の街頭啓発などを行い、各種研修会参加による資質向上に努め、地域福祉の推進を図った。

④社会福祉費補助金事業 140千円

町遺族会（3地区）の活動に対して、補助金を交付した。

【成果】 各遺族会の活動を促し、遺族同士のつながりを深めた。

⑤社会福祉協議会補助金事業 17,034千円

・町社会福祉協議会補助金 16,964千円
・鳥取県社会福祉協議会負担金 70千円

【成果】 社協職員人件費、マイクロバス運営維持管理費、地域活動支援センター運営費等への補助で福祉サービスの充実を図った。

⑥介護保険特別会計繰出金事業 220,241千円

介護保険事業特別会計へ法定の負担分を繰出した。

・介護給付費町負担分 187,843千円
・地域支援（介護予防）事業分 5,143千円
・地域支援（包括的支援・任意）事業分 998千円
・一般事務費分 13,736千円
・低所得者軽減分 12,521千円

【成果】 介護保険特別会計の健全な運営を行った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	3 老人福祉費	23,007千円	21,810千円

①老人福祉事業 841千円

米寿（数え年の88歳）、金婚（結婚50年）の方に祝詞、記念品を贈った。

	R4年度	R5年度	R6年度
米寿	118 人	41 人	130 人
金婚	57 組	53 組	55 組

※令和5年度から米寿表彰対象者を数え→満年齢に変更

【成果】対象者からの感謝とともに、町に対する愛着を高めることができた。

②敬老会事業 2,663千円

75歳以上の高齢者を対象に敬老会や敬老記念行事を行った自治会に対し、対象者1人につき1,000円の補助を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
自治会数	54	53	52
対象者数	2,551 人	2,516 人	2,663 人

【成果】 多年にわたり社会の発展に貢献された高齢者に対して敬老の意を表し、自治会単位で祝福することにより、地域福祉の意識の醸成を図ることができた。

③老人保護措置事業 8,231千円

環境的、経済的理由により、在宅生活の維持が困難な高齢者を老人福祉法に基づき養護老人ホームに措置入所させ、安心安全な生活のため適切な支援を実施した。

	R4年度	R5年度	R6年度
入所者数	8 人	6 人	4 人

【成果】 高齢者が適切な指導や見守りを受けて、安心安全な環境での生活ができている。

④北栄町シルバー人材センター負担金事業 4,710千円

	R4年度	R5年度	R6年度
会員数	169 人	155 人	169 人

【成果】 高齢者の技能を活かし簡易な仕事の提供をするシルバー事業に補助することで、組織の安定運営、会員の生きがいと自立した生活につながっている。

⑤老人クラブ補助金事業 2,009千円

・老人クラブ補助

会員数	補助金額(※)	R4年度	R5年度	R6年度
50人～	70,000円	3	2	1
40人～49人	60,000円	3	4	5
30人～39人	50,000円	6	5	5
20人～29人	40,000円	7	7	8
10人～19人	30,000円	0	1	0
合 計	クラブ数	19	19	19
	補助金額	1,050 千円	970 千円	940 千円

・老人クラブ連合会補助 1,069千円

【成果】 仲間づくり、生きがいと健康づくり、奉仕活動など地域の支え合いに積極的に取り組む単位老人クラブと、それを支援、育成する連合会に補助し、高齢者の自主活動と地域づくりを進めた。

⑥成年後見支援センター事業 1,569千円

成年後見ネットワーク倉吉へ中部成年後見支援センターの運営を委託し、専門職への困難事例の相談、制度の広報、研修会の実施などを進めた。

		R4年度	R5年度	R6年度	(延件数)
後見委任数		7件	7件	6件	
相談 件数	高齢者	9件	5件	1件	
	障がい者	26件	6件	3件	

【成果】 困難事例が増えるなか、中部の市町が協力して法人後見につなげている。

⑦高齢者補聴器購入費補助金事業 750千円

	R4年度	R5年度	R6年度
補助人数	8人	19人	25人

【成果】 聴力機能の低下によってコミュニケーションを取ることが困難になったことに起因する閉じこもりや認知機能の低下等を防ぐとともに、積極的な社会参加及び地域交流を支援することができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	4 介護予防生活支援費	103,184千円	98,073千円

①外出支援サービス事業 24,530千円

- ・タクシー利用料助成事業 13,420千円
高齢者や障がい等特別な事情で移動手段に困っている方、免許証を自主返納された方へタクシー利用料を助成した。

	R4年度		R5年度		R6年度	
	従来券	300円券	従来券	300円券	従来券	300円券
登録者数(人)	601	574	592	589	581	576
延利用件数(件)	9,207	4,573	9,408	5,932	8,698	5,083
助成額(千円)	6,483	4,369	6,799	6,311	6,700	5,900

- ・在宅通院支援事業 11,110千円
要支援・要介護の認定を受けている方、介護予防・日常生活支援総合事業対象者の基準に該当する方、または障がいのある方で通院の必要性がある方に対し、公共交通機関を利用することが困難な場合にタクシーによる病院送迎を助成した。

	R4年度	R5年度	R6年度
登録者数	230人	186人	165人
延利用件数	5,523件	5,261件	5,415件
助成額	9,776千円	9,704千円	11,106千円

【成果】 利用者の負担軽減と医療や買い物の移動支援につながり、自立した日常生活の維持を図った。

②介護予防地域支え合い事業 5,763千円

いきいきサロンを高齢者の交流の場として、自治会自主運営や社協支援で実施した。

	R4年度	R5年度	R6年度
自治会数	43	43	44
開催回数	824回	1,029回	1,070回
参加延べ人数	8,834人	10,882人	11,498人

【成果】 健康意識の向上、高齢者の閉じこもり防止等、介護予防と地域の仲間づくりを図った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	5 障害者福祉費	477,779千円	460,483千円

①障がい者福祉関係負担補助金事業 244千円

町心身障がい児者育成会（ひまわり会）等の活動に対する補助を行った。

- ・町心身障がい児者育成会（ひまわり会）補助金 180千円
- ・町精神障がい者家族会補助金 64千円

【成果】 障がい者の閉じこもりを防止し、社会参加への意欲を高めるとともに障がい者を支える家族同士のつながりを深めた。

②心身障がい者医療費扶助事業 3,778千円

中度の心身障がい者（身体障害者手帳3,4級、療育手帳B、精神手帳2級の交付を受けた者）で町民税非課税者に対し医療費を助成した。

	R4年度	R5年度	R6年度
件数	255 件	303 件	288 件
金額	3,980 千円	3,699 千円	3,778 千円

【成果】 中度心身障がい者の医療控えを防ぎ、健康維持と負担軽減につながった。

③障害支援区分認定事務事業 754千円

障がいの程度に応じた支援区分決定のため、主治医意見書の作成手数料負担や広域連合委託で認定審査を実施した。

	R4年度	R5年度	R6年度
認定件数	56 件	33 件	30 件

【成果】 認定審査を中部ふるさと広域連合に委託し、スムーズな障害福祉サービスの利用につながった。

④自立支援給付事業 392,983千円

	R4年度		R5年度		R6年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
居宅介護、重度訪問介護等	172	10,181	188	10,989	188	11,551
上記以外の介護給付費等	2,255	351,840	2,200	356,784	2,334	361,087
サービス利用計画作成費	482	6,673	447	7,047	392	7,843
補装具費	17	1,413	20	3,561	13	1,215

【成果】 心身に障がいのある方の自立した日常生活や社会生活を維持することができた。

⑤自立支援医療給付事業 20,950千円

人工透析医療、ペースメーカー植込み術等に係る医療費を給付した。

	R4年度		R5年度		R6年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
更生医療	873	12,362	1,029	14,157	1,137	18,734
育成医療	18	199	9	19	3	2
療養介護医療	44	2,571	44	2,587	38	2,124

【成果】 障がい者の生命維持と自立した日常生活、社会生活につながった。

⑥地域生活支援事業 29,776千円

- ・意思疎通支援事業 3,281千円
聴覚障がい者等の手話通訳や要約筆記などのコミュニケーション支援を行った。

委託先：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

	R4年度	R5年度	R6年度
延派遣依頼件数	88件	78件	103件

- ・日常生活用具給付等事業 4,029千円
障がい者等に対し、ストマ用装具等の福祉用具の給付を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
延利用件数	331件	334件	361件

- ・移動支援事業 1,224千円
屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
延利用者数	65人	71人	89人

- ・日中一時支援事業 4,860千円
見守り等の支援を受けながら障がい者等が活動できる場を確保した。

	R4年度	R5年度	R6年度
延利用者数	222人	228人	176人

- ・地域活動支援センター事業 10,171千円
見守り等の支援を受けながら障がい者等の創作的活動、生産活動の場を提供した。

	R4年度	R5年度	R6年度
延利用者数	120人	98人	101人

【成果】 障がいに応じた様々なサービスを提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

⑦障がい者グループホーム等夜間世話人配置事業 624千円

地域生活の受け皿となるグループホーム等で夜間・休日の世話人を配置し、障がい者の地域移行を進める事業所に対し補助を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
利用者数	4人	4人	3人
延利用日数	1,442日	1,139日	1,095日

【成果】 グループホーム等利用者の安心安全な生活に資することができた。

⑧障がい者相談員設置事業 75千円

身体・知的・精神障がい者相談員を委嘱し、当事者や家族が地域で相談できる体制を作った。

相談員数	R4年度	R5年度	R6年度
身体	1人	1人	1人
知的	1人	1人	1人
精神	2人	2人	2人

【成果】 身近な相談員を設置していることで、相談しやすい体制ができた。

⑨特別障害者手当等給付事業 5,544千円

日常生活において、常時特別な介護を要する在宅の重度の障がい児・者に対し手当を給付した。

年度	R4年度	R5年度	R6年度
延受給者数	273人	251人	248人

【成果】 在宅で生活する重度の障がい児・者の負担軽減を図った。

⑩障がい児者在宅生活支援事業 1,618千円

日常的に医療行為の必要な障がい児者や重症心身障がい児者に対し、町が定める事業を行う対象者に補助を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
看護師配置対象児者	5人	5人	6人
看護師配置延日数	532日	465日	453日
排痰補助利用者数	0人	1人	1人

【成果】 医療的ケア児者や重症心身障がい児者の在宅生活等を支援することができた。

⑪重症心身障がい児者支援事業 314千円

重度障がい児者の受入れを行う社会福祉法人等に対して助成を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
放課後デイ対象児者	3人	3人	3人
延利用日数	462日	431日	165日

【成果】 重度障がい児者の活動を支援すること及び保護者の負担・不安を軽減すること、重度障がい児者の支援体制の充実を図ることができた。

⑫相談支援事業所機能強化事業 175千円

北栄町の障がい者の相談支援業務はほとんど他市町の事業所に委託しており、事業所の増員に対して他市町が行う助成のうち、北栄町の利用率に基づいた応分の負担を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
対象者数	0人	0人	6人

【成果】 障がい者の相談支援業務を担う事業所の機能強化を支援することにより、相談しやすい体制ができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	6 生活困窮者自立支援費	2,525千円	2,384千円

①生活困窮者自立相談支援事業 11千円

・住居確保給付金

休業等に伴う収入の減少により住居を失うおそれがある方に対し、家賃相当額の支給を行う事業。

年度	R4年度	R5年度	R6年度
延支給件数	6件	0件	0件

【成果】 生活や就労に向けた相談や問い合わせにおいて、事業を踏まえて相談対応を行ったが、該当者はなかった。

②就労準備支援事業 2,243千円

・地域づくりモデル事業 300千円

生活困窮者支援を通じて、地域づくりの推進を図る取組を行う就労訓練事業所に対して補助を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
利用者数	1人	2人	2人
延利用日数	17日	94日	253日

【成果】 生活困窮者の自立促進や社会参加につながる場や相談しやすい体制ができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	7 重層的支援体制整備事業費	40,793千円	36,952千円

①地域包括支援センター事業 38千円

- ・相談支援事業 地域包括支援センターにて、高齢者に関する相談支援を行った。

地域包括支援センター相談件数

	R4年度	R5年度	R6年度
一般相談	1,543 件	1,589 件	2,518 件
地域支援	558 件	502 件	578 件
予防給付	1,546 件	1,239 件	1,726 件
計	3,647 件	3,330 件	4,822 件

- ・地域ネットワーク会議
関係機関のネットワークの構築及び資質向上のための研修会・意見交換会を年6回（参加者合計231人）開催した。
- ・権利擁護事業
高齢者虐待対応の状況（実数）

	通報相談件数	虐待判断件数
養護者による虐待	4 件	1 件
施設従事者による虐待	0 件	0 件

高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会

虐待対応状況及び虐待防止の取組について報告した。また、委員として出席された町内の介護サービス、障がい福祉サービス事業所から、それぞれの事業所における虐待防止の取組や課題を報告していただいた。

- 【成果】 相談に応じた支援を提供、高齢者の自立支援、重度化予防、権利擁護の支援を行った。

②障がい者相談支援事業 5,249千円

- ・相談支援事業 5,210千円

障がい者地域生活支援センターを設置するとともに相談支援事業を専門職に委託し、障がいのある人やその家族の相談支援を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
町障がい者地域生活支援センター	211 件	203 件	202 件
障がい者虐待相談数（実数）	2 件	4 件	1 件
中部障害者地域生活支援センター（仁厚会へ委託）	640 件	451 件	409 件
障がい児相談支援（りっかへ委託）	1710 件	1602 件	1588 件

- ・中部圏障がい者地域自立支援協議会運営負担金 39千円

令和6年度より中部障がい者地域自立支援協議会の事務局を部会ごとに中部市町で分担し、より実効性のある協議会運営に努めた。

- 【成果】 障がいに応じた相談支援を提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

③生活困窮者自立相談支援事業 5,979千円

- ・自立相談支援事業
相談支援員、就労支援員など職員を配置し、生活困窮者の自立相談支援、就労支援等を実施した。

年度	R4年度	R5年度	R6年度
新規相談者数	24人	21人	16人

- 【成果】 生活困窮にかかる相談支援や就労・家計支援など分野を超えた包括的支援を実施し、生活困窮者の自立促進を図った。

④地域介護予防活動支援事業 666千円

- ・高齢者サークル活動支援事業委託料 546千円

介護予防活動の地域展開に資する住民主体の通いの場等の活動支援を行った。

年度	R4年度	R5年度	R6年度
団体数	26 団体	25 団体	27 団体
延回数	1,364 回	1,477 回	1,716 回
延人数	9,286 人	10,447 人	12,438 人

- ・地域介護予防活動支援事業

事業名	延人数	開催回数	備考
こけないからだ講座	196 人	19 回	
こけないからだ講座（フォロー）	290 人	28 回	28自治会



こけないからだ講座

講座終了後、住民主体で地域の公民館などで週1～月1回程度集まり、体操を継続することで、筋力の維持・向上、閉じこもり予防、交流の場となっている。

	R4年度	R5年度	R6年度
実施自治会(内新規)	27(0)	27(0)	32(4)
その他(介護事業所等)	3	3	3

R5中断 1自治会

【成果】 閉じこもりの解消や支え合う関係づくり、介護予防活動の推進を図った。

⑤生活支援体制整備事業 7,626千円

生活支援コーディネーターを配置（委託）するとともに、第1層（町全域）協議体「ほくえい支え愛協議体」、および第2層（小学校区単位）協議体「よっしゃやらあ会」を設置。生活支援や見守り、助け合い活動の推進に取り組んだ。

	延人数	開催回数
生活支援サポーター養成講座	4人	1回
第1層協議体	0人	0回
第2層協議体	125人	21回
支え愛連絡会	116人	14回

【成果】 ちょっとした困りごとに対する生活支援サービスの提供を図るとともに、地域内の見守りや助け合い活動の推進を図った。

⑥生活困窮者等共助の基盤づくり事業 3,283千円

共助の取組を活性化し、地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスの創出・推進を図った。（委託先：社会福祉協議会）

- ・出かけにくい人や地域づくりの担い手がつながる参加の場「ほっとかけはし」の開催
- ・共助交通の取組団体の運営サポート
- ・高校生ボランティアとの協働による集いの場の開催 等

【成果】 他事業（生活支援体制整備事業等）と連携して取り組み、集いの場や共助交通の活動など支え合うしくみづくりの推進やインフォーマル活動（住民同士の助けあい）の活性化を図った。

⑦参加支援事業 1,040千円

社会参加しにくい人などを対象とした、社会とのつながりづくりや参加の支援を実施するとともに、支援メニューづくりの取組を実施した。（委託先：社会福祉協議会）

- ・社会参加につながる場の開拓
- ・障がい分野を中心とした課題把握や連携を目的とした「つながる会議」の開催（年1回）
- ・個別対象者の参加に向けた支援の実施（プラン作成：6件）

【成果】 つながりや参加に関する個別支援を行うとともに、関係機関と参加の場や機会に関する課題を共有し、今後の取組について検討をすすめることができた。

⑧アウトリーチ等を通じた断続的支援事業 1,514千円

- ・アウトリーチ訪問等の実施
必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、アウトリーチによる対象者との信頼関係づくり、制度へのつなぎ等の支援を行った。（プラン作成：11件）
- ・世帯訪問調査の実施
福祉の相談窓口の周知及び必要な支援へのつなぎを目的に全戸訪問を実施（17自治会：1517世帯）した。

【成果】全戸訪問により支援が必要な世帯や今後支援を必要とする世帯の把握ができた。（67世帯）

⑨多機関協働事業 4,169千円

複雑化・複合化した課題を抱え単独の支援機関では対応が難しい事例に対し支援を実施した。また、横断的な相談支援体制の構築に向け、福祉施策アドバイザーを設置し体制整備を推進した。

	R5年度	R6年度
包括的支援会議	44回	49回
プラン作成	38件	56件

【成果】包括的支援会議にて個別支援方を検討したほか、分野横断的研修や関係機関連絡会等を実施し多分野連携の促進を図った。

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
			目	8	住民税非課税世帯物価高騰支援給付	238,253千円	200,488千円
款	2	総務費	項	1	総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
			目	40	新型コロナウイルス臨時交付金事業費	66,566千円	42,373千円

①住民税非課税世帯等物価高騰支援事業 200,488千円

- ・令和6年度から新たに非課税世帯（こども加算含） 14,900千円
- ・令和6年度から新たに均等割りのみ課税世帯（こども加算含） 11,251千円
- ・令和5年度非課税世帯等光熱費助成 5,680千円
- ・定額減税補足給付金（当初調整給付） 36,830千円
- ・令和6年度非課税世帯（こども加算含） 126,721千円

（充当財源） 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 197,648千円
生活困窮世帯支援事業補助金（県） 2,840千円

【成果】支給世帯の生活安定につながった。

②新型コロナウイルス臨時交付金事業 42,373千円

- ・令和5年度均等割りのみ課税世帯（こども加算含） 7,350千円
- ・令和5年度非課税世帯で扶養しているこども 34,951千円

（充当財源） 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和5年度繰越） 41,637千円

【成果】支給世帯の生活安定につながった。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	4 母子父子福祉費	29,040千円	28,144千円

①母子家庭等対策総合支援事業 1,373千円

- ・高等職業訓練促進給付金の給付 1,200千円
就業に向けた高等職業訓練の修学を行う母子家庭等に対し、給付金の給付を行った。
支給対象者：母子家庭1件（月額100千円）

【成果】 給付金の給付を行ったことにより、修学中の生活を支え、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

②町母子会補助金事業 1,600千円

- ・母子寡婦福祉資金の貸付 1,500千円

要件を満たす母子及び寡婦に対し、上限20万円（無利子）の貸付を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
借入件数	4件	4件	6件
借入金総額	750千円	800千円	1,100千円

【成果】 母子寡婦貸付を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

③児童入所施設措置等事業 22,801千円

- ・母子生活支援施設措置委託料 22,801千円
配偶者がいない又は、これに準ずる女子とその者が監護すべき児童を保護し、自立促進のため生活の支援及び相談に応じた。

【成果】 施設に保護し就労、子育て支援等の指導を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	6 児童手当費	244,150千円	236,034千円

①児童手当等給付事業 236,034千円

次代を担う児童の健全育成や子育て家庭の生活の安定を図るため、児童を養育する保護者等に対し手当を支給した。

(～令和6年9月)

区分	一人当たり月額
0歳～3歳未満	15,000円
3歳以上小学 校修了前	第1子、第2子 10,000円 第3子以降 15,000円
中学生	10,000円
所得制限対象	5,000円

(令和6年10月～)

児童の年齢	支給金額（一人当たり月額）	
	第1子・第2子	第3子以降
0歳～3歳未満	15,000円	30,000円
3歳以上～高校生	10,000円	

※算定児童を大学生年齢児童（18～22歳）まで拡充。所得制限を撤廃。

児童手当対象児童数 延べ 18,918人

【成果】 児童手当を支給したことにより、児童の健全育成、子育て家庭の生活の安定を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 児童扶養手当費	61,416千円	60,598千円

①児童扶養手当給付事業 60,598千円

ひとり親で18歳までの子どもを扶養している家庭に手当を支給した。

対象児童数	全部支給	一部支給
1人	月額 44,140円	月額 44,130円～10,410円
2人目	月額 10,420円	月額 10,410円～ 5,210円
3人目以降	月額 6,250円	月額 6,240円～ 3,130円

実支給家庭数	R4年度	R5年度	R6年度
母子家庭数	103 世帯	105 世帯	97 世帯
父子家庭数	9 世帯	7 世帯	8 世帯

【成果】 児童扶養手当を支給したことにより、受給者世帯の生活の安定と児童の福祉の増進を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 児童措置費	101,113千円	97,774千円

①障害児通所給付事業 97,774千円

障がい児の機能訓練、集団生活適応訓練、社会との交流支援など必要に応じたサービスに係る給付を行った。

	R4年度		R5年度		R6年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
児童発達支援	69	2,624	147	4,412	149	6,282
医療型児童発達支援	30	242	42	291	48	377
放課後等デイサービス	935	77,095	1,024	83,851	1,039	78,510
保育所等訪問支援	71	2,146	167	5,082	152	5,030
相談支援	320	6,503	357	7,136	318	7,190

【成果】 発達障がいを含めた障がい児に対し事業の連携により一貫した支援ができた。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 生活保護総務費	83,375千円	82,034千円

①生活保護総務事業 8,215千円

福祉事務所で、生活保護業務を迅速かつ円滑に処理した。

生活保護 人員体制 所長、課長、査察指導員、ケースワーカー2人

- ・嘱託医報酬 272千円
- ・生活保護システム保守委託料 1,662千円
- ・生活保護システム改修委託料 1,734千円
- ・レセプト管理システム委託料 3,920千円
- ・被保護者夏季見舞金 185千円

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
総務事業費	4,428千円	11,534千円	8,215千円

【成果】 生活保護費の給付及び生活の指導等に必要な体制づくり及びシステム導入及び改修を実施し、必要な保護を滞りなく実施可能な状態にできた。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 生活保護扶助費	92,258千円	80,387千円

①生活保護扶助事業 80,387千円

生活に困窮する者に対し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を促すため、必要な扶助を行った。

- ・生活扶助 25,612千円
- ・医療扶助 48,264千円
- ・介護扶助 1,316千円

年 度	R4年度末	R5年度末	R6年度末
受給者数	54 人	53 人	41 人
世帯数	47 世帯	46 世帯	35 世帯
扶助費	72,506千円	75,604千円	75,193千円

年 度	R4年度	R5年度	R6年度	
相談数	30 件	34 件	28 件	
申請数	10 件	9 件	12 件	
結果	決定	7 件	7 件	4 件
	却下	2 件	1 件	4 件
	取下	1 件	1 件	3 件
廃止	5 件	8 件	15 件	
内訳	就労	0 件	1 件	1 件
	死亡	4 件	5 件	2 件
	その他	1 件	2 件	12 件

【成果】 生活保護費の給付及び生活の指導など必要な保護を実施し、自立の助長と生活の安定を図った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	407,514千円	385,550千円

①国民健康保険特別会計繰出金事業 122,854千円

国民健康保険特別会計の健全運営のため、法定負担分を繰出した。

・ 保険基盤安定分	93,239 千円	・ 出産育児一時金分	2,666 千円
・ 保険財政安定化支援分	6,442 千円	・ 事務費、職員給与分	18,999 千円
・ 未就学児負担軽減分	1,260 千円	・ 産前産後免除分	248 千円

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 特別医療費助成事業費	114,614千円	106,109千円

①特別医療費助成事業 104,677千円

対象者にかかる医療費を助成した。

・ 特別医療費審査手数料	71,976 件	2,343 千円
・ 特別医療費助成費	36,030 件	102,053 千円
・ 過年度県補助金返還金		281 千円

(単位：千円)

	R4年度			R5年度			R6年度		
	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額
身障1,2級	235	6,045	34,791	215	5,725	36,115	199	4,961	24,486
重度知的障がい者	35	901	1,653	21	845	1,871	28	742	1,933
精神障がい者	11	239	2,882	9	280	2,829	11	293	2,766
特定疾病	2	13	142	2	17	206	2	10	342
ひとり親家庭	64	717	2,053	61	811	2,131	55	907	2,322
小児	2,351	21,789	43,780	2,278	27,203	55,922	2,228	29,117	70,204
合計	2,698	29,704	85,301	2,586	34,881	99,074	2,523	36,030	102,053

【成果】 小児は18歳までを助成対象とし、対象者の医療費負担を軽減することができた。

②養育医療費助成事業 1,225千円

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院養育を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関において養育に必要な医療の給付を行った。

(単位：件、千円)

	R4年度		R5年度		R6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未熟児養育医療扶助費	1	761	4	1,217	3	1,225

【成果】 対象者の医療費負担を軽減することができた。

③特定不妊治療費助成事業 207千円

令和4年度から不妊治療の保険適用に伴い、保険適用外となる治療費の一部を助成した。

- ・ 保険診療と組み合わせ実施された先進医療
- ・ 自費診療で実施された治療

	R4年度	R5年度	R6年度
特定不妊治療	6件 (人数5人)	0件 (人数0人)	2件 (人数2人)
金額 (千円)	897	0	207

【成果】 高額になる不妊治療費について、経済的負担の軽減を図ることができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 保健衛生総務費	145,664千円	143,843千円

①保健衛生総務事業 1,461千円

- ・健康推進員活動支援
- ・健康計画推進委員会の開催 2回
- ・公用車の燃料費及び管理費
- ・過年度分の国庫補助金、負担金の返還金

【成果】 健康推進員が健診受診啓発や健康づくりの推進活動を行った。また、第3次健康ほくえい計画の推進に向け、各組織の推進状況や今後の取組について確認することができた。

②健康管理システム委託事業 11,065千円

各種健診・予防接種に関するデータを一元管理するための健康管理システムの維持管理を実施した。また、新たなワクチンの定期接種化に伴うシステム改修やシステム標準化に伴う差異分析作業も随時行った。

【成果】 健康管理システムでデータを一元管理することにより、保健指導、接種勧奨等を効率的に実施することができ、町民の健康寿命延伸の一助となった。また、新たに定期化されたワクチンに対するシステム改修を実施したことにより、町民に定期接種を実施する機会を遅れることなく提供できた。

③献血事業 8千円

町内の各施設、事業所の協力のもと、献血を行った。

- ・協力事業所謝礼品 8千円

区 分	R4年度		R5年度		R6年度	
	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数
400ml	173人	143人	144人	119人	157人	122人
実施回数	3回（延10会場）		3回（延10会場）		3回（延10会場）	

【成果】 献血協力者の確保に努め、輸血を中心とした医療を支える一助となった。

④民間診療所新規開設継承支援事業 10,001千円

事業継承を行った町内診療所に要綱に基づき補助金を交付した。また、基金の利子分を積立した。

【成果】 診療所の事業継承の一助となり、医療体制の確保につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 健康増進センター費	9,381千円	9,352千円

①健康増進センター管理事業 6,839千円

各種健診をはじめとする保健、健康増進事業の拠点として健康増進センターの管理運営を行った。

区 分	利用者数		
	R4年度	R5年度	R6年度
健 診 棟	8,293人	6,350人	3,666人
調 理 室	460人	771人	729人
会 議 室	8,126人	5,941人	3,382人

区 分	利用回数		
	R4年度	R5年度	R6年度
母子保健事業・成人健診事業	130回	118回	132回
子育て支援センター	通年利用		
その他各種会議等	112回	127回	104回

※R4は各部屋の利用で回数を計算していたが、R5～同一事業の場合は1回で計算

②健康増進センター改修事業 2,513千円

- ①事務室カーテン設置工事 134千円
- ②健診棟側女子トイレ洋式化工事 753千円
- ③クロス・ロールスクリーン張替工事 1,626千円

【成果】 必要な改修を実施したことにより、利便性及び安全性の維持・向上につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 感染症等予防費		107,187千円

①感染症等予防事業 58,943千円

・定期予防接種

区 分	接種者数 (延人数)		
	R4年度	R5年度	R6年度
五種混合(DTP-IPV-Hib)	-	-	206人
四種混合(DTP-IPV)	379人	345人	118人
二種混合(DT)	98人	124人	113人
麻しん風しん混合	210人	196人	172人
日本脳炎	371人	317人	455人
BCG	99人	81人	65人
ヒブワクチン	378人	320人	77人
小児肺炎球菌ワクチン	377人	321人	290人
子宮頸がん予防ワクチン ※1	144人	163人	423人
水痘	188人	178人	174人
B型肝炎 (H28.10～)	243人	227人	211人
ロタウイルス (R2.10～)	210人	174人	165人
高齢者インフルエンザ	2,993人	2,871人	2,598人
高齢者コロナ	-	-	1,143人
高齢者肺炎球菌	155人	165人	51人
風しん(第5期) ※2 (H31.4～)	17人	4人	28人
			9人
			40人
			7人

※1 令和4年度から子宮頸がんワクチンについては、勧奨が再開となった。また、積極的勧奨を行わなかった年代の方々を対象にキャッチアップ接種を実施。

※2 風しん(第5期)は左が抗体検査、右が予防接種の人数を掲載。

※3 新型コロナウイルス予防接種事業については令和6年度に法令上定期接種B類に位置づけられたため、定期接種として計上。

・任意予防接種 費用助成

個人が感染症にかかったり、重症化を防ぐために受ける任意接種に係る費用の一部助成を行った。

区 分	接種者数 (延人数)		
	R4年度	R5年度	R6年度
乳幼児インフルエンザ	511人	445人	437人
小学生インフルエンザ (H27.10～)	430人	319人	331人
中学生インフルエンザ (H27.10～)	98人	93人	110人
障がい児・者インフルエンザ (R2.10.1～)	20人	17人	14人
おたふくかぜ	113人	91人	73人
風しん (大人)	9人	13人	5人

【成果】 医師会・医療機関と連携し、予防接種事業を実施することで感染症予防につながった。

②新型コロナウイルス予防接種事業 31,540千円

R5 (R4繰越事業) に実施した新型コロナウイルスワクチンの集団接種の実績に基づき精算し、補助金及び負担金の返還を行った。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 母子衛生費	13,754千円	13,259千円

①母子衛生事業 13,259千円

・乳幼児健康診査

乳児、1歳6か月児、3歳児を対象に、心身の発達状態を観察するとともに、医師の診察を実施し、健康状態、育児、食事等について相談・助言を行った。

5歳児は保護者の希望等による相談（医師・心理士・就学に関する）を行った。

項目	R4年度				R5年度				R6年度			
	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児
実施回数	6回	6回	7回	4回	6回	6回	6回	4回	6回	6回	6回	4回
対象者	101人	95人	111人	35人	86人	106人	98人	24人	70人	95人	103人	11人
受診者	100人	91人	111人	35人	85人	104人	98人	24人	69人	95人	103人	11人
要精密	2人	3人	18人	10人	3人	3人	21人	10人	2人	3人	18人	3人
追跡観察	15人	20人	13人	9人	21人	27人	20人	1人	3人	22人	22人	2人
要治療	0人	0人	4人	0人	2人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人

・妊婦乳児一般健康診査

妊婦及び乳児の健康診査を医療機関に委託して実施した。

項 目	R4年度	R5年度	R6年度	※延件数
妊婦一般健康診査	1,025件	869件	868件	
乳児一般健康診査	198件	163件	216件	

※乳児一般健康診査は、1か月児・3～4か月児・9～10か月児について医療機関に委託して実施。1か月児健診は、R6年度から医療機関委託を開始した。

・乳幼児健康相談及び健康教室

各健康相談、教室を実施するとともに、訪問による指導により、母子保健の推進を図った。

項目	R4年度			R5年度			R6年度		
	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者
離乳食講習会	6回	95人	37人	6回	81人	32人	6回	70人	25人
1歳児教室	6回	102人	38人	6回	86人	33人	5回	74人	36人
2歳児教室	6回	89人	58人	6回	99人	70人	6回	91人	61人
2歳6か月児教室	4回	105人	68人	5回	98人	74人	6回	105人	72人

・訪問指導

	R4年度	R5年度	R6年度	※延人数
妊産婦	122人	139人	136人	
乳児	151人	189人	140人	

・歯科対策

(1歳6か月児、3歳児健診を除く)

項目		R4年度			R5年度			R6年度		
		回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者
フッ素塗布	3歳未満	10回	194人	126人	11回	197人	144人	12回	177人	138人
	3歳以上	10回	298人	263人	10回	294人	246人	10回	284人	237人

※フッ素塗布3歳以上は年1回実施。平成29年度から全園で実施。

※3歳未満は、2歳、2.6歳でフッ素塗布した人数

3歳以上は、園歯みがき指導（夏）でフッ素塗布した人数

項目		R4年度		R5年度		R6年度	
		対象者	参加者	対象者	参加者	対象者	参加者
フッ化物洗口	年中・年長	201人	187人	193人	185人	193人	181人
	小学生	コロナのため中止		781人	709人	752人	686人
歯磨き指導（夏・冬）		967人	560人	588人	538人	577人	534人

※参加者はフッ化物洗口を実施した実人数。年中・年長児は、週5日法でフッ化物洗口を実施。小学生は、週1回法でフッ化物洗口を実施

※歯磨き指導は年2回、全園の3歳以上のクラスで実施。

・妊婦歯科健診、ふしめ歯科検診

項目	対象者	R5年度		R6年度	
		対象者数	受診者数	対象者数	受診者数
妊婦歯科健診	妊婦の方	73人	32人	95人	37人
ふしめ歯科検診	20.30.40 50.60.70歳	1,013人	72人	1,030人	70人

・保育所・こども園食育

各園の食育年間計画に基づき食育事業を実施された。町栄養士、食生活改善推進員（食推）も参加し、体験型クッキング活動として味噌汁作りを1園で行った。その他、手洗いチェッカー体験、カレー作り等も行った。

【成果】 こども園訪問を計画的に実施し、こども園・教育総務課・健康推進課でこどもの発達等について支援を共有・協議し、保護者支援を行うことができた。

クッキング活動では、こどもたちが五感を使って体験し、食に興味を持つことができた。また、正しい手洗いの方法やポイントについても確認し、よりしっかり手洗いをする習慣を身につけることができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 健康支援費	43,555千円	40,552千円

①健康診査等事業 38,759千円

- 基本健康診査、特定健診

健診区分	R4年度	R5年度	R6年度			
	受診者	受診者	対象者	受診者		
基本健康診査	89人	101人	2,265人	112人	*費用は国保会計で支出	
特定健診(国保)	1,252人	1,210人	2,435人	1,105人		
内訳	集団健診	688人	594人	—	562人	*費用は後期会計で支出
	個別健診	433人	469人	—	412人	
	人間ドック	131人	147人	—	131人	
後期高齢者健診	305人	556人	2,671人	660人		

- 人間ドック(対象年齢 40,45,50,55,61,65,70歳)

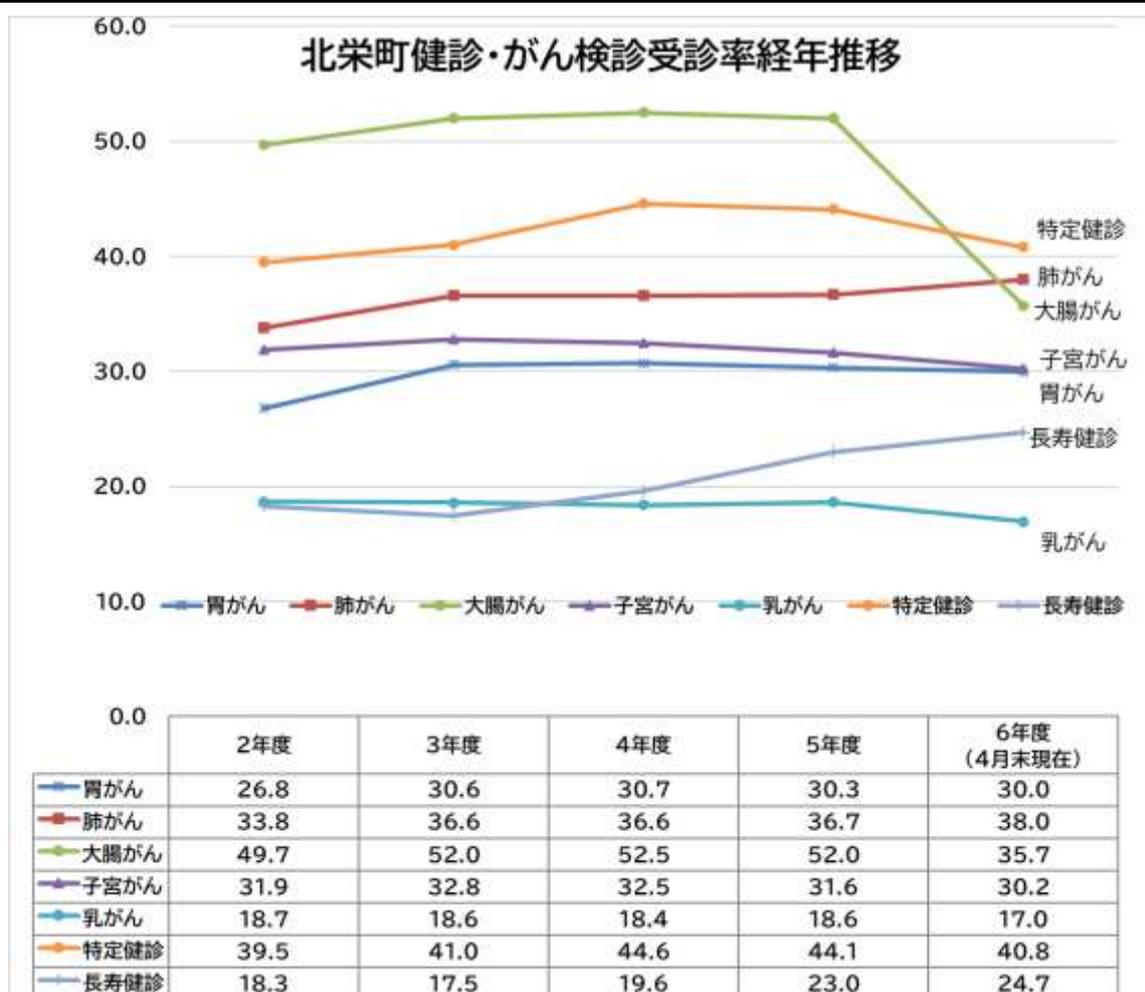
受診者	R4年度	R5年度	R6年度
男性	124人	130人	124人/677人
女性	155人	163人	159人/659人
計	279人/1,361人	293人/1,354人	283人/1,336人
受診率	20.4%	21.6%	21.2%

- 各種がん検診

※精密受診者は令和7年5月31日現在

		R4年度				R5年度				R6年度			
		胃	肺結核	喀痰	前立腺	胃	肺結核	喀痰	前立腺	胃	肺結核	喀痰	前立腺
受診者数	集団	377	1239	5	147	338	1192	9	163	318	1200	9	162
	ドック	279	277	5	123	290	292	4	129	278	282	4	124
	個別	924	415	10	/	964	443	13	/	980	517	15	/
	合計	1,580	1931	20	270	1592	1927	26	292	1576	1999	28	286
	うち要精密()は受診者	35 (28)	62 (52)	0	14 (8)	36 (28)	62 (50)	0	9 (6)	36 (34)	59 (57)	0	21 (17)
	精密受診率(%)	80	83.9	/	57.1	77.8	80.6	/	66.7	94.4	96.6	/	80.9

		R4年度				R5年度				R6年度			
		肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸
受診者数	集団	32	658	437	2655	35	589	429	2678	13	520	350	1035
	ドック	54	/	/	276	52	/	/	292	62	/	/	289
	個別	23	412	127	/	42	453	143	/	29	477	171	606
	合計	109	1070	564	2931	129	1042	572	2970	104	997	521	1930
	うち要精密()は受診者	0	7 (6)	33 (31)	172 (108)	6 (2)	2 (1)	35 (30)	197 (139)	2 (2)	1 (1)	27 (25)	156 (117)
	精密受診率(%)	/	85.7	93.9	62.8	33.3	50	85.7	70.6	100	100	92.6	75



・訪問指導

健診の事後に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項目	R4年度	R5年度	R6年度
特定保健指導（積極的・動機付支援）	35人	23人	18人
健診事後指導（情報提供等）	30人	47人	31人
がん検診結果説明（精密検査対象者）	—	R5.8.31～ 82人	174人

【成果】 各がん検診を実施し、胃・肺・大腸・子宮・乳がんにおいて早期がんの人が発見できた。大型はがきや電話等の受診勧奨を行い、健診受診率の向上を図った。

大腸がん検診は受診率が大幅に低下したが、令和7年度に向け方法を一部変更し、受診率向上に取り組んでいる。

個別に訪問や電話による勧奨を実施し、各種がん検診の精密検査受診率が上昇した。

個別に訪問指導を行うことにより、生活習慣の改善や医療機関受診へつながった。保健指導対象者の方の中には、体重・腹囲の減少など効果が出た方もあった。

②健康支援事業 1,565千円

食推に健康づくりや食育推進に関する知識をさらに深める学習会を開催し、推進員が各自治会において食の分野を中心に健康づくりについての伝達講習会を行った。

項目	対象者	R4年度		R5年度		R6年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
学習会	食生活改善推進員	9回	108人	9回	123人	9回	123人
伝達講習会（町予算）	自治会住民	6回	69人	7回	77人	10回	241人
〃（その他予算）	自治会住民	15回	381人	21回	579人	23回	507人
食生活改善推進員養成講座		6回	39人			5回	53人

・健康相談及び健康教育

健診の事後や自治会を対象に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項目	R4年度		R5年度		R6年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
歯科相談	6回	355人	6回	264人	7回	435人
いきいき健康講座（各自治会）	20回	384人	29回	461人	35回	622人
その他の健康教室(出前講座等)	11回	183人	14回	243人	8回	115人
健診事後教室※	5回	31人	5回	27人	6回	47人
生活習慣病予防講演会			(血圧)	37人	(血圧)	71人
健康フェスタ	1回	200人				

※健診事後教室：「健活教室」「運動教室」

・小学校食育『弁当の日』の取組

小学6年生が自分で弁当を作成する『弁当の日』を設定し、感謝の気持ちや自立心を養うことに加え、栄養や調理に関する知識や調理技術を習得に取り組んだ。



小学生弁当の日

・健康ポイントラリー（健康マイレージ）

健(検)診事業（赤シール）と、健康づくり事業（青シール）の両方を必ず1つ以上使用して5ポイント貯まった方（抽選で250人）に、健康に関する賞品を贈呈した。

事業を2つに分類することで、講座や教室等の参加者を増やし、健(検)診・運動・食事など日常生活における健康づくりの大切さについて健康意識の向上を図った。

応募者数	R4年度	R5年度	R6年度
	477人	488人	536人

※健診受診・健康づくり事業への参加動機となった割合86%（応募アンケート）

・ヘルスアップ教室（糖尿病性腎症重症化予防）

糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者、受診中断者に適切な受診勧奨や保健指導を行い、腎不全、人工透析等への理解促進と生活習慣を振り返る機会となった。

参加者41人、延83人

（医師講演会32人、管理栄養士理学療法士講演会21人、血液検査18人、保健指導12人）

教室参加者で数値が改善した人の割合

HbA1c 6人/32人(18.8%)、腎機能 7人/32人(21.9%)

医療機関未受診者8人中、受診勧奨により3人受診(37.5%)



ヘルスアップ教室（医師講演会）

【成果】 伝達講習会を22自治会（延32自治会）・健診会場の合計33回実施し、望ましい食習慣について啓発することができた。

他の組織・団体（小・中学校、学校栄養職員、公民館等）と連携した食生活推進活動を実施することで、食育について幅広く普及することができた。

小学校6年生の『弁当の日』では、事前学習、弁当作りを通して、栄養バランスの学習や感謝の気持ちや自立心を養う一助となった。

血圧講演会は、高血圧が起こる仕組みや予防法について理解を深め、習慣の振り返り、今後の実践につながる機会となった。

いきいき健康講座は、コロナ禍前の実施回数に戻りつつあり、開催自治会では健康の意識向上につながった。

健診事後教室で実施している運動教室では、事業終了後、北栄スポーツクラブの回数券11回分を贈呈することで運動習慣の定着を支援することができた。

健活教室では、検査値が示す生活習慣の改善点を理解し、食事、運動の大切さを再認識し、実践につながる機会となった。

③生活習慣病予防事業 229千円

- ・子どものよい生活習慣づくり
子どものころからの生活習慣病予防を推進するため、小学6年生を対象に生活習慣病予防講演会を実施した。保護者への啓発として、保護者参観を再開した。
- ・中学生におけるピロリ菌検査及び除菌
中学3年生を対象に、将来の胃がん予防を目的で実施。

項目	R4年度	R5年度	R6年度
受診者数	92人/121人	89人/135人	107人/135人
一次検査受診率	76.0%	65.9%	79.3%
真の陽性率	2.2%	1.1%	0%

【成果】 子どものよい習慣づくりの講演会では、喫煙の害や糖分摂取、メディア利用の注意点などについて学ぶことにより、将来の生活習慣病予防についての知識向上につながった。また、中学生のピロリ菌検査については、検査を実施し、将来のがん予防につなげることができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	6 後期高齢者医療対策費	286,336千円	282,494千円

①後期高齢者医療対策事業 212,503千円

後期高齢者医療広域連合へ支払う療養給付費の町負担分 198,156千円
後期高齢者医療広域連合へ支払う共通経費の町負担分 14,347千円

②後期高齢者医療特別会計繰出金事業 58,219千円

- ・基盤安定分 54,668千円
- ・一般事務費等分 3,221千円
- ・健診個人負担分 330千円

【成果】 後期高齢者の健診の個人負担を無料にすることで、健診勧奨の一助となった。

③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 11,772千円

平均寿命延伸及び医療費適正化のため、訪問・受診勧奨等を行った。

【ハイリスクアプローチ】

- 低栄養 13人
- 睡眠薬 11人
- 重症化予防（糖尿病、高血圧症治療中断者） 25人
- 重症化予防（コントロール不良、受診勧奨） 16人
- 健康状態不明者 33人

【ポピュレーションアプローチ】

- 健康教育、健康相談 延31回・延569人
- フレイル状態の把握 延26回・延510人

【成果】 国保データベースシステムを活用して健康課題の把握や対象者の抽出を行い、対象者への訪問支援により必要なサービスや病院受診、健康状態の把握につながった。
健康教育等では、フレイル予防啓発、内科・歯科健診受診勧奨、体組成計を用いてフレイル状態の把握により生活習慣の振り返りと運動習慣継続の意欲につながった。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	20 持続可能なまちづくり推進費	248千円	228千円

①持続可能な発展を目指す自治体会議事業 228千円

- ・旅費 178千円
- ・会議負担金 50千円

意見交換会（PJ100セミナー）11/27、自治体相互視察（埼玉県横瀬町）11/28～29

【成果】 人口減少、少子高齢化など同じ課題を持つ小規模自治体が地域資源を活かしたエネルギーの利用など先進的・特徴的な取り組みについて情報共有を行い事業に活かした。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 環境衛生費	13,707千円	11,287千円

①環境衛生事業 1,457千円

- ・環境審議会委員報酬 51千円 (6/9, 2/24)
- ・クリーンランドほうき管理委員会委員報酬 12千円 (2/21)
- ・各種委員報酬（環境CF0） 110千円
（6/9, 7/6, 7/27, 9/28, 12/21, 2/24, 海岸イベント：8/24）
- ・環境美化促進地区看板設置工事 268千円
- ・地域創造ネット年会費 50千円
- ・こどもエコクラブ活動支援補助金 964千円

	R4年度	R5年度	R6年度
活動人数	1,602人	1,607人	1,562人

- ・環境推進委員会（1/22）
- ・環境学習会

	R4年度	R5年度	R6年度
開催数	2小学校	2小学校	2小学校
	8自治会	0自治会	4自治会
	5団体	4団体	3団体

【成果】 環境推進委員会、環境学習会（出前講座）等で町の取り組み、環境衛生事業、ごみの減量化、有害ごみの説明、啓発等を行った結果、ごみ分別の徹底が推進された。環境CF0の自主的な取り組みや環境審議会での発表により、環境に対する新たな視点が広がった。

②広域連合負担金（火葬）事業 7,902千円

- ・火葬場費 7,062千円
- ・琴浦斎場負担金 840千円

③飼い主のいない猫対策事業 849千円

- 貸し出し用捕獲機購入 49千円
- 猫避妊・去勢手術費補助金 800千円

	R4年度	R5年度	R6年度
申請数	34件	23件	21件
頭数	80頭	122頭	106頭

【成果】 「人と動物の共生」を理念に、飼い主のいない猫の繁殖を抑制することにより、生活環境の保全を図った。

④犬登録等事業 1 2 3 千円

鑑札・注射済票 28千円
 鑑札・注射済票交付事務手数料収納事務委託料 95千円

	R4年度	R5年度	R6年度
予防注射済証発行	458頭	459頭	483頭
登録数	607頭	599頭	567頭
接種率	75.5%	76.6%	85.2%

【成果】 犬の登録制度に基づき、狂犬病予防注射の徹底を図った結果、注射を受ける頭数が増えるとともに接種率が増加した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 環境保全費		21,307千円

①再生可能エネルギー等導入事業 1 0 千円 ※風のまちづくり活用事業

- ・バイオマス産業都市推進協議会負担金
- ・バイオマス活用推進協議会 (3/28)

【成果】 木材の有効活用、再生可能なクリーンなエネルギーの推進・活用が進んだ。また、プールの利用期間の延長、館内の暖房により利用者の健康増進へ繋がった。

②省エネルギー普及啓発事業 1, 1 5 5 千円 ※風のまちづくり活用事業

- ・夏休みエコチャレンジ参加賞 36千円
- ・ワークショップ講師謝金 11千円
- ・ワークショップ消耗品 29千円
- ・かんきょうチェックノート (小学校4年生) 72千円
- 配布 142人 提出 112人 回収率 78.9%
- ・ワークショップ委託料 1,007千円

ほくえい未来トーク2024

- 第1弾 9/21 あなたの写真やエピソードでつくるエコ・グラフィック
- 第2弾 10/12 風車現地ワークショップ
- 第3弾 10/26 まちの環境健康診断inわいわいフェスタ
- 第4弾 11/23 省エネ・再エネランチワークショップ



【成果】 小学4年生を対象に事前学習を行った上で夏休みに「かんきょうチェックノート」を配布し、家庭でできる省エネルギーの取り組みを実践し、家族を含めた普及啓発ができた。

町民、事業者が参加し、4回の「ほくえい未来トーク」を行った。20年目を迎えた風力発電やこのことを契機に始まっている気候変動、地球温暖化に対する取組が、世界的にも先進的で着実な活動であると評価され共有できた。

④創エネ設備等設置費補助金事業 13,258千円 ※風のまちづくり活用事業
 町内の住宅等に太陽光発電システムやその他の創エネルギー設備等を設置する者に設置費用の一部を補助することで、地域での再生可能エネルギーの導入を推進した。

太陽光発電システム			創エネルギー設備等		
年度	件数	出力	木質バイオマス	蓄電池等	HEMS
R4	17	82.17kW	0件	18件	
R5	16	85.77kW	1件	19件	2件
R6	24	142.64kW	1件	24件	2件

【成果】 太陽光発電システムや創エネ設備設置費の一部を補助し、導入促進したことにより、エネルギーの自家消費が増加し、化石燃料由来電力の消費削減につなげた。

⑤電気自動車急速充電器管理事業 543千円 ※風のまちづくり活用事業
 ・青山剛昌ふるさと館駐車場に設置している電気自動車急速充電器の管理を行い、利用者の利便性を図った。

【成果】 EV車利用者の利便性を確保し、EV車の普及に貢献した。

⑥省エネ住宅リフォーム補助金事業 5,115千円 ※風のまちづくり活用事業
 省エネ推進のため、断熱改修などの省エネルギーに特化し、地元事業者要件も加えて改修費用の一部を補助した。また、令和6年度からZEH基準改修について拡充した。

	R4年度	R5年度	R6年度
申請件数(件)	8	3	7
補助対象経費(千円)	4,789	750	10,185
補助金支給額(千円)	1,020	223	5,115

【成果】 快適な住環境整備を図るとともに、家庭における省エネルギー化により、地域脱炭素をより推進する取組となった。

⑦置き配ボックス導入推進事業 614千円
 チラシ印刷代 86千円
 置き配ボックス導入補助金 528千円
 (財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 614千円

【成果】 宅配事業者と連携して置き配ボックスの導入を推進することで、運輸部門の脱炭素を推進するとともに住民の利便性が向上した。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予算現額	決算額
		目	1 塵芥処理費		
				182,914千円	166,012千円

①塵芥処理事業 715千円
 ごみ収集日程表作成(R7分) 182千円
 国坂浜土砂捨場管理委託料・土地借上料 159千円

【成果】 わかりやすいごみ日程表を配布することにより、適切な分別方法が周知でき、ごみの減量化が進んだ。

②一般廃棄物収集事業 39,598千円
 ごみ収集委託料 38,315千円
 町道死亡獣畜処理委託料 164千円
 ごみ収集所整備補助金 1,103千円 (10自治会)

【成果】 ごみの収集を事業者に委託することにより確実な収集を実現したほか、リサイクルステーションやごみ収集所の整備により、効率化を図った。

③広域連合負担金（ごみ）事業 97,150千円

ごみ処理費	85,159千円
ごみ処理施設建設費	117千円
最終処分場建設費	11,874千円

【成果】ごみ処理について広域連合で行うにより効果的に行った。

④再生資源収集委託事業 9,829千円 ※風のまちづくり活用事業

発泡スチロール処理委託料	1,363千円
収集委託料	3,606千円
ガラスびん処理委託料	928千円
リサイクルステーション管理委託料	168千円
廃食用油収集委託料	217千円
軟質プラスチック回収委託料	2,599千円

【成果】再生資源（発泡スチロール、ガラスびん）などの収集運搬・処理を適切に行ったことや新たに軟質プラスチックの分別に取り組んだことで、ごみの減量化が進んだ。

《一般廃棄物・再生資源等収集量》

(単位：t)

	可燃ごみ	不燃ごみ	有害ごみ	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	小型家電
R4年度	3,146	101	4	187	61	75	19	26
R5年度	2,974	92	4	166	56	72	17	23
R6年度	2,916	92	4	153	52	65	16	22

(単位：t)

	ペットボトル	発泡スチロール	雑誌	ダンボール	牛乳パック	新聞	古着	軟プラ
R4年度	24	3	70	41	2	76	36	
R5年度	24	3	66	37	2	66	33	
R6年度	24	3	66	36	2	61	32	6

(単位：kg)

	廃食用油
R4年度	8,279
R5年度	7,183
R6年度	8,073

《廃棄物のリサイクル状況》

	総排出量 ①	うち再生資源 ②	リサイクル率 ②/①
R4年度	4,061 t	619 t	15.2%
R5年度	3,810 t	566 t	14.9%
R6年度	3,723 t	553 t	14.9%

⑤再生資源回収団体事業 545千円

再生資源回収報償金	545千円
実施団体数74団体	

《回収量》

	古紙	缶	びん
R4年度	159 t	24 t	780本
R5年度	144 t	22 t	626本
R6年度	143 t	22 t	500本

【成果】登録団体による自主的な再生資源回収を支援することで、地域単位でのごみの減量化が進んだ。

⑥統一指定ごみ袋事業 8,470千円

可燃ごみ用指定袋作成委託料 8,470千円
 大：350,000枚（700箱）
 中：150,000枚（300箱）
 小：100,000枚（200箱）

【成果】指定ごみ袋の活用により可燃ごみの適切な処理を図った。

⑦海岸漂着物処理事業 2,788千円

海岸清掃自治会手数料（16自治会/年3回） 1,981千円
 海岸漂着物処理委託料 776千円
 《沿岸自治会実施状況》

	のべ回数	参加人数
R4年度	45回	1,960人
R5年度	44回	1,731人
R6年度	38回	1,356人

【成果】県からの委託事業により海岸の維持・保全を行ったことで、海ごみに対する意識啓発につながった。

⑧不法投棄対策事業 2,613千円

不法投棄防止看板、環境見守り隊消耗品 206千円
 不法投棄撤去事業等補助金 2,407千円
 《不法投棄防止啓発用看板》 《撤去事業等補助金》

	貸出	看板作成		対象数	補助金額
R4年度	15カ所25枚	—	R4年度	1件	15千円
R5年度	11カ所25枚	20	R5年度	2件	97千円
R6年度	10カ所24枚	50	R6年度	2件	2,407千円

【成果】不法投棄防止のため、看板等の貸し出しや不法投棄された廃棄物を補助金などにより速やかに撤去することで新たな不法投棄の発生を抑制した。環境見守り隊の活動により住民自らで取り組む気運を醸成した。

⑨指定ごみ袋配布事業 4,304千円

全戸配布用ごみ袋費用 3,771千円
 指定ごみ袋配布委託料 533千円
 （財源）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 4,304千円

【成果】物価高騰対策のためごみ袋大（25枚入）を全戸に配布し、住民の負担軽減を図った。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 し尿処理費		
				10,160千円	10,085千円

①広域連合負担金（し尿）事業 10,085千円

クリーンセンター費 9,576千円
 し尿処理施設建設費 509千円

【成果】し尿処理について広域連合で行うことにより効果的に行った。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	1 町営住宅管理費	4,240千円	3,807千円															
<p>①町営住宅管理事業 3,169千円</p> <p>町営住宅修繕費 152千円</p> <p>消防用設備保安委託料 293千円</p> <p>昇降設備保守委託料 2,614千円</p> <p>年度内の入居件数は9件、退去件数は7件で、3月末現在の入居率は98.3%となっている。 ・町営住宅の入居状況（令和7年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>管理戸数</th> <th>入居戸数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>由良宿団地</td> <td>60戸</td> <td>59戸</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】適正に募集、管理し、住宅困窮者に対して入居機会の確保を図った。</p>						団地名	管理戸数	入居戸数	由良宿団地	60戸	59戸									
団地名	管理戸数	入居戸数																		
由良宿団地	60戸	59戸																		
<p>②民間賃貸住宅家賃補助事業 638千円</p> <p>民間賃貸住宅家賃補助 638千円</p> <p>【成果】民間賃貸住宅の家賃補助を行うことで、用途廃止事業を円滑にすすめた。</p>																				
款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	3 県営住宅費	826千円	476千円															
<p>①県営住宅団地管理事業 476千円</p> <p>県営住宅修繕費 364千円</p> <p>県から3団地22戸の管理委託を受けている。 年度内の入居件数は1件、退去件数は0件で、3月末現在の入居率は100%となっている。 ・県営住宅の入居状況（令和7年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>管理戸数</th> <th>入居戸数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄第1団地</td> <td>8戸</td> <td>8戸</td> </tr> <tr> <td>栄第2団地</td> <td>8戸</td> <td>8戸</td> </tr> <tr> <td>大野団地</td> <td>6戸</td> <td>6戸</td> </tr> <tr> <td>県営住宅合計</td> <td>22戸</td> <td>22戸</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】適正に募集、管理し、住宅困窮者に対して入居機会の確保を図った。</p>						団地名	管理戸数	入居戸数	栄第1団地	8戸	8戸	栄第2団地	8戸	8戸	大野団地	6戸	6戸	県営住宅合計	22戸	22戸
団地名	管理戸数	入居戸数																		
栄第1団地	8戸	8戸																		
栄第2団地	8戸	8戸																		
大野団地	6戸	6戸																		
県営住宅合計	22戸	22戸																		
款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	9 六尾北団地用途廃止費	2,120千円	2,117千円															
<p>①六尾北団地用途廃止事業 2,117千円</p> <p>所有権移転、買戻特約登記申請委託料 2,117千円</p> <p>【成果】用途廃止に伴う入居者への譲渡のため、所有権移転登記などを行い、譲渡を円滑にすすめた。</p>																				
款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	10 県営住宅栄第1団地用途廃止事業	303千円	301千円															
<p>①栄第1団地用途廃止事業 301千円</p> <p>県営栄第1団地土地分筆業務（町有地部分）委託料 301千円</p> <p>【成果】用途廃止後の譲渡に向けた分筆登記を行うことで、譲渡を円滑にすすめる準備ができた。</p>																				

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 農業委員会費	48,962千円	45,988千円

①農業委員会総務事業 22,917千円

- (1) 現員 25人 うち農業委員 13人 農地利用最適化推進委員 12人
(2) 総会開催状況 総会12回、臨時総会1回

・農地法事務処理状況
処理件数

年度	R4年度	R5年度	R6年度
農地法第3条	30件	32件	27件
農地法第4条	1件	3件	0件
農地法第5条	10件	12件	10件
農地法第3条の3	49件	153件	103件
農地法第18条	67件	92件	70件
非農地証明	3件	6件	6件
2a未満転用	3件	0件	2件
土地改良届	0件	1件	0件

- 農地法第3条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定
農地法第4条 : 所有者による農地の転用
農地法第5条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定を伴う農地の転用
農地法第3条の3 : 相続等の権利取得の届出
農地法第18条 : 農地使用貸借等の解約
非農地証明 : 非農地であることの承認
2a未満転用 : 小規模な農業用施設設置に係る転用
土地改良届 : 水田の畑への変換

・農用地利用集積事業処理状況
処理件数

年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用権設定(筆)	778筆	707筆	263筆
うち解除条件付	77筆	20筆	4筆
所有権移転	11件	12件	10件

・農地利用状況調査
遊休農地の状況

年度	R4年度	R5年度	R6年度
再生利用が可能な農地	639,567㎡	778,154㎡	1,023,977㎡
うち田	162,289㎡	213,245㎡	263,654㎡
うち畑	477,278㎡	564,909㎡	760,323㎡

・農家相談の実施状況

農地などの困りごとについて、農業委員が相談を受けた。(毎月1回実施)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
相談件数	19件	21件	15件

※ 令和3年1月から実施

・家族経営協定の新規締結状況

年度	R4年度	R5年度	R6年度
新規締結件数	7件	5件	1件

(3) 委員会活動状況

- 農地委員会 法人営農状況調査1回 (2法人)
- 農政委員会 意見書提出
- 広報委員会 農業委員会だより『菜種』発行4回



法人営農状況調査



意見書提出



菜種

(4) 農振法事務処理状況

処理件数及び面積

年度	R4年度		R5年度		R6年度	
軽微変更	2件	329㎡	2件	2,103㎡	1件	21㎡
重要変更	2件	3,816㎡	3件	1,338㎡	1件	2,020㎡

軽微変更 : 農業用施設用地への用途変更等

重要変更 : 農用地区域からの除外(農地転用)等

【成果】 遊休農地が年々拡大する中、地域計画に向けた農地の活用について地域の話し合いを進めるほか、農業者を増やすための施策を検討し、定年就農に対する支援の提案を行い、新たな農業者の掘り起こしにつながった。

②農地流動化推進事業助成金事業 5,511千円

・助成要件 令和6年1月1日から令和6年12月31日までの間における賃貸借3年以上の利用権設定

・認定農業者、認定新規就農者 (新規2,000円/10a、更新1,000円/10a)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
対象者(人)	41人	42人	39人
うち家族経営協定締結者	14人	15人	9人
対象面積(㎡)	527,578㎡	517,917㎡	632,596㎡
うち家族経営協定締結者	67,287㎡	82,891㎡	95,829㎡

・認定農業者以外 (新規1,000円/10a、更新500円/10a)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
対象者(人)	40人	47人	33人
うち家族経営協定締結者	3人	5人	4人
対象面積(㎡)	172,271㎡	275,712㎡	124,749㎡
うち家族経営協定締結者	13,630㎡	40,208㎡	13,299㎡

【成果】 新たに認定新規就農者に対する支援を充実し、認定農業者の規模拡大だけでなく、新規就農者の農地確保及び経営安定を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 国有農地等管理処分費	24千円	24千円

①国有農地等管理処分事業 24千円

国有農地借受者の耕作状況の把握及び貸付使用料の徴収事務を行った。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 農業者年金費	935千円	934千円

①農業者年金事業 934千円

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上と併せて、農業の担い手を確保するため、新・旧農業者年金加入者の各種手続きや新農業者年金の加入推進を行った。

- ・農業者年金受給者の届出処理及び指導

被保険者

年度	R4年度	R5年度	R6年度
新農業者年金	57人	51人	53人
うち新規加入者	3人	1人	6人

受給者

年度	R4年度	R5年度	R6年度
旧農業者年金	143人	149人	121人
新農業者年金	35人	37人	37人

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	17 農地中間管理費	11,156千円	11,026千円

①農地中間管理事業 7,733千円

農業の生産性向上や農業経営の効率化を進める担い手への集積・集約を加速させることにより、農業経営の規模拡大、農用地の集団化、有効利用、効率化を図った。

- ・中間管理事業による実績

年度	R4年度		R5年度		R6年度	
マッチング (中間管理権設定)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)
	128筆	231,092㎡	316筆	484,993㎡	996筆	1,258,236㎡

②機構中間保有地再生活用事業 3,292千円

担い手経営体の育成と経営の強化のため、農地中間管理機構が行う荒廃農地再生に助成することにより、農地の集積と集約化による利用の効率化を図った。

【成果】 遊休農地が再生でき、担い手への農地の集積を推進することができた。
(六尾・原)



再生前 (六尾)



再生後 (六尾)



再生前 (原)



再生後 (原)

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	16 移住推進費	74,204千円	61,753千円

①イチゴ産地化地域おこし協力隊事業 24,228千円

新たに6名を採用し、イチゴの栽培技術の習得に努めた。また先進地視察を行い、栽培技術・観光農園のノウハウを学んだ。その他、ふるさと館・図書館での直売、こども園・小学校での食育活動を通じ、地域住民との交流を深めた。

【成果】 年間を通した一連のイチゴ栽培技術を学び、基礎的な栽培技術を習得できた。また直売や園・小学校での食育活動により住民との交流と地域活性化が図れた。



こども園での食育活動

②ブドウ産地活性化地域おこし協力隊事業 7,982千円

(株)北条ワイン醸造所でワイン用ブドウ栽培を学んだほか、北条ワインのPR活動を行った。その他にも、居住地域において地域の清掃活動等に参加し地域住民との交流を深めた。

【成果】 年間を通した一連のブドウ栽培を学び、基礎的な栽培技術を習得できた。圃場管理者のもとで成木の管理等についても学び、着実に就農に向けた準備を行っている。また、県外で町特産品の北条ワインPR活動を行い、地域の活性化が図れた。



県外の試飲会では生産者目線でPR

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 農業総務費	89,227千円	86,393千円

①集落支援員事業 3,976千円

地域の巡回、点検及び状況把握に関する活動などや有害鳥獣の農作物被害調査、捕獲活動により集落支援を行った。

【成果】 有害鳥獣による被害調査・捕獲活動のほか、有害鳥獣による生活安全に関する相談や道路に出た竹の除去、農道への落石除去など地域と連携した活動ができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 農業振興費	152,509千円	126,887千円

①ブロッコリー産地の広域化等総合対策事業 2,006千円

ブロッコリーの産地化に向けた移植機導入支援3件、水田・畑作機械を活用したブロッコリー栽培の確立に向けた実証試験圃場の設置支援1件を行った。

【成果】 機械導入に伴う作業の省力化・効率化による栽培面積の拡大、並びに水田・畑作用機械を活用して実証試験圃を設置し、適正品種の選定、排水対策技術の確立、栽培経費の低コスト化等、栽培体系確立ができた。



野菜移植機

②経営改善支援活動事業 551千円

- ・認定農業者審査会報償費 16千円
*審査会：3回 審査件数：新規10件・更新29件
- ・農業経営基盤強化資金利子補助金 39千円
- ・果樹等経営安定資金利子助成 21千円
- ・果樹共済農家負担軽減補助金 105千円
- ・収入保険加入促進事業費補助金 371千円

年度	R4	R5	R6
農業経営基盤強化資金利子補助	1	1	1
果樹共済農家負担軽減補助	28	23	26
認定農業者認定件数（新規）	26(17)	25(6)	39(10)

【参考資料】

認定農業者総数の推移	
R4	160人
R5	163人
R6	160人

【成果】 農業者の経営の安定と生産振興の支援に繋がった。

*所得380万円以上
1,800時間労働/年

③農業振興補助金事業 11,503千円

- ・北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金 1,300千円
生産者自らが消費地に出かけて行う販売促進活動等で活用する、PR用ポスターやチラシの作成などに要する経費に対して補助金を交付し、さらなるブランド化の推進が図れた。6生産部（長芋、大栄西瓜、花き、らっきょう、ぶどう、オリジナル野菜・ミニトマト）
- ・経営所得安定対策推進事業費補助金 2,495千円
経営所得安定対策制度を円滑に推進するため、実務を行う北栄町農業再生協議会に対して、補助金を交付した。
- ・鳥取梨生産振興事業費補助金 2,756千円
鳥取県育成オリジナル新品種（新甘泉など）の導入と生産拡大のための費用に対する支援を行った。
2件（梨の改植 10a、140本）
（育苗委託 6a、80本）
（育成奨励金 6a）
（防除用機械 1台）
- ・鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金 4,952千円
産地で振興する果樹の優良品種の導入、生産基盤の整備のための費用に対する支援を行った。
3件（ぶどうの新植 4.32a、8本）
（かん水施設 4.32a）
（果樹棚 4.32a）
（ぶどうハウス 20.52a）
（育成奨励金 4.32a）
（草刈機 1台）

(千円)

年度	R4	R5	R6
北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金	884	994	1,300
経営所得安定対策推進事業費補助金	2,477	2,568	2,495
鳥取梨生産振興事業費補助金	5,646	6,658	2,756
鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金	743	1,635	4,952

④がんばる農家プラン事業 19,318千円

意欲ある農業者等が行う創意工夫を生かしたプランに対して補助金を交付し支援した。

- ・花壇苗規模拡大プラン（2/2年目） 5,642千円
苗床ベンチ、モスバリア、ハウス電気工事、自動灌水設備
- ・長芋、らっきょう生産拡大プラン（2/3年目） 824千円
作業場
- ・飼料用稲規模拡大プラン（1/1年目） 625千円
細断型ホールクロープ収穫機、自走ラップマシーン
- ・梨生産拡大プラン（1/2年目） 1,506千円
トラクター、フレールモア、フロントローダー
- ・菌床シイタケ規模拡大プラン（1/2年目） 10,722千円
栽培施設

R4年度		R5年度		R6年度	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
6	28,762	5	21,604	5	19,318

【成果】 農業者による創意工夫を生かした取り組みにより、規模拡大、所得向上等が行われ、元気な農業者の育成、北栄町農業の振興、活性化に繋がった。

⑤担い手育成支援整備事業 654千円

新規就農者に対し、就農初期に必要な機械・施設導入に対する補助を行った。

- ・就農条件整備事業補助金
 - サブソイラー、管理機、充電式運搬車（西瓜、ミニトマト、長芋） 416千円
 - 灌水設備、静電噴口（西瓜、中玉トマト、ストック） 238千円

	R4年度		R5年度		R6年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
就農整備	8	5,506	6	6,137	2	654
経営発展	1	1380	2	3,962	0	0



管理機

【成果】 新規就農者の就農初期に要する経営基盤整備に係る負担の軽減を図ることができた。

⑥集落営農体制強化支援事業 4,498千円

集落営農の規模拡大に向けた機械（コンバイン）導入について支援を行った。

【成果】 機械整備することを支援することにより、農作業の効率化及び省力化を図り、組織の財政基盤を強化することができた。

⑦もうかる6次化・農商工連携支援事業 170千円

町内で事業を行っている者に対して、業務用冷凍庫の導入を支援した。（1件）

【成果】 業務用冷凍庫の導入を支援し、自家製スイートコーンを使ったソフトクリームの原料を店舗保管できるようになったことで、効率的な製造、販売につながった。



導入された業務用冷凍庫

⑧産地パワーアップ事業（繰越） 48,905千円

- 産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 4,715千円
産地が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取り組みに対する支援を行った。
西瓜 寒冷紗 31戸 123枚
- 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 44,189千円
西瓜 鳥取型低コストハウス 7戸 27棟

年 度	R4		R5		R6	
西瓜 寒冷紗	178枚	-	154枚	-	123枚	-
西瓜 低コストハウス	109棟	29,262㎡	83棟	22,264㎡	27棟	8,000㎡

【成果】 寒冷紗や低コストハウスの導入による栽培環境の改善により、産地・ブランド化の拡大につながった。また、作業効率の改善や栽培技術の確立により収量・品質等の収益性の向上が図れた。

⑨園芸産地活力増進事業 17,199千円

鳥取県農業の強みの一つである野菜等の振興を図るため、園芸品目の産地づくりや野菜等の供給体制整備の取り組みを支援した。

らっきょう植付機（2台）	1,220千円
らっきょう収穫機（2台）	584千円
寒冷紗（32枚）	1,077千円
アシストスーツ（5着）	68千円
ロボットパレタイザー（1台）	14,250千円



らっきょう植付機

【成果】 生産団体等の機材導入を支援することにより、作業省力化、生産供給環境の整備ができ、他の生産者への普及拡大も図れた。

⑩農業経営サポート事業 250千円

- 体験農園の管理委託 250千円
ドリームクラブに体験農園の管理を委託し、町内こども園園児とさつまいもの定植・収穫を行った。

【成果】 さつまいもの定植・収穫を通じて農業体験機会の提供と園同士の交流・若手農業者との交流を図ることができた。

⑪中部フェスタ事業 330千円

負担金により「中部発！食のパラダイスフェスタ」の開催に寄与した。

【成果】 北栄町内の飲食事業者や特産品、加工品等をPRする機会とし、地域での消費拡大につながった。

⑫スマート農業社会実装促進事業 3,344千円

スマート農機の社会実装に向けて、自動操舵トラクター 1件、ハウス自動換気装置 1件の導入に関する支援を行った。

【成果】 スマート農機の導入支援を行うことにより、作業時間の短縮による省力化、作業の高精度化を図り、持続可能な農業を推進できた。

⑬農産物PR事業 846千円

広島マツダスタジアム、東京都港区、滋賀県湖南市など、県内外での販売促進イベント等に出展し、北栄町農産物の魅力を伝えた。

【成果】 現地での販売促進イベントを実施したことにより、消費地において北栄町産の農産物をPRする良い機会となった。

滋賀県湖南市では「らっきょう漬け方講習会」を開催し、生産者も講師として同行され、消費者の反応などに直接触れる機会となったことで販路拡大の一助となった。



らっきょう漬け方講習会(湖南市開催)

⑭戦略的園芸品目総合対策事業 398千円

県育成のオリジナルいちご品種「とっておき」の安定栽培のため、既設高設栽培ベンチの灌水資材等一式や、器具の導入を支援した。

【成果】 県育成のオリジナルいちご品種「とっておき」の反収・品質向上、生産基盤強化に必要な作業環境整備が図れた。

⑮鳥取の花いきいき総合戦略事業 3,367千円

高度な技術が必要な育苗の委託、収穫調整用LED照明、播種機、杭打機等の導入に対し体制整備の支援を行った。

【成果】 品質の安定した苗を定植することで安定した出荷本数の確保、LED照明による品質向上、播種機等による面積拡大に繋がった。

⑯ジャンボタニシ防除対策事業 247千円

町内水田においてジャンボタニシ（スクミリンゴカイ）による被害が拡大しているため、防除作業（農薬散布及び水口ネット設置）に対して補助金を交付した。

【成果】 7つの集落営農組織が農薬散布や水口ネットによる侵入防止を実施することにより、水稻被害の防止ができ安定した生産が維持できた。

⑰がんばる地域プラン事業 13,259千円

砂丘長芋・ねばりっこ「次世代産地創造」プラン実現に向けて、整備事業として長芋深耕機、収穫機（バックホー）の導入を行った。併せて、推進事業としてバックホーの利用に係る免許取得や運転技術の習得に向けて講習会開催や講習に係る経費支援を行った。

【成果】 収穫機器の導入費や各種整備事業費を補助したことで、産地の経営基盤強化が図れたとともに、安全な収穫環境づくりが整備できた。



長芋深耕機

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 担い手育成支援費	31,587千円	30,266千円

①担い手育成支援事業 30,266千円

・農業次世代人材投資資金（経営開始型）、経営開始資金 16,327千円
 独立就農をする新規就農者に対して、就農から5年間の生活基盤安定のための補助を行った。また、営農等に関するサポートを行った。

R4年度		R5年度		R6年度	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
14	16,798	16	18,675	14	16,327

- ・親元就農促進支援交付金 10,600千円
親元で就農しようとする後継者の農業研修をサポートすることにより、地域の農業力の底上げを図るとともに、将来の地域農業の中心となる人材の育成を行った。

R4年度		R5年度		R6年度	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
14	9,000	12	10,600	11	10,600

- ・就農応援交付金 2,600千円
独立就農をする新規就農者のうち、農業次世代人材投資資金・経営開始資金の対象外となった者について、就農時から生活基盤安定のため補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

R4年度		R5年度		R6年度	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
3	1,950	3	3,300	4	2,600

- ・産地主体型就農支援モデル確立事業 629千円
主体的に後継者を確保し育成する仕組みのモデル確立を目指す組織に対して、研修に必要な設備等の整備や体制構築の取り組みに対して支援を行った。

【成果】 産地維持・発展に必要な新規就農者の確保、定着を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 農林業地域改善対策費		

①国坂地区砂丘暗渠排水管理負担金事業 66千円

地域改善対策事業で設置した暗渠について、砂堆積による放水口の閉塞を開削するため、維持管理をしている大野自治会へ開削費用を補助した。

【成果】 維持管理をしている自治会へ費用補助することにより、地元負担の軽減となった。

②地域改善対策負担軽減事業 636千円

県営ほ場整備事業（21世紀水田対策大倉地区）に係る地元負担金及び経常経費に対し補助した。

【成果】 地元負担金及び経常経費を補助することにより、地元負担の軽減が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 畜産振興費		

①畜産振興事業 12,190千円

- ・後口谷畜産団地伐採・集積作業委託料 467千円
後口谷畜産団地に繁茂している草木等の伐採した。
- ・鳥取県畜産推進機構負担金 27千円
- ・畜産経営維持継続支援対策事業補助金 3,161千円
363頭の肉牛に対し肉用牛肥育経営安定交付金積立（新マルキン）補助金を交付し、経営の維持継続を支援した。
- ・乳牛改良事業補助金 2,500千円
優良乳用牛、優良精液、和牛受精卵の購入費の補助を行い、泌乳能力の向上と高品質な牛乳の生産等を図り、安定した酪農経営を支援した。
- ・畜産経営緊急救済事業補助 6,035千円
(財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 1,577千円

【成果】 畜産農家の経営の維持継続の支援をすることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 農地費		
				146,222千円	97,901千円
①単町農業農村整備事業			3,107千円		
町が管理する農道の除草、修繕等を行った。					
・農道管理委託料 1,911千円 シルバー人材センター、大栄西瓜組合協議会（スイカロード除草）等へ業務委託した。					
・農道修繕工事請負費 968千円 町管理農道の修繕を行った。					
・農道台帳管理費 228千円					
【成果】 町が管理する農道等の適切な管理をすることで、営農環境の整備ができた。					
②ため池管理事業			779千円		
北栄町内にある防災重点ため池（11箇所）及び北栄町に影響を及ぼす恐れがある琴浦町のため池（2箇所）の監視装置に係るシステム利用、点検保守費用					
【成果】 ため池管理者による台風などの豪雨時での危険な現地確認作業の軽減や、異常気象時における迅速な避難実施の判断が可能となった。					
③土地改良区地元負担軽減補助金事業			13,297千円		
地域農業の経営安定と活性化を目的として、地元負担軽減のため土地改良区への補助を行った。（町道新設改良事業費償還金補助を含む）					
・北条砂丘土地改良区関係 3,133千円					
・北条水系土地改良区関係 4,636千円					
・大倉土地改良区関係 1,904千円					
・大栄町土地改良区関係 3,624千円					
【成果】 土地改良区の運営費の一部を補助することにより、地元農家の負担軽減が図れた。					
④県営土地改良事業費負担金事業			11,237千円		
県営農業用河川工作物等応急対策事業（土地改良施設耐震対策事業）により北条用水改修工事を行った。 *国55%、県32%、倉吉市5.2%、北栄町7.8%					
県営地域ため池総合整備事業（下鳥池地区）により実施設計を行った。 *国55%、県32%、北栄町11%					
【成果】 北条用水の耐震工事並びに下鳥池の改修工事を進めることにより、安心して営農できる環境整備をすすめた。					
⑤国営事業			15,018千円		
・西高尾ダム周辺施設維持管理委託料 2,533千円					
・国営東伯地区維持管理事業負担金 7,390千円					
・国営東伯地区基幹水利施設更新事業負担金 5,057千円					
【成果】 対象施設の適切な維持管理が図れた。					
⑥ふるさと活性化基金積立金事業			17,554千円		
多面的機能支払交付金活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うための貸付（交付金交付時に償還）をするために、ふるさと農村活性化基金積立金を積立した。					
【成果】 基金を活用して貸付事業を行うことで、国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動ができている。					

⑦団体営農業農村整備事業 28,495千円

- ・測量設計委託費 6,380千円
- ・水路橋施設工事請負費 17,314千円
- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業負担金 2,157千円
- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金 2,644千円

【成果】 農業用施設整備を行ったことにより、安心して営農できる環境整備を行うことができた。

⑧土地改良区地元負担軽減（燃料高騰対策）補助金事業 7,796千円

- 農業水利施設を管理する事業者に対して、電気料金高騰分を補助した。
- 北条砂丘土地改良区 6,992千円
 - 大倉土地改良区 804千円
 - （財源）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 7,796千円

【成果】 農業水利施設を維持管理する土地改良区に対して、令和3年度と比較して高騰した電気料金を補助することにより、地元農家の負担軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 中山間地域等直接支払費	176千円	176千円

①中山間地域等直接支払事業 176千円

農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等（東高尾地区）における農業生産の維持を図るための活動に対し補助するもの。

年度	R4	R5	R6
協定数	1	1	1
対象用地	15,689㎡	15,689㎡	15,689㎡

※協定期間 R2～R6（第5期）

【成果】 中山間地域の農業生産の維持が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	11 有害鳥獣防除費	3,008千円	2,330千円

①有害鳥獣防除事業 2,330千円

有害鳥獣の捕獲や駆除により、農産物への被害を防いだ。

- ・鳥獣被害対策実施隊報酬 153千円
- ・ヌートリア等対策講習会講師謝金 8千円
- ・射撃環境支援事業補助金 38千円
- ・ヌートリア等捕獲奨励金 983千円
- ・カラス一斉駆除用弾代等消耗品 42千円
- ・鳥獣被害地域対策交付金 100千円

（匹、頭、羽）

捕獲・駆除	奨励金	R4	R5	R6
ヌートリア	3,000円	91	94	54
イノシシ	10,000円	26	70	89
カラス	1,000円	129	90	13
シカ	猟期外10,000円	6	5	5
アナグマ	3,000円	9	5	10

*シカの捕獲については、猟期（11/1～2月末）は奨励金5,000円。

【成果】 実施隊による捕獲を積極的に行ったことにより、農作物等への被害軽減が図れた。また、土下農事組合に鳥獣被害地域対策交付金を交付し、新規の狩猟免許取得者・有害鳥獣捕獲免許取得者があったことにより、生産者が自ら有害鳥獣被害対策に取り組む気運の醸成につながった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	12 多面的機能支払交付金費	104,791千円	104,480千円

①活動支援推進交付金事業 104,480千円

- ・多面的機能支払交付金 87,400千円
 地域住民が行う、農地や農業用施設などの農村資源や自然環境の保全の共同活動、農業用施設などの施設の長寿命化を図るための活動に対して交付金を交付した。
 24の組織のうち23の組織で広域協定を締結し、より活動に専念できる環境となった。
 ふるさと活性化基金を活用し、交付金支払いまでの間の各組織の活動費について貸付（無利子）事業を行った。（多面広域協定）
 （取組組織数）

	R4年度	R5年度	R6年度
多面的機能（農地維持、資源向上（共同））活動支援交付金	25 (うち24は広域)	25 (うち24は広域)	24 (うち23は広域)
多面的機能（資源向上（長寿命））活動支援交付金	24 (いずれも広域)	24 (いずれも広域)	23 (いずれも広域)

【成果】 各組織ごとで農地や自然環境の保全、施設等の長寿命化が図れた。

（組織数 2）広域協定組織、東高尾清流の郷
 （広域協定組織数 23組織は下記のとおり）*順不同

西園みどりの会	下種地域ふるさと保全会	由良別所地域水田耕作者の会
弓原地区農地・水・環境保全会	六尾農地保全会	妻波地区農地・水・環境保全会
下神地域環境保全隊	瀬戸みどりネット	大谷ふるさと愛創会
松神豊かな郷	原農村資源保全協議会	TMA（田井）
北尾環境活動組織	穂波水とみどりの会	北条島地区水田耕作者の会
米里農地保全会	大島みどりと水を守る会	上種ふるさと守る会
まがり美土里グループ	西穂波地区環境保全会	中北条水田を守る会
東園環境保全活動組織	亀谷環境保全会議	

- ・多面的機能支払交付金推進貸付金 13,750千円
 ふるさと農村活性化基金積立金を活用して、多面的機能支払の活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うために貸付をした。（多面的機能支払交付金交付時に償還）

【成果】 国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動ができている。

●ふるさと農村活性化基金（*R7.3.31現在）

	R6年度
基金残高	17,554,313円

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 しっかり守る農林基盤整備費	24,331千円	23,363千円

①しっかり守る農林基盤整備事業 23,363千円

- ・整備工事請負費 1,716千円
- ・整備碎石購入費 362千円
- ・基盤整備補助金 21,246千円
 農道補修、用排水路補修、畑かん用水ポンプ修繕、畑かん用水管更新、災害による災害復旧などを行った。

【成果】 農業生産基盤の改良、新設及び改修等により、安心して営農できる環境整備をすすめた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	14 環境保全型農業直接支援対策費	84千円	84千円

①環境保全型農業直接支援対策事業 84千円

化学肥料・化学合成農薬の5割以上低減と地球温暖化効果のある取り組み（有機農業）など環境保全型農業に取り組む農家等に対し、交付金を交付した。

R4年度		R5年度		R6年度	
件数	面積 (a)	件数	面積 (a)	件数	面積 (a)
1	342	-	-	1	70

【成果】環境保全を重視した農業生の取り組みを支援できた。

*取組団体：オーガニック農産普及推進ネットワーク鳥取

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	18 土地改良施設維持管理適正化事業費	3,689千円	3,689千円

①土地改良施設維持管理適正化事業 3,689千円

土地改良区が、施設整備・補修・維持管理事業を行うために必要となる事業費を、5年間均等に分けて鳥取県土地改良事業団体連合会を通じて全国連合会に積立拠出するため、その費用を補助した。

*国30%、県30%、町30%、土地改良区10%

・北条砂丘土地改良区関係 3,408千円 ・北条水系土地改良区関係 180千円
 ・大倉土地改良区関係 101千円

【成果】土地改良区が実施する事業費の一部を補助することにより、農家の負担軽減が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	28 気象災害等対策費	277千円	270千円

①緊急防除支援事業 270千円

湯梨浜町地内の水田で被害が拡大するジャンボタニシと縞葉枯れ対策のため、湯梨浜町が実施する「水田病害虫緊急対策(秋耕うん推進)事業補助金」について、北栄町に住所を有する農家の経費分を負担した。また、令和6年春期の降雹により被害を受けた梨柿等の病害虫蔓延防止、令和6年に大量発生した果樹カメムシの被害防止のため、緊急防除に要する経費の支援を行った。

【成果】生産者が安心して継続的に生産活動できるよう、生産者の営農意欲向上が図れた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 林業振興費	5,576千円	4,809千円

①枯松伐採促進事業 828千円

松くい虫による被害拡散防止と枯松による危険防止のために行った伐採に対し、経費を補助した。

* 事業体：1団体4個人

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
枯松伐採	7本	9本	87本	144本	152本	99本

【成果】枯松伐採費用の負担軽減を行うことで、被害拡大の防止につなげた。

②林業労働者福祉向上推進事業 91千円

林業労働者共済年金掛金及び林業労働者年末一時金支給の経費に対して助成を行った。
 ※ 事業体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団

【成果】 林業労働者の生活の安定と福祉の向上に寄与することで林業労働者の就労条件の改善を図れた。

③林業関係負担金事業 37千円

（社）鳥取県緑化推進委員会負担金 17千円
 鳥取県治山林道協会負担金 10千円
 天神川流域林業活性化センター負担金 10千円

【成果】 町の課題を各組織へ要望し、関係団体が一体となり地域森林の公益的機能の促進に繋がった。

④森林整備担い手育成対策事業 423千円

林業労働者の福利厚生の実現を図るため、林業労働者の育成・確保の助成を行った。

⑤間伐材搬出促進事業 1,126千円

間伐の推進、間伐材の搬出を促進するため、間伐材の搬出経費に対して助成を行った。
 ※ 事業体：鳥取県中部森林組合

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
伐採面積	8ha	6ha	7ha	4ha	14ha	12ha

⑥森林クラウドシステム整備事業 132千円

県・町・林業事業体が共有して森林情報を管理するシステムの保守を行った。

【成果】 森林情報の更新を行うことで林業事業の推進に役立った。

⑦森林経営管理事業 2,171千円

森林環境譲与税を活用し、新たな森林管理システム推進センターの支援を受け、森林経営管理制度における経営管理意向調査及び経営管理権集積計画作成業務を行った。

経営管理意向調査業務 2,171千円

【成果】 調査結果をもとに、経営管理権集積計画の作成準備を進めることができた。

●森林環境譲与税積立金（※R7.3.31現在）

年度	R3	R4	R5※	R6※
基金残高	6,643,274円	641,699円	積立なし	積立なし

※ R5、R6は森林環境譲与税を当該年度の事業費として全額執行したため積立なし。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	2 松くい虫防除費	48,987千円	37,335千円

①松くい虫防除事業 37,335千円

松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤散布防除や樹幹注入防除のほか、被害木の伐倒駆除を実施した。

松枯れの被害拡大に早期に対応するため、県内事業者の協力や有識者も含めた特別対策会議を開くなど特別対策を行った。

業務内容	R6年度	
	業務量	金額
松くい虫防除空中散布（地上作業含む）	59ha	6,509千円
松くい虫防除地上散布	5ha	1,367千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	336.7m ³	16,759千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除（※）	1式	7,436千円
養蜂群移転補償	1式	301千円
樹幹注入防除委託料	1,046本	4,755千円



松くい虫防除空中散布

※保全松林周辺被害木伐倒駆除（単町事業）は森林環境譲与税を活用

業務内容	R4年度		R5年度	
	業務量	金額	業務量	金額
松くい虫防除空中散布（地上作業含む）	59ha	5,779千円	59ha	6,154千円
松くい虫防除地上散布	7.5ha	1,587千円	5ha	1,138千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	1,975.3m ³	78,500千円	717.3m ³	26,617千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	10,773千円	1式	10,814千円
養蜂群移転補償	1式	415千円	1式	346千円

【成果】 松くい虫防除及び、松くい虫被害木の徹底伐採を行い、農業への影響をおさえた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	3 松林保全対策費	779千円	560千円

①松林保全推進事業 560千円

広葉樹（トベラ・マサキ・ネズミモチ）の苗木の購入を行い、関係者に配布し、地区保全松林の保全を行った。

※ 7地区（弓原、下神、松神、曲、西園、東園、妻波）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
購入本数	1,020本	1,530本	1,445本	2,000本	1,758本	1,462本
地区数	4	4	5	6	5	7

【成果】 配布した広葉樹を各地区が植栽し、松林の再生・管理に繋がった。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	4 竹林整備費	1,754千円	1,726千円

①竹林整備事業 1,726千円

・竹林整備事業補助金 1,693千円

放置竹林を整備（伐採）する費用に対し、豊かな森づくり協働税を活用し支援を行った。

※施行地面積が0.1～1.0ha未満（補助率8/10）

整備面積 0.26ha
整備箇所 2か所（六尾、土下）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
伐採本数	2,320本	1,196本	1,360本	10,224本	2,040本	5,590本
箇所数	1	1	1	2	1	2

【成果】 竹林の拡大防止と森林環境の改善が図れた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 商工振興費	1,454,482千円	1,213,035千円

①商工振興事業 6,855千円

- ・商工会補助金 6,000千円
商工会が行う経営支援事業等に対して補助金を交付し、商工業者の活動を支援した。また、商工会員の事業所を訪問して、業況の聞き取りや支援策の提案などを行った。

R4年度		R5年度		R6年度	
会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)
400	6,000	410	6,000	405	6,000

※会員数は年度末の数字

- ・北栄わいわいフェスタ補助金 700千円
北栄わいわいフェスタ実行委員会に対して補助金を交付し、町内産業・観光の魅力発信を支援した。

【成果】 商工会が行う経営支援事業等に対して補助金を交付することで、商工振興の取り組みを支援できた。組織率(会員数/町内事業者数)は、町内事業者数の70%を超えており、多くの町内事業者の活動支援につながった。また、隔年開催の北栄わいわいフェスタにより北栄町の文化・産業の魅力発信するとともに、コナン通りの賑わいを周辺地域に波及させた。



北栄わいわいフェスタステージイベント

②マル経融資利子補助事業 105千円

事業者の経営改善のために経営改善貸付(マル経融資)を活用した事業者に対し、返済分に係る利子補助を行った。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
件数	11	4	5	11
補助金額(千円)	205	96	72	110

【成果】 経営改善に取り組む事業者の負担を軽減し、間接的に中小企業の発展の一助になった。

③中小企業支援事業 343千円

町内企業PRによる人材確保、ビジネスマッチングを目的として、町内企業46社の紹介をメインに、移住希望者向け支援策なども盛り込んだ『北栄町企業ガイドブック』を500部作成した。

【成果】 町内小中学校や中部地区各高校、ハローワークに配架するとともに、新成人や移住希望者などに配布して、就職につながるよう地元企業を紹介できた。



北栄町企業ガイドブック

④企業立地及び雇用促進事業 1,932千円

町内に工場・事業所の新設や増設を行った事業者に対して、取得した資産に対する固定資産税相当額の奨励金と雇用促進の奨励金を支給した。

(金額単位：千円)

奨励金名	項目	R4年度		R5年度		R6年度		内容
		新規	継続	新規	継続	新規	継続	
企業立地等促進奨励金	件数	4	10	2	10	1	5	固定資産税相当額を3ヶ年助成
	金額	9,340		5,040		1,332		
雇用促進奨励金	件数	1		1		1		新規雇用に対し、30万円/人を支給
	金額	300		300		600		

【成果】 企業が実施する設備投資に対し奨励金を交付することで、企業の発展につながり、地域経済の活性化の一助となった。

⑤就労・創業支援事業 17,021千円

町内で新たに創業した事業者及び個人に対し補助金を支給した。

(金額単位：千円)

補助金名		R4年度	R5年度	R6年度	R6年度支援業種内訳
北栄町創業支援事業補助金	件数	3	5	5	飲食業(1件)、小売業(1件)、宿泊業(1件)、サービス業(2件)
	金額	3,182	5,678	5,376	
由良宿まちづくり活性化支援事業補助金	件数	2	2	6	飲食業(4件)、小売業(1件)、宿泊業(1件)
	金額	4,253	2,719	11,645	

*由良宿地域において、対象業種を飲食業・小売業・宿泊業に業種を絞り、にぎわい・経済循環を生み出し観光地としての魅力を高めることを目的とする。

【成果】 創業・事業開始時の初期投資に係る負担軽減を図ることで、町内産業の振興に繋がった。

⑥就労・創業支援事業（繰越事業） 2,300千円

町内で新たに創業した事業者及び個人に対し補助金を支給した。

由良宿まちづくり活性化支援事業補助金 1件、2,300千円（サービス業）

【成果】 創業時の初期投資に係る負担軽減を図ることで、町内産業の振興に繋がった。

⑦砂丘地振興基金積立金事業 49千円

砂丘地振興基金の定期預金利子を基金に組み入れた。

(千円)

年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
基金残高	56,606	47,534	28,993	0

※基金から道の駅ほうじょう再整備に係る造成工事、舗装工事、建築工事等の財源29,042千円を取り崩したことによる残高の減額。

【成果】 基金残高は、全て道の駅ほうじょう再整備事業に充当し、基金の趣旨である砂丘地振興を図った。

⑧道の駅ほうじょう再整備事業 227,250千円 ※風のまちづくり活用事業

建築外構工事、太陽光発電設備設置工事、EV急速充電器設置工事等を完了させた。また、町の特産物であるぶどうのオブジェを制作設置した。



道の駅ほうじょう完成見学会

【成果】 各種工事を進め、令和7年4月25日のリニューアルオープンに向け順調に進捗させることができた。駅舎完成時には、先着100名を対象に完成見学会を開催し、オープンへの期待感を高めることができた。

⑨道の駅ほうじょう再整備事業（繰越） 820,889千円

実施設計に基づき、造成工事、舗装工事、建築工事を完了させた。



道の駅ほうじょう駅舎外観

⑩新型コロナ対策利子補助事業 21,564千円

新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
件数(事業者)	58(43)	79(60)	240(175)	251(187)
補助金額(千円)	13,149	15,314	18,726	21,564

【成果】 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた中小事業者の事業継続を支援できた。

⑪町内消費拡大支援事業 4,502千円

商工振興とまちづくりへの参加促進を図り、北栄町商工会が実施する「キャッシュレス決済・地域ポイントカード事業(ほくほくカード)」を後押しするため、子育て応援事業や移住支援によるポイント付与のほか、講演会等に参加した町民に対しポイントを付与した。

【成果】 440万5千ポイントの公共ポイントを町民へ付与し、まちづくりの賛同者を増やすとともに、町内での消費拡大につながった。



ほくほくカード

⑫地域経済変動対策資金利子補助事業 4,240千円

燃油価格及び原材料価格の高騰等により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。

燃油及び原材料価格高騰資金利子補助 1,142千円
 エネルギー・原材料価格高騰資金利子補助 2,588千円
 為替相場急変対策資金利子補助 509千円

(財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 2,272千円

		R4年度	R5年度	R6年度
燃油及び原材料価格高騰	件数	7	13	13
	補助金額(千円)	510	1,247	1,142
エネルギー・原材料価格高騰	件数		9	18
	補助金額(千円)		746	2,588
為替相場急変対策	件数			7
	補助金額(千円)			509

【成果】 中小事業者の事業継続を支援した。

⑬複業人材活用支援事業 1,428千円

人手や知見を求める町内事業者と複業を求める都市部人材(以下「複業人材」という。)とのマッチングを通じて、複業人材から技能等の提供を受けて経営課題解決や事業進展を図った。

- ・ 複業人材活用コーディネート業務 1,056千円
- ・ はじめての複業活用支援補助金 223千円

	R5年度	R6年度
件数	1	3
補助金額(千円)	59	223

【成果】 複業人材の知見を活用することで事業者の課題解決に繋がったとともに、イベント開催により北栄町の取り組みを広めることができた。



複業人材活用の取り組み発信イベント(東京開催)

⑭道の駅商品開発等支援事業 653千円

町内道の駅での販売を目的とした商品開発または既存の商品の改良を行う事業者及び個人に対し補助金を支給した。

- ・商品開発1件 300千円
- ・商品改良3件 353千円

【成果】 道の駅での商品販売を目的とした商品開発、改良を促すことにより、町内の産業の活性化に繋がった。

⑮まちの新たな賑わい創出支援事業 578千円

今後、町の新たな賑わいが見込まれることから、飲食店や宿泊施設等の事業者の町内進出につなげるためのPR媒体として、「企業進出のご案内」パンフレットを1,000部作成した。

【成果】 鳥取県東京本部、関西本部、名古屋代表部に配架していただいたほか、事業者の集まる県外イベント等でも配布を行い、町の今後の賑わいや事業者支援の内容をPRすることができた。



「企業進出のご案内」パンフレット

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 お台場公園サービスエリア費	7,128千円	6,566千円

①お台場公園サービスエリア管理事業 6,566千円

お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を行った。

- ・トイレ清掃委託料 2,529千円
- ・空調設備改修工事請負費 1,870千円
- ・トイレトペーパー等消耗品購入費 1,241千円
- ・修繕費(建物・設備) 481千円

年間利用状況(利用者数) (単位:人)

区 分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
レストラン・売店	18,902	23,201	53,579	57,931
農産物直売所	230,004	240,927	248,830	258,042
計	248,906	264,128	302,409	315,973



道の駅大栄駅舎外観

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	162,345千円	157,271千円

- ①北栄砂丘まつり交付金事業 6,171千円 ※風のまちづくり事業充当 2,000千円
 ・第17回北栄砂丘まつり ※ふるさと北栄基金充当 4,171千円

期 日 令和6年8月25日(日)
 会 場 お台場公園多目的広場

【成果】 町民参画によるまつりを支援したことで、町民同士のつながりを強め、さらに町民のまちづくりへの関心を高めることができた。



北栄砂丘まつり

- ②国内外の交流推進事業 4,591千円

【成果】 友好交流協定を締結している台湾台中市大肚区及び滋賀県湖南市と交流を深めた。台湾台中市大肚区との交流では、町内の中学生などで構成する青少年訪問団37名が5年ぶりに大肚区を訪問し、大道国民中学校の生徒との授業交流やホームステイを2泊するなど、青少年同士の交流を深めることができた。滋賀県湖南市との交流では、相互の夏まつり等への出店などを通じて相互交流を深めることができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	16 移住推進費	74,204千円	61,753千円

- ①北栄暮らし支援事業 28,840千円

- ・移住者住宅取得支援補助金 11,497千円(県1/2)※県外転入者の場合
- ・定住者住宅取得補助金 9,849千円
- ・空き家利活用流通促進事業補助金 1,423千円(県1/2)
- ・家財道具等処分補助金 300千円
- ・移住支援員の配置 2,716千円(県1/2)

【実績】

事業名	R4年度	R5年度	R6年度
移住相談会	6回※1回現地参加	7回※3回現地参加	6回※6回現地参加
移住者住宅取得支援補助金 (移住奨励金と若年層移住定住者住宅取得支援補助金を合わせた補助金)	-	69人/23件	34人/13件
若年層移住定住者住宅取得支援補助金	21件	-	-
IJUターン空き家改修支援事業補助金	0件	1件	2件
家財道具等処分費補助金	0件	4件	2件
定住支援住宅取得補助金	25件	15件	33件
空き家利活用流通促進事業補助金	0件	8件	2件
移住支援員配置	1人	1人	1人

北栄町への移住・定住を推進するため、窓口での移住相談、移住フェア相談会への参加、パンフレットの更新、配布等を行い北栄町を広くPRした。

【成果】 PRを行ったことで移住希望者の移住選択肢の一つとして北栄町を提示するきっかけになった。

また、移住者や若年層、町内者の住宅取得に対する補助を行うことで、町内に住み続けたいと思う動機付けができた。

②おためし住宅事業 235千円

・おためし住宅 消耗品費・光熱水費・委託費・通信費・修繕費 235千円

【実績】	R4年度	R5年度	R6年度
人数/利用件数	-人/-組	19人/8組	9人/5組

県外の移住相談等でおためし住宅のPRを行い、利用促進を図った。
4月から115日間稼働した。（不意のキャンセル2組を除く）

【成果】 おためし住宅に滞在していただき、北栄町の生活環境、雰囲気等を体験していただくことで、移住に向けた就職活動の拠点、北栄町での暮らし体験、北栄町を知るきっかけとなった。

③若者等交流推進事業 243千円

県外者（都市部の学生等）と北栄町をお手伝いを通じてつなぐ「おてつたび」を活用し、地域体験を通じ新たなつながりを創出した。

- ・受入事業所 (株)大栄共同開発、(株)エナテクスサービス、(株)北条ワイン醸造所
- 受入人数 7人（東京都、神奈川県、栃木県等）
- 受入日数 49日
- 作業内容 大栄西瓜の販売補助、ドクダミの生育管理、ブドウの生育管理

【成果】 作業内容に関心のある県外の若者等が、作業を通じて本町の農業・観光資源や人柄に触れることにより新たなつながりを創出した。また、事業所の人手不足の解消や従業員への刺激、SNSによる継続した繋がりが創出された。

④ほくえい魅力発見！事業 197千円

町の魅力を再発見し、北栄町に将来IJUターンしたい・住み続けたいと思ってもらう機会の創出を目的とし、ほくえいフォトコンテストを行った。

- ・ほくえいフォトコンテスト2024
- フォトコンテスト 応募109作品 受賞6作品

【成果】 インスタグラム等のSNSを活用したフォトコンテストを開催し、幅広い世代に北栄町の魅力を再発見してもらう機会を創出できた。

⑤二地域居住等促進事業 29千円

二地域居住等促進について関係者の理解を深めるものとして、国の制度担当者や総務省アドバイザーなどを講師に迎え、県と共催でセミナーを開催した。

北栄町二地域居住等促進協議会設立準備会を開催し、計画例や今後のスケジュールなどについて関係機関と意見交換を行った。

【成果】 セミナーや準備委員会を開催し、北栄町での二地域居住等促進について理解を深めることができた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	1 商工振興費	1,454,482千円	1,213,035千円

①ほくえい味覚体験促進事業 153千円

三朝温泉の観光情報冊子「MisasaNavi」及びスマートフォンなどで閲覧できるデジタルマップ「ここいこmap」に北栄町内の観光農園の情報を掲載した。観光農園パンフレットを2,300部作成した。

【成果】 町内外からの観光客の誘客を促し、本町の農産物の魅力にふれていただくきっかけとなった。



ここいこmap

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 観光費	415,518千円	168,844千円

①観光振興事業 22,178千円

- ・各種手数料（遊具点検等） 362千円
- ・各種業務委託 5,022千円
（観光パンフ作成保管配布、観光施設草刈り、鳥取空港観光案内等）
- ・観光施設等修繕工事 9,870千円
- ・土地購入費 1,060千円
- ・関係団体等負担金 1,066千円
（鳥取中部観光推進機構、鳥取県観光連盟、道の駅連絡会等）

【成果】 施設整備の充実の他、観光案内や情報発信による誘客宣伝により、ハード、ソフト両面での集客対策に努めたことで、町内の観光入込客数はコロナ前を超えるまで回復できた。

②観光施設指定管理者委託事業 17,604千円

- ・観光施設指定管理委託料 16,873千円
 - <内訳> 北条海浜広場 } 5,108千円
 - 蜘蛛ヶ家山山菜の里 } 5,815千円
 - お台場公園 } 5,950千円
 - レークサイド大栄 } 5,950千円
- ・土地賃借料（北条海浜広場、レークサイド大栄案内誘導看板） 695千円

年間利用状況（利用者数）

区 分		R4年度		R5年度		R6年度	
オートキャンプ場		9,433人		9,736人		9,650人	
お台場公園		44,219人		59,831人		61,576人	
レークサイド大栄		42,465人		40,167人		37,616人	
主催グラウンドゴルフ大会	一般	53回	9,090人	53回	9,501人	33回	5,644人
	会員	5回	674人	8回	815人	8回	734人

【成果】 指定管理者によるサービスの向上と運営の効率化を進め、施設の適切な整備を行ったことで、利用者の利便性向上を図れた。

③コナンのまちづくり事業 17,070千円

- ・観光PRチラシ（石製モニュメント、ゆらまちウォーク等）の制作 168千円
- ・観光案内看板、歴史看板張替修繕 655千円
- ・名探偵コナン巨大迷路の開催（委託先：北栄町観光協会） 7,845千円
（R6累計入場者数32,369人、R6入場料収入9,295千円（町収入分））
- ・名探偵コナン巨大迷路解体工事 1,298千円
- ・「まんが王国とっとり」協働推進補助金（交付団体：2団体） 2,691千円

【成果】 集客催事として巨大迷路を開催し、コナン通りの受け入れ環境を整備することで、「名探偵コナンに会えるまち」を内外に発信し続け、町内への周遊を促進し賑わいを創出することができた。

④「まんが王国とっとり」協働推進事業 15,622千円

- ・【繰越事業】コナン駅舎装飾施工工事 2,721千円
- ・カラーオブジェ制作設置工事 9,933千円

【成果】 コナン駅舎の装飾を刷新し、コナン通りに蘭&園子キャラクターオブジェを新たに設置したことで、エリアごとの新たな魅力創出となり、ファンや観光客、住民の方の関心を高めることができた。



蘭&園子キャラクターオブジェ

⑤青山剛昌ふるさと館再整備事業 96,371千円

- ・【R5⇒R6繰越事業】青山剛昌ふるさと館展示計画策定業務 29,997千円
- ・【R5⇒R6繰越事業】青山剛昌ふるさと館建築基本設計業務 42,900千円
- ・【R6⇒R7繰越事業】青山剛昌ふるさと館建築・外構実施設計業務 9,515千円
- ・地質調査業務 9,371千円
- ・新しい地方経済・生活環境創生交付金に係る申請支援業務 3,300千円
- ・ふるさと館再整備に係るアドバイザー料 1,200千円
- ・UDアドバイザー会議 57千円
- ・ふるさと館再整備検討会 26千円
- ・新青山剛昌ふるさと館テナント審査会 5千円

【成果】 展示計画及び建築基本設計が完了したことにより、次段階の設計業務に移行できた。また、交付金に係る申請支援業務により国交付金が希望どおり採択され、再整備に必要な財源を確保することができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 環境衛生費	13,707千円	11,287千円
①合併処理浄化槽整備事業 957千円					
		年度	R4年度	R5年度	R6年度
		事業費	1,265千円	0円	957千円
<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽推進協議会会費、浄化槽台帳システム共同整備負担金 29千円 ・合併処理浄化槽設置費補助金 2基 928千円 					
【成果】 浄化槽設置費を補助することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることができた。					
款	4 衛生費	項	3 上水道費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 上水道施設費	300千円	300千円
①上水道事業会計繰出金事業 300千円					
		年度	R4年度	R5年度	R6年度
		繰出金	336千円	338千円	300千円
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 農業総務費	89,227千円	86,393千円
①農業集落排水特別会計繰出金事業 8,791千円					
		年度	R4年度	R5年度	R6年度
		繰出金	9,437千円	7,710千円	8,791千円
款	7 土木費	項	1 土木管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 土木総務費	75,356千円	72,937千円
①土木総務事業 642千円					
		年度	R4年度	R5年度	R6年度
		事業費	2,022千円	823千円	642千円
<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品購入 303千円 図書（災害手帳、積算単価ほか）、ファイル等 ・車両（軽ダンプほか）等燃料ほか 202千円 ・公用車車検、点検 88千円 ・公用車車検（自賠償保険） 18千円 ・公用車車検（重量税） 33千円 					

②土木総務関係負担金事業 565千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費	295千円	331千円	565千円

- ・職員研修受講料 10千円
- ・道路建設関係団体負担金（分担金） 555千円
鳥取県道路利用者会議、道路整備期成同盟会、国道313号整備促進期成同盟会、中国国道協会、国道9号整備・山陰自動車道建設促進鳥取県期成会、日本道路協会一般国道9号（「北条道路」）整備促進期成会

③震災に強いまちづくり促進事業 7,953千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費	1,989千円	14,436千円	7,953千円

- ・木造住宅耐震診断業務委託料（建築士協会） 1,862千円
- ・震災に強いまちづくり促進事業補助金 6,091千円
（内訳）
無料診断17戸、有料診断8戸
ブロック塀改修・撤去1件
耐震改修補助（建替） 2戸
耐震改修補助（除却） 2戸



筋交い新設

【成果】 説明会やチラシの全戸配布により町民に耐震化について関心をもっていただくとともに、倒壊の可能性があるブロック塀や住宅を除却することで危険を回避できた。耐震化工事により、震災に強く安全なまちづくりに寄与することができた。



金物取付

④法定外公共物事業 1,102千円

④-2 【繰越】 804千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費	4,501千円	3,700千円	1,906千円

- ・水路拡幅工事【みどり1区】 258千円
- ・水路壁等修繕工事【由良宿1区】 532千円
- ・舗装修繕等工事 126千円
- ・擁壁修繕工事 186千円
- ・コンクリート充填工事【繰越】 440千円
- ・暗渠排水土砂撤去工事【繰越】 66千円
- ・水路拡張工事【繰越】 298千円



着工前



完成

【成果】 法定外公共物等の維持管理を行い、受益者の安全・安心の確保に寄与した。

水路壁修繕(由良宿1区地区)

⑤緊急自然災害防止対策事業（法定外公共物） 5,311千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費	—	—	5,311千円

・測量設計業務委託【宮尻川】 5,311千円

【成果】 河川の増水に伴い河岸浸食が著しい普通河川宮尻川の整備を実施するための測量設計を行い、次年度工事实施のための方針を決定することができた。



宮尻川現地状況

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 道路維持管理費	192,011千円	150,433千円

①道路維持管理事業 56,506千円
①-2 【繰越】 11,793千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費	86,273千円	83,389千円	68,299千円

- ・除雪関連費用①-1（町道） 3,597千円（*社交金充当外分）
冬期除雪 2/4-9, 2/19-20実施分
 - ・除雪関連費用②（消雪装置維持管理ほか）6,360千円
電気料金、巡視点検整備、凍結防止剤購入
 - ・除雪関連費用③（システム保守ほか） 3,263千円
GPS除雪管理、積雪監視
 - ・除雪関連費用④ 838千円
除雪機械運転手育成支援事業補助金
 - ・ステッカー、カラーコーンほか 120千円
 - ・町道除草伐木委託料 7,878千円
【繰越分】 515千円
 - ・道路台帳システム保守 132千円
 - ・道路補修設計 2,640千円
 - ・土木積算システム 680千円
 - ・維持修繕関係費（道路補修原材料購入含む）26,997千円
【繰越分】 11,278千円
- 現年分 14件、繰越分 6件
主な工事内容：舗装陥没修繕、側溝蓋修繕、路肩修繕、安全施設修繕、路面清掃 等
- ・大栄ICアクセス道路関連駐車場舗装工事 4,001千円

伐採前



伐採後



町道育英南線（由良宿地区）

【成果】 町管理道路の維持修繕等を行い、利用者に安全で快適な走行環境を提供した。

②道路メンテナンス事業 11,486千円

②-2 【繰越】 649千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費	52,104千円	70,207千円	12,134千円

- ・道路橋定期点検委託 18橋 6,490千円
- ・橋梁修繕工事 2橋 4,996千円
- ・橋梁修繕工事 2橋【繰越分】 649千円

【成果】 橋梁の老朽化対策として2橋の修繕工事を行い、施設の長寿命化を促進した。



駅南歩道橋橋梁修繕工事

③緊急自然災害防止対策事業 70,000千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費	71,676千円	70,500千円	70,000千円

- ・舗装修繕関係費 70,000千円
- 舗装長寿命化工事 4件（3路線）



町道大野西新田場線
（西新田場地区）

【成果】 必要に応じて町道等の維持管理を行うことにより、安全な交通を確保した。

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 道路新設改良費	299,073千円	248,261千円

①社会資本整備総合交付金事業 97,955千円

①-2 【繰越】 93,579千円

社会資本整備総合交付金は、これまでの国土交通省所管の地方公共団体向けの個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫が活かせる総合的な交付金制度として創設されました。道路、港湾、治水、下水道、海岸、都市公園、市街地整備、住宅及び住環境整備等といった政策目的を実現するため、地方公共団体が作成した社会資本整備総合計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を国が総合的・一体的に支援する制度です。

年度	R4年度	R5年度	R6年度
交付金事業費	184,948千円	128,591千円	191,534千円

- ・除雪関連費用①-2 (町道) 888千円 (*道路維持管理費除外分)
- ・測量設計業務委託 22,231千円
町道7路線 (高千穂西穂波線、田井2号線外、米里12号線外、島4号線外、育英東線、育英西線、米里曲線)
- ・道路改良工事 74,246千円
町道5路線 (米里19号線外、育英東線、島4号線、田井2号線、米里12号線)
【繰越分】 83,866千円
町道4路線 (米里19号線外、育英東線、島4号線、田井2号線)
- ・用地取得、用地補償 (物件移転) 590千円
町道2路線 (島4号線、米里12号線外)
【繰越分】 9,713千円
町道1路線 (田井2号線外)



町道田井2号線外道路改良工事

【成果】 道の駅再整備に伴い、道路拡幅工事を実施したことにより、道の駅利用者の安全で快適な走行環境を提供した。

②通学路安全対策事業 23,758千円
②-2 【繰越】 32,969千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
補助事業費	9,041千円	69,826千円	56,727千円

- ・測量設計業務委託 6,216千円
町道3路線 (松神國坂線 (田井工区)、東園村中道線外、高江道線)
- ・通学路整備工事 17,542千円
町道2路線 (東園村中道線外、高江道線)
【繰越分】 32,969千円
町道2路線 (東園村中道線外)

【成果】 通学路において路側帯を確保するための側溝改良や冠水対策のための道路嵩上げ等を行い、学生の安全で快適な通学環境を提供した。



町道東園村中道線側溝改良工事

款	7 土木費	項	3 河川総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 河川総務費		
				2,410千円	2,277千円

①河川総務事業 669千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
受託事業費	336千円	390千円	669千円

- ・天神川樋門操作 (国から受託事業：江北排水樋門外1門) 582千円
- ・由良川樋門操作 (県から受託事業：瀬戸排水樋門外1門) 88千円

【成果】 大雨時に河川からの逆流防止を図り、堤内地の浸水被害を防止した。

②河川関係負担金事業 212千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
負担金事業費	212千円	707千円	212千円

- ・由良川水系河川改修事業促進期成同盟会負担金 80千円
- ・天神川改修促進期成同盟会負担金 32千円
- ・弓原浜対策活動費負担金 100千円

③浜川水路橋維持管理事業 1,395千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
維持管理費	676千円	588千円	1,395千円

- ・弓原地区浜川の北条川放水路横断水路橋維持管理事業 1,395千円
操作業務委託、電気料金、修繕費、需用費等

款	7 土木費	項	5 都市計画費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 下水道費		

①下水道事業会計繰出金事業 819,797千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
繰出金	881,274千円	850,715千円	819,797千円

款	11 災害復旧費	項	1 土木施設災害復旧費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 道路橋梁災害復旧費		

①道路橋梁復旧事業（補助）【繰越】 1,894千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費	43,561千円	1,280千円	1,894千円

- ・町道災害復旧工事（2路線） 1,894千円
六尾南・西穂波線、東高尾上坂線



六尾南・西穂波線(完成)



東高尾上坂線(完成)

②道路橋梁復旧事業（単独） 1,441千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費	6,423千円	8,399千円	1,441千円

- ・道路復旧工事 1,441千円
東高尾上坂線 舗装修繕工事
西高尾高千穂線外 舗装修繕工事

【成果】 令和5年台風第7号により被災した町道施設等の災害復旧工事を実施し、早期復旧に努めた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 重層的支援体制整備事業費	40,793千円	36,952千円

①地域子育て支援拠点事業 347千円

子育て支援センター「すまいる」

「すまいる」=「す」てきで「ま」んぞくのいく「い」ごごちのいい「る」ーむ
(数値は延数)

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
年間利用世帯数	3,090	2,296	2,091

【成果】 子育て講話など保護者のための講座だけでなく親子でできるリフレッシュなど幅広く講座を企画したことで、継続的な利用につながり、子育て家庭の交流や保護者のリフレッシュを図ることができた。

②利用者支援事業 3,860千円

妊産婦・乳幼児等の実情把握や、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ必要な情報提供・助言・保健指導・関係機関との連絡調整を行った。またアプリを活用し、様々な事業の情報配信を行った。

・利用者数 277人

【成果】 妊産婦・乳幼児の保護者からの相談を受け止め、抱える課題の解決にむけての支援を行い、出産、産後の育児に対する心身の負担軽減につなげた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 児童福祉総務費	282,526千円	278,337千円

①子育て総務事業 186,897千円 ※風のまちづくり活用事業

町内私立こども園、私立保育所及び町外保育施設に委託し、保育を実施した。

・北条みどりこども園

園児数(町外からの広域入所は含まず) (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R4	人数	6	6	8	14	15	12	61
R5	人数	9	14	6	9	13	16	67
R6	人数	9	8	14	5	10	13	59

・栄保育所

園児数(町外からの広域入所は含まず) (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R4	人数	6	1	2	0	0	0	9
R5	人数	3	9	2	0	0	0	14
R6	人数	3	4	7	0	0	0	14

・広域保育施設

園児数 (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R4	人数	8	13	13	9	12	10	65
R5	人数	7	7	11	8	13	10	56
R6	人数	2	9	6	12	8	13	50

【成果】 保護者の仕事と育児が両立を図った。

②子育て支援短期利用事業 524 千円

保護者の就労その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行った。

・ショートステイ事業

年度	延べ人数
R4	2
R5	3
R6	9

・トワイライトステイ事業

年度	延べ人数
R4	12
R5	93
R6	153

【成果】 養育の場を提供したことで、保護者の就労等のサポートができた。

③在宅育児支援事業 9,350 千円

乳幼児をこども園などに預けずに家庭で保育する保護者に給付金を支給した。

・支給件数 延べ 116件

【成果】 家庭で保育する保護者へ経済的な支援を行うことができた。

④ネウボラ事業 285 千円

専任のコーディネーター（保健師）が母子健康手帳の交付から継続的に関わり、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行った。

・母子健康手帳交付件数 90件

【成果】 個々のケースを把握し、ハイリスク妊婦（世帯）については、関係課や医療機関と情報共有しながら必要な支援を行い、虐待やDVの未然防止につなげた。

⑤産前産後サポート事業 38 千円

産前産後の体調不良のため、家事などを行うことが困難な場合にヘルパーを紹介した。

・登録件数 1件、利用件数 1件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、安心して出産を迎え子育てができる環境を整えた。

⑥産後ケア事業 211 千円

出産後に、育児不安が強い方やご家族等から産後の援助が得られない場合に、医療機関等で心身のケアや育児のサポートを行った。

・宿泊型 延べ 6件

・デイサービス型 母子利用 延べ 7件

・アウトリーチ型 延べ 4件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、母子が安心して過ごせる環境を整えとともに産後うつや虐待の未然防止につなげた。

⑦パパママ教室 63 千円

妊娠・出産・育児に関する不安軽減、子育て中の孤立防止、育児技術の習得に向けて、妊婦とその家族に対して知識の普及と地域での相談場所・仲間づくりを行った。

・参加者 延べ 29人（妊婦 20人、夫 9人）

【成果】 夫等家族の参加もあり、妊婦への理解や産後の孤立予防につながった。

⑧親育ち事業 60千円

虐待の未然予防につなげるため、子育ての不安軽減や養育能力の向上を図るための「笑育講座」や「生きるための心の教育」に取り組んだ。

- 【成果】 保護者が子どもに対して「ほめる、共感する、待つ」など肯定的な関わりを学び、虐待の未然予防につなげることができた。
 将来、安心と喜びを感じる妊娠・出産を迎えるため、生きるための心の教育の取組を町内小中学校と共同で実施し、意識向上を図ることができた。

⑨施設等利用給付事業 1,332千円

無償化の対象である3歳以上の子どもに対し、認可外保育施設の入所等について一定の範囲で施設へ給付した。

- ・利用件数 3件

- 【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

⑩こども園ICT化事業 2,169千円

ICTツール（コドモンサービス）を活用し、園児の登降園管理や、連絡ノート、保護者へのお知らせの一斉配信、クラスだより等のデータ配信を行った。

- 【成果】 保護者の利便性が向上したほか、お知らせの一斉配信機能により早期の情報共有が可能となった。紙媒体の配布物削減につながった。

⑪出産・子育て応援交付金事業 8,457千円

国事業に基づき、妊産婦を対象に妊娠時及び出産後の面談を行うとともに、それぞれ5万円を給付した。

- ・交付金支給件数 169件

- 【成果】 面談や相談受付により、妊婦・子育て家庭の孤立感や不安感の解消を図ることができた。また、出産・子育てにかかる経済的負担軽減につながった。

⑫小・中学校入学祝金事業 5,290千円

小、中学校等に1年生として入学する児童の保護者を対象に、入学祝い金を支給した。

- ・給付件数 小学校及び小学部 112件 中学校及び中学部 139件

- 【成果】 就学費用の負担軽減及び子育て支援につながった。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 認定こども園管理運営費	699,578千円	682,708千円

①町立こども園管理運営事業 89,693千円

- ・北条こども園管理運営事業 38,885千円
- ・大誠こども園管理運営事業 24,281千円
- ・由良こども園管理運営事業 20,426千円
- ・大谷こども園管理運営事業 6,101千円



保護者のスマホに届く子どもたちの様子

園児数 (3月末現在)

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	広域入所	合計
R4	30	61	72	77	84	88	412	9	421
R5	24	72	71	85	82	85	419	4	423
R6	13	56	84	84	84	81	402	4	406
北条こども園	3	22	38	40	28	35	166	2	168
大誠こども園	6	20	23	20	29	26	124	0	124
由良こども園	3	13	19	21	27	20	103	2	105
大谷こども園	1	1	4	3	0	0	9	0	9

保育料徴収の状況 (単位：千円・%)

年度	R4年度			R5年度			R6年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	18,528	18,528	100.0	24,633	24,633	100.0	20,055	20,055	100.0
滞納繰越分	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
計	18,528	18,528	100.0	24,633	24,633	100.0	20,055	20,055	100.0

※各こども園には、北栄町外からの広域入所分を含む。

- 【成果】 国基準を上回る北栄町の基準による適正な職員配置に努め、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えることができた。また、園内研修の充実を図るとともに、各種研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。
施設の定期的な点検を行い、必要に応じて補修や工事を実施し、安全な施設環境を整えることができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 放課後児童健全育成費	278,254千円	47,155千円

①放課後児童クラブ委託事業 26,760千円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対し、放課後の安全な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。(令和元年7月から民間事業者へ委託して実施。)

登録児童数等 北条なかよし学級 定員：100人 大栄こども学級 定員：80人

年 度	児童数 (3月)							月平均 登録数	最大登録		年日数 (日)	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		月	人数		
北条	R4	38	33	24	11	8	0	114	121.4	7月	135	291
	R5	34	34	25	14	8	3	118	125.7	7月	141	314
	R6	37	28	25	13	9	6	118	133.7	8月	155	292
大栄	R4	20	22	12	2	4	0	60	75.1	7,8月	89	295
	R5	28	14	14	6	1	0	63	75.3	7,8月	92	314
	R6	29	26	12	10	4	1	82	85.6	8月	99	292

- 【成果】 放課後や夏休みなどの長期休業中など、児童が適切に生活したり遊べる場を提供することで、保護者が安心して働ける環境を整備できた。

②大栄こども学級等集会施設整備事業 20,395千円

中央公民館大栄分館で行っている、放課後児童クラブ(大栄こども学級)を勤労者体育センター跡地に新築するための地質調査及び実施設計を行った。

- 【成果】 次年度の工事実施に向けて発注準備を整えることができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 母子父子福祉費	29,040千円	28,144千円

①ひとり親家庭等学習支援事業 2,350千円

ひとり親世帯・生活困窮世帯等の小学生（3～6年生）及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業を実施した。（県補助金交付要綱の改正により、令和6年度から、生活困窮分とひとり親分を按分せず、ひとり親家庭等学習支援事業から一括して歳出した）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
小学生登録者数	6人	10人	11人
小学生延利用者数	166人	189人	198人
中学生登録者数	12人	16人	14人
中学生延利用者数	536人	684人	676人

【成果】 学習支援を行ったことにより、学習習慣の定着と学力向上を図ることができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 地域子育て支援費	1,055千円	943千円

①ファミリー・サポート・センター事業 40千円

地域や援助の時間帯、援助内容などを考慮し、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と援助ができる人（提供会員）の調整を行った。

会員数（3月末）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
活動件数	19	32	40
提供会員	12	17	18
依頼会員	19	40	48
会員合計	31	57	66

【成果】 子育て世代のサポートができた。

②乳幼児健康支援一時預かり事業 812千円

子どもが病気にかかりこども園等に登園することができず、保護者が仕事などを休むことができない場合に、病院等の専用スペースで一時預かり保育を倉吉市及び湯梨浜町に委託し行った。

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
病児保育事業	43	66	57
病後児保育事業	9	5	0

※年間利用児童数（延人数）

【成果】 病気の子どもを安心して預ける場所を提供することで、保護者の就労等のサポートができた。

③休日保育事業 91千円

日曜・祝日等に保護者の勤務などで保育ができない場合の対応として、休日保育を倉吉市に委託し行った。

・利用件数 1件

【成果】 保護者の就労等のサポートができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 教育委員会費	2,021千円	2,003千円

①教育委員会事業 2,003千円 (教育関係負担金含む)

毎月1回の教育委員会の定例会を開催したほか、必要により臨時会を開催した。総合教育会議、各種研修会等への出席やこども園、小学校、中学校への計画訪問、諸行事に参加した。

- ・教育委員会 定例会12回、臨時会2回
- ・教育委員会視察 11月28日
視察先：岡山県浅口市 鴨方西小学校学校運営協議会
- ・総合教育会議 6月26日、12月24日
意見交換のテーマ
コミュニティスクールの現状と今後について／不登校の現状と対応について など
- ・計画訪問（こども園、小・中学校） 前期：5月～6月、後期：10月～11月
- ・議会総務教育常任委員会との意見交換会 4月30日、1月28日
- ・負担金 郡教委連絡協議会負担金、県市町村教委研究協議会負担金

【成果】 教育委員会においては、法令等に定める議決事項等の審議決定に加え、教育行政における懸案事項等について協議を行い、教育行政の振興を図った。
計画訪問を行い、教育活動の現状や学校経営上の成果と課題を把握した。また、学校経営について意見交換を行い、今後の教育推進方策について学校と教育委員会での共通の理解を図った。
教育委員会視察では、コミュニティ・スクールの取り組みについて地域と学校との連携・協働の事例を視察し、本町の学校運営協議会の取り組みの参考とすることができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 事務局費	589,607千円	582,049千円

①事務局事業 18,263千円

就学前教育に係る指導助言、就学相談や指導助言等を行うため、指導主事を4人配置した。

音田教育振興基金から、向学心旺盛ながら経済的な問題がある等の困難な中学生に高等学校入学準備費給付金を支給した。

音田教育振興基金給付状況

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
給付金支給者	7人	8人	3人
給付金合計額	70万円	80万円	30万円

②事務局関係負担金事業 10,258千円

学校災害共済掛金負担金	1,073千円
少人数学級実施協力金	6,000千円
中部子ども支援センター負担金	1,760千円
学校業務支援システム負担金	1,311千円 ほか

③教育力向上事業 5,900 千円

大学教授等を講師に迎え授業研究を行い、児童・生徒の学力向上に向けた取組を行った。

- ・サマースクール（7月末～8月上旬6日間、各地区）
- ・イングリッシュスクール（7月末～8月初6日間、1月末～2月初8日間、各中学校）
- ・学力等調査の実施（ハイパーQU、知能検査、学力検査、診断テスト）
- ・地域で子どもを育てる体験活動支援（土下自治会ほか 合計7団体）
- ・英語検定受験料助成 4級13人、3級7人、準2級9人

【成果】 サマースクールを実施し夏季休業中の家庭学習において習慣化と学力補充を図ることができた。地域で子どもを育てる体験活動支援事業などにより、夏休み等の学習習慣定着につなげたほか、授業研究会に大学教授や准教授を招聘して、指導方法や教材研究について学び、実践に活かした。
学力調査等を実施し、分析した上で対応策をまとめ、充実した指導・支援につなげた。

④ふるさと鳥取見学（県学）支援事業 647 千円

県の補助金（補助率1/2）を活用し、社会科見学を行った。

北条小学校4年生：サントリー奥大山ブナの森工場ほか

大栄小学校5年生：日本海テレビほか 大栄小学校6年生：むきばんだ史跡公園ほか

【成果】 県内の素晴らしい自然環境や文化財等を見学する機会をつくり、鳥取県についての理解・関心を深め、ふるさとを愛する心の育成につながった。

⑤発達支援体制整備事業 596 千円

障がいのある又は発達に支援を必要とする乳幼児、児童、生徒に対し、自立と社会参加に向けた適切な支援を行う体制を構築。福祉課・健康推進課・教育総務課で連携した事業を行った。

特別支援教育アドバイザーを配置し、こども園、小中学校において発達支援に関する指導助言を行った。園（町外含）23回、小中学校 24回

【成果】 福祉課・健康推進課・教育総務課で情報共有しながら対応したことで、それぞれの時期に必要な支援をスムーズに行うことができた。こども園・小中学校で支援に必要な児童生徒への関わり方について指導助言を行ったことで、児童生徒の課題を改善・軽減することにつながられた。

⑥学校支援地域事業 6,323 千円

不登校、いじめや問題行動等に対し、児童生徒が置かれた環境への働きかけや関係機関との連携により問題解決を図るため、スクールソーシャルワーカーを2名配置した。

児童生徒の個々の状況に応じた居場所づくりのため、令和6年度は大栄中学校に校内教育支援センターを設置した。

【成果】 学校・保護者・スクールソーシャルワーカーで情報共有しながら、状況に応じて必要な支援方法や児童生徒との関わり方等を提案することで、児童生徒の課題を改善・軽減につなげることができた。

校内教育支援センターは8名の生徒の利用があり、不登校傾向の生徒の自立や生きる力を育むための支援を行い、校内教育支援センターへの登校や進路に向けた取組につながった。

⑦コミュニティスクール推進体制構築事業 1,148 千円

各中学校区学校運営協議会を大栄中学校区は5回、北条中学校区では4回開催し地域と学校の連携・協働に取り組んだ。CS地域コーディネーター連絡会を10回開催した。

【成果】 両中学校区学校運営協議会を設置し、地域の人に学校での学習支援や地域での通学見守りなどに関わっていただいた。子どもの学びに深まりが生まれるだけでなく、子どもたちの育ちについて地域と共有し、学校課題に対して協働できるよう熟議を進めている。また、定期的開催している連絡会では各校区の間組について情報共有や意見交換がなされ、新しい取組にもつながっている。

⑧GIGAスクール構想整備事業 3,582 千円

GIGAスクール構想の推進にあたり、タブレットの利活用を進めるため、体育館への無線アクセスポイントの設置や通信環境の確保等を行った。

【成果】 教室以外の場でのタブレットを活用した学習環境の充実を図ったことにより学習の選択の幅が広がった。

⑨幼児通級指導教室設置事業 741 千円

発達支援が必要な園児（年中・年長児）を対象に、通所による個別指導や小集団指導を実施した。また、園での支援の充実を図るため、加配保育教諭対象研修を実施した。

【成果】 親子での通所による指導により、保護者が指導内容や児の特性に応じた関わりを学び、子育てや就学についての不安の軽減につながった。また、こども園職員の幼児通級指導教室の見学や加配保育教諭研修を通して支援スキルの資質向上につながった。

⑩高校生等通学費助成事業 2,572 千円

高校生等を抱える世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの教育の機会の均等を図った。

・利用者 66人（県内17高校等）

⑪フリースクール利用料軽減事業 1,126 千円

町内の児童生徒がフリースクールに通う経費に対する支援を行った。

・利用者 8人

【成果】 不登校児童生徒の選択肢を増やすとともに保護者の負担軽減となった。

⑫大栄小学校大規模改造事業 469,282 千円

建築から50年を迎える大栄小学校の教室棟、管理棟等について、施設長寿命化を図るための大規模改造工事を行った。

【成果】 屋上断熱防水、外壁塗装改修、教室の建具・ロッカー改修、黒板のホワイトボード化、職員室の改修等を行い、施設の長寿命化を図ることができた。



外壁改修



教室ホワイトボード・建具改修



児童玄関改修

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 額	決 算 額
		目	3 外国青年招致費	10,442千円	10,380千円

①外国青年招致事業 10,380千円

外国語指導助手を招致し、中学校における英語授業の補助や小学校・こども園における外国語活動等を実施した。

- ・4月～3月 フィリピン国籍男性 北条中勤務
- ・4月～3月 アメリカ国籍男性 大栄中勤務

【成果】 外国語を母国語とする職員の配置により、発音や国際理解教育への向上につながった。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 北条小学校管理費	81,785千円	53,167千円

①北条小学校管理事業 52,391千円

- ・特別活動室エアコン室外機取替工事 275千円
 - ・チャレンジルーム雨漏り修繕工事 1,067千円
 - ・トイレ天井漏水修繕工事 297千円
 - ・体育館ステージ引戸新設工事 433千円
- (財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(電気代高騰分) 183千円

学校主事・図書館司書・学習支援員等の配置 30,144千円

児童数 (令和6年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2組	33人	25人	58人
2年	2組	27人	29人	56人
3年	2組	31人	34人	65人
4年	3組	44人	33人	77人
5年	2組	30人	35人	65人
6年	3組	42人	36人	78人
特別支援学級	6組	(25)人	(8)人	(33)人
合計	20組	207人	192人	399人

※()は各クラスと重複しているため合計人数に入れない

【成果】 北条小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 775千円

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
利用児童数	80人	78人	85人
児童の割合	19.0%	19.2%	21.3%

【成果】 遠距離通学児童の登下校の安全性を確保した。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 大栄小学校管理費	121,871千円	119,363千円

①大栄小学校管理事業 66,088千円

- ・グラウンド照明取替工事 517千円
 - ・樹木伐採・法面伐開工事 3,828千円
 - ・校舎南側支障樹木伐採工事 110千円
- (財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(電気代高騰分) 183千円

学校主事・図書館司書・学習支援員等の配置 41,539 千円

児童数 (令和6年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2組	29人	26人	55人
2年	2組	30人	24人	54人
3年	2組	34人	19人	53人
4年	2組	33人	32人	65人
5年	2組	36人	28人	64人
6年	2組	31人	30人	61人
特別支援学級	7組	(27)人	(5)人	(32)人
合計	19組	193人	159人	352人

※()は各クラスと重複しているため合計人数に入れない

【成果】 大栄小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 3,335 千円

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
利用児童数	226人	220人	213人
児童の割合	59.5%	58.8%	60.5%

【成果】 遠距離通学児童の登下校の安全性を確保した。

③大栄小学校プール改築事業 49,940 千円

建築から50年が経過し老朽化している大栄小学校のプールについて、施設長寿命化を図るため、改築工事の実施設計及び工事発注を行った。

【成果】 実施設計が完了し、令和7年度のプール開きに向けて工事を進めることができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 小学校教育振興費 (共通)	762千円	719千円

①小学校外国語教育活動事業 172 千円

小学校3, 4年生の外国語活動、5, 6年生の外国語科の学習を実施。

【成果】 ALTと連携し、外国語科学習の円滑な実施を図ることができた。

②小学校教育振興関係負担金事業 123 千円

- ・ 中部小学校教育研究費負担金 86 千円
- ・ 学校図書館協議会負担金 4 千円
- ・ 中部小学校体育連盟負担金 25 千円
- ・ 中部学校保健会負担金 8 千円 ほか

③児童通学事業 387 千円

北条小学校の遠距離通学となる児童に対し、路線バス代を補助した。

対象地区：松神、下神

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
補助児童数	29人	31人	24人
児童の割合	6.9%	7.6%	6.0%

【成果】 遠距離通学児童の安全確保を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減した。

④修学旅行引率費補助金事業 37千円

職員引率費の一部を助成した。

北条小学校 6学年 広島 10/2-3
大栄小学校 6学年 広島 6/26-27

【成果】 費用助成により、修学旅行に必要な引率教員数を同行させることができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 北条小学校教育振興費		

①北条小学校教育振興事業 12,304千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費 6,943千円

就学援助事業（要保護・準要保護） 3,232千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R4年度	R5年度	R6年度
対象	保護者数	43人	36人	38人
	児童数	57人	51人	56人
児童の割合		13.5%	12.5%	14.0%

特別支援教育就学奨励事業 675千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R4年度	R5年度	R6年度
対象	保護者数	20人	27人	24人
	児童数	21人	27人	25人

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 大栄小学校教育振興費		

①大栄小学校教育振興事業 9,940千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費 6,229千円

就学援助事業（要保護・準要保護） 1,572千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R4年度	R5年度	R6年度
対象	保護者数	24人	25人	15人
	児童数	27人	32人	23人
児童の割合		7.1%	8.6%	6.5%

特別支援教育就学奨励事業 668千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R4年度	R5年度	R6年度
対象	保護者数	19人	16人	19人
	児童数	21人	17人	22人

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	6 言語通級指導教室費	60千円	60千円																														
<p>①言語通級指導教室事業 60千円</p> <p>大栄小学校に言語障がい通級指導教室「ことばの教室」を設置。この教室はことばが増えない、発音がはっきりせずわかりにくいなどの児童に対し指導を行った。</p> <p>【成果】 必要なことばのトレーニングやコミュニケーションの力を高める小集団指導を行うことにより、友達に思いを伝えることを楽しみ、自信をつけさせることができた。</p>																																			
款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	7 発達通級指導教室費	257千円	250千円																														
<p>①発達通級指導教室事業 250千円</p> <p>発達障がい通級指導教室「まなびの教室」の設置校を大栄小学校から北条小学校へ変更。引き続き両校で発達障がいのある児童等に対して指導を行った。</p> <p>【成果】 一人一人に合わせた指導を行うことによって、子どもたちが「できた」「わかった」喜びを味わったり学び方を身に付けたりし、自信をつけさせることができた。</p>																																			
款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	1 北条中学校管理費	48,525千円	46,793千円																														
<p>①北条中学校管理事業 46,793千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送設備改修工事・体育館マイク取替工事 309千円 ・図書館前掲示板設置工事 198千円 <p>(財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(電気代高騰分) 183千円</p> <p>学校主事・図書館司書・学習支援員等の配置 24,352千円</p> <p>生徒数 (令和6年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>学級数</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>2組</td> <td>29人</td> <td>30人</td> <td>59人</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>3組</td> <td>38人</td> <td>37人</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>2組</td> <td>28人</td> <td>34人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級</td> <td>3組</td> <td>(8)人</td> <td>(5)人</td> <td>(13)人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10組</td> <td>95人</td> <td>101人</td> <td>196人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()は各クラスと重複しているため合計人数に入れない</p> <p>【成果】 北条中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。</p>						学年	学級数	男	女	合計	1年	2組	29人	30人	59人	2年	3組	38人	37人	75人	3年	2組	28人	34人	62人	特別支援学級	3組	(8)人	(5)人	(13)人	合計	10組	95人	101人	196人
学年	学級数	男	女	合計																															
1年	2組	29人	30人	59人																															
2年	3組	38人	37人	75人																															
3年	2組	28人	34人	62人																															
特別支援学級	3組	(8)人	(5)人	(13)人																															
合計	10組	95人	101人	196人																															
款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	2 大栄中学校管理費	57,048千円	54,878千円																														
<p>①大栄中学校管理事業 54,878千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館スピーカー取替工事 825千円 ・校舎外壁補修工事 413千円 ・昇降口雨漏り改修工事 715千円 ・武道館非常階段補修工事 880千円 <p>(財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(電気代高騰分) 183千円</p> <p>学校主事・図書館司書・学習支援員等の設置 31,013千円</p>																																			

生徒数 (令和6年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2組	33人	40人	73人
2年	2組	33人	23人	56人
3年	2組	41人	32人	73人
特別支援学級	6組	(14)人	(10)人	(24)人
合計	12組	107人	95人	202人

※()は各クラスと重複しているため合計人数に入れない

【成果】 大栄中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	3 中学校教育振興費(共通)	6,595千円	5,803千円

①中学校教育振興関係負担金事業 319千円

- ・ 県中学校体育連盟負担金 159千円
- ・ 学校図書館協議会負担金 3千円
- ・ 中部教育協議会負担金 128千円
- ・ 県中部学校保健会負担金 4千円 ほか

②学習事業 177千円

中学校のキャリア教育の一環として、卒業生や各職種の社会人の方を講師に招き、体験談等を聞いたほか、運動会、文化祭等では生徒会を中心に自治的な活動となるよう実施。

【成果】 社会人等の講話を通じて将来のあるべき自分の姿を考えさせたほか、運動会等の行事を通して学級集団で目標達成を目指す取組や自治的活動の育成を図った。

③修学旅行引率費補助金事業 163千円

北条中学校 3学年 関西(兵庫、大阪、京都) 5/8-10
大栄中学校 3学年 東京 5/10-12

【成果】 費用助成により、修学旅行に必要な引率教員数を同行させることができた。

④生徒派遣事業 4,272千円

各種大会参加のためのバス等の借り上げ、また、交通費・宿泊費等の補助を行った。
・ バス等借上 1,270千円 ・ 主な派遣先 中部地区総体、中部地区新人大会
・ 生徒派遣補助金 3,002千円 ・ 主な派遣先 中国大会、全国大会

【成果】 大会参加時に必要な移動手段を確実に確保することができた。

⑤職場体験学習事業 61千円

北条・大栄中学校2年生が町内事業所の協力のもと、職場体験学習を実施した。
北条中学校 7月2日～5日
大栄中学校 6月25日～28日
・ 保険料 61千円

【成果】 体験を通して働くことの楽しさや厳しさを経験したほか、社会の規律やマナーを学んだ。

⑥部活動振興事業 811千円

- ・ 部活動指導員の設置 北条中：バドミントン、剣道、吹奏楽
大栄中：柔道、卓球、バレーボール、吹奏楽、バドミントン
- ・ 外部指導者の設置 北条中：卓球、吹奏楽

【成果】 8人の指導員、2人の外部指導者による大会引率や技術的指導により、教員の長時間勤務の解消、心理的負担の軽減の一助となった。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 北条中学校教育振興費	7,901千円	7,281千円

①北条中学校教育振興事業 7,281千円

図書・教材備品購入費 2,154千円

就学援助事業（要・準要保護） 2,912千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R4年度	R5年度	R6年度
対象	保護者数	19人	24人	23人
	生徒数	20人	27人	24人
生徒の割合		11.0%	13.2%	12.2%

特別支援教育就学奨励扶助事業 425千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R4年度	R5年度	R6年度
対象	保護者数	9人	14人	12人
	生徒数	9人	14人	12人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 大栄中学校教育振興費	8,626千円	7,053千円

①大栄中学校教育振興事業 7,053千円

図書・教材備品購入費 1,476千円

就学援助事業（要保護、準要保護） 3,642千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R4年度	R5年度	R6年度
対象	保護者数	18人	22人	24人
	生徒数	19人	25人	30人
生徒の割合		10.1%	13.1%	14.9%

特別支援教育就学奨励事業 550千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R4年度	R5年度	R6年度
対象	保護者数	10人	15人	12人
	生徒数	10人	15人	12人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 学校給食費	183,652千円	168,399千円

①学校給食センター管理事業 68,161千円

小・中学校、北条こども園の学校給食の実施において、給食センターの管理運営、食数管理のほか、給食費の徴収業務等を行った。調理部門については、民間委託により民間企業等の専門的な知識・技術を活用し、業務効率の向上、安全管理の推進を図った。また、子どもたちの食育推進のため、各種給食イベントを実施した。

・給食実施回数

学校等名	R4年度	R5年度	R6年度
北条こども園	226回	233回	234回
北条小学校	186回	192回	187回
大栄小学校	187回	191回	186回
北条中学校	190回	190回	189回
大栄中学校	185回	191回	190回

・学校給食調理等業務委託 (単位：千円)

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
委託料	42,130	42,130	42,130

※業務委託はR4から5年契約

・主な実施事業

食育週間特別献立 (6月)

サプライズ給食 (年2回)

全国学校給食週間 (1月) (特別献立、学校給食アンケート、小中学生給食作品展)

卒業生お祝い給食 (3月)

・給食費の徴収状況

(単位：千円・%)

区 分	R4年度			R5年度			R6年度			
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	
小学校	現年	23,104	23,104	100.0	46,086	46,076	99.9	44,121	44,121	100.0
	滞納	220	103	46.8	117	84	71.8	43	40	93.0
	計	23,324	23,207	99.5	46,203	46,160	99.9	44,164	44,161	99.9
中学校	現年	12,977	12,977	100.0	26,813	26,813	100.0	27,075	27,075	100.0
	滞納	295	63	21.4	232	208	89.7	24	24	100.0
	計	13,272	13,040	98.3	27,045	27,021	99.9	27,099	27,099	100.0
合計	36,596	36,247	99.0	73,248	73,181	99.9	71,263	71,260	99.9	

【成果】 年間を通し、安全安心な学校給食の提供が実施できた。今年度についても地方創生臨時交付金を活用することで、地元産材の消費拡大を行うとともに普段給食で出せない高価な食材を味わってもらえる機会を提供することができた。

また、学校給食費の徴収及び過年度未納額の債権整理を計画的に行い、着実な徴収に結びつけることができた。

②給食費事業 (賄材料費) 87,841千円

県内産・町内産食材をはじめ、必要となる学校給食食材の購入を行った。県内産、町内産食材を多く取り入れ、児童生徒への啓発を図ることで食育推進に繋がった。町費負担による地元食材を使ったサプライズ給食事業を実施した。

うち食材高騰に係る支出 7,592千円

(財源) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (食材高騰分) 7,592千円

・地産地消率 (県指定44品目)

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
国内産	100 %	100 %	100 %
うち県内産	91 %	83 %	80 %
県平均	66 %	64 %	58 %

【成果】

年間を通して、品質の良い学校給食用食材を安定的に、なるべく安価に供給できた。また、地元食材を用いたサプライズ給食を実施し、子どもたちの食育推進と地産地消、さらには北栄町産食材のPRに繋げることができた。

令和6年度の学校給食における県産品利用率（県統計）は県内5位。



サプライズ給食（北栄町産シャインマスカットといちごを使用）



地元生産者との交流給食会



校区合同学校給食展

款	7 土木費	項	1 土木管理費	予 算 現 額	決 算 額												
		目	1 土木総務費	75,356千円	72,937千円												
<p>①住宅新築資金等償還事業 47千円</p> <p>【成果】 住宅新築資金等貸付事業に関する償還事務に関する研修会へ参加し、適切な償還事務を実施した。</p>																	
款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額												
		目	1 社会教育総務費	64,041千円	63,053千円												
<p>①社会教育総務事業 216千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会の開催 3回（5月・12月・3月） ・委員の各種研修等への参加 2回（鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会（鳥取県社会教育関係者研修会）） <p>【成果】 社会教育委員が社会教育事業について意見を述べたり事業に参画することにより、社会教育事業の充実を図ることができた。また、鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会及び鳥取県社会教育関係者研修会に参加し、今の時代に社会教育委員が求められることについて学ぶことにより委員の資質向上につながった。</p>																	
<p>②社会教育総務関係負担金事業 542千円</p> <p>社会教育に関する協議会等の負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東伯郡社会教育協議会 ・鳥取県社会教育協議会 ・鳥取県社会教育委員連絡協議会 ・倉吉地区少年補導センター 																	
<p>③青少年育成町民会議交付金事業 305千円</p> <p>青少年育成北栄町民会議に交付金を交付し、各種団体、機関及び家庭や地域の連携により青少年の健全育成活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動推進事業所 100事業所 <p>【成果】 青少年健全育成啓発のための新しいのぼり旗の作成のほか、あいさつ運動、見守りパトロール等、地域が一体となって活動することで青少年の健全育成につながった。</p>																	
<p>④社会教育推進事業 182千円</p> <p>届ける学びを目的に「生涯学習出前講座」を実施し、地域住民を対象に学習情報・機会の提供を行った。</p> <p>回 数 年間143回 （含：おとなほくえい塾40回、認知症予防セットメニュー21回、貸出DVD11回）</p> <p>会 場 各自治会公民館等</p> <p>参 加 者 延べ2,129人 （含：おとなほくえい塾465人、認知症予防セットメニュー563人、貸出DVD124人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>87回</td> <td>117回</td> <td>143回</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>1,300人</td> <td>1,983人</td> <td>2,129人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 コロナ禍以降、自治会やいきいきサロンをはじめとする各種団体の活動が活発になったことに伴い申し込みが増加している。内容に対する満足度も高く、住民のニーズにあった講座を提供することができた。</p>						年度	R4	R5	R6	回数	87回	117回	143回	参加者	1,300人	1,983人	2,129人
年度	R4	R5	R6														
回数	87回	117回	143回														
参加者	1,300人	1,983人	2,129人														
<p>⑤社会教育関係団体活動費補助金事業 152千円</p> <p>社会教育関係団体の活動に対し補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町婦人会（121,870円） ・北条中学校PTA（5,000円） ・大栄小学校PTA（10,000円） ・北条こども園PTA（5,000円） ・大谷こども園PTA（10,000円） <p>【成果】 各団体が自主的に企画立案する活動や町行事、地域行事等に協力し参加する活動、研修会などに補助し、会員等の資質向上につながった。</p>																	

⑥子どもほくえい塾事業 935千円

- ・放課後子ども教室推進事業「子どもほくえい塾」（国・県・町それぞれ1/3負担）
放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を地域住民の協力で実施した。
※平成21年度より、NPO法人まちづくりネットへ事業実施を委託。

年度	R4	R5	R6
回数	106回	108回	110回
参加者	1,913人	1,907人	1,717人
ボランティア・保護者	724人	880人	1,088人

- ・放課後子ども総合プラン運営委員会の開催 2回
放課後子ども総合プランに基づき、放課後子ども教室、放課後児童クラブ、両事業の効率的な運営、実施を図るため運営委員会を開催した。

【成果】 放課後子ども教室では、多くの地域の方々の協力を得て、子どもたちが地域で過ごす土日や放課後に様々な活動を実施し、子どもたちが安全に過ごせる居場所づくりに資することができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 成人式費		645千円

①成人式事業 607千円

社会の形成者として、良き成人となる新成人の門出を祝し、自ら生き抜こうとする意欲を促した。

令和7年成人式～二十歳の集い～

期 日	令和7年1月3日（金）
会 場	北条農村環境改善センター
内 容	式典、恩師激励及び新成人決意表明 記念品授与、記念写真撮影

対 象 者	169人
出 席 者	117人
出 席 率	69.20%



令和7年成人式～二十歳の集い～

【成果】 二十歳の集いという一つの人生の節目となる場で祝福する機会を設け、新たなスタートを祝うとともに、社会の一員である自覚を高めることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 文化費		884千円

①青少年劇場巡回公演委託事業 783千円

小学生及び中学生を対象に劇団等を招き、児童・生徒が持つ創造力や豊かな感性、情操等を養うため、優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。県事業との調整が合わない場合は他の事業の情報提供を行った。

学校名	事業名	演目
大栄中	芸術鑑賞教室	「美しい日本の音のしらべ」
北条中	学校独自鑑賞事業	「踊ってみよう！フラメンコ！」
大栄小	芸術鑑賞教室	『注文の多い料理店』とワークショップ

【成果】 本物の芸術に触れる機会を提供したことにより、芸術への関心を高め豊かな感性や情操を養うことができた。



演劇「注文の多い料理店」

②北栄文化回廊事業 55千円

北条農村環境改善センターで開催される「北栄町美術展」の開催期間を軸に、北栄みらい伝承館、北条支所に文化イベントを集結し、様々な形で楽しみ回遊できる文化エリアを提供した。

メイン期間 令和6年11月3日（日・祝）～11月15日（金）

イベント名称等	場 所	人 数
北栄町美術展 (11/3～15)	北条農村環境改善センター	674人
北栄町美術展第20回記念 特別企画展 北栄町美術展のあゆみ～美術展賞受賞作品から～ (11/3～12/1)	北栄みらい伝承館 ほか	478人
お茶席 (11/3)	北条支所内(北条ふるさとまつり)	113人
ものづくり体験 (11/3)	北条支所内(北条ふるさとまつり)	35人
齋尾家住宅限定公開 (11/23)	齋尾家	14人
生涯学習課関係 計		1,314人

※期間中来館者数



国登録有形文化財 齋尾家住宅限定公開



お茶席

【成果】 複数の展示やイベントを集中的に行うことで多くの方に「北栄文化」を感じ取っていただく機会を提供できた。また、北条ふるさとまつりにあわせて実施したお茶席では、北条茶道教室・子ども北栄塾茶道教室のみなさんがお点前を披露いただく場をつくったことで、茶道という日本文化を経験してもらう機会にもつながった。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 文化財保護対策費	2,153千円	1,970千円

①文化財保護対策事業 1,875千円

北栄町文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の活用につながる講座の開催やパンフレットの作成を行うとともに町内に存在する指定文化財等の適正な維持、管理が行えるよう支援した。また、国登録有形文化財の齋尾家住宅の限定公開を2回実施し、貴重な文化財を身近に感じられる機会を提供した。

また、特別天然記念物コウノトリの保護にも努めた。

- ・文化財保護委員会の開催 3回
- ・齋尾家住宅限定公開 2回（11月、3月）
- ・国特別天然記念物「コウノトリ・オオサンショウウオ」の保護
- ・各種開発事業との調整

【成果】 国登録有形文化財である齋尾家住宅の限定公開を実施し、貴重な文化財を見学することにより、町の文化財に対する関心が深まった。

歴史探訪ウォークでは、大栄ふれあい会館から東高尾観音寺を巡るコースで地域内の文化財の解説を行い、健康づくりにあわせて町内の歴史や文化財を身近に感じてもらうことができた。

特別天然記念物コウノトリが送電線鉄塔の上で営巣したため、緊急で保護し、兵庫県立コウノトリの郷公園でふ化・飼育された幼鳥を町内で解放することで天然記念物の保護を行った。また解放時には地域のこども園に周知を行い観察の機会を設けたことで、幼いころから文化財に触れる機会の創出につながった。

②由良台場・六尾反射炉発信、連携事業 95千円

六尾反射炉跡の調査委員会設立に向けた委員招へいのため、福岡県に向かい構成委員となる専門家と協議を行った。また、現在も反射炉跡の調査を継続している佐賀市を訪問し、発掘調査の状況及び出土遺物についての意見交換を行った。

【成果】 発掘調査委員会の設立めどが立ち、専門家との意見交換により由良台場、六尾反射炉、由良藩倉といった施設が複合した地域である文化価値の高さを再認識でき、今後の発掘調査委員会の方向性を見出すことができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	7 歴史民俗資料館費	8,297千円	8,096千円

- ①歴史民俗資料館管理事業 5,050千円
- ・正面手すり設置工事 198千円
 - ・警備、清掃、消防設 371千円
 - ・鳥取県ミュージアムネットワーク会議2回、研修会2回
 - ・美術品等寄贈 8件（楽器2点、絵画5点、写真資料1点）

【成果】 町民に身近な文化展示施設として適正な管理や資料収集ができた。

- ②歴史民俗資料館展示事業 3,047千円
歴史民俗資料館運営委員会の開催 2回

期間	開館日数	事業内容	入館者数
4/1～4/7	6	【令和5年度】発掘された人骨からわかること	57人
4/27～6/2	32	日本画家 引田逸牛	348人
6/22～7/28	32	砂丘開拓の父 榊田新蔵	296人
8/10～9/16	33	吉田収 彫刻展	410人
10/1～10/20	18	北栄町の移り変わり	202人
11/3～12/1	27	北栄町美術展のあゆみ	478人
12/17～1/26	31	星空の魅力	280人
2/15～3/30	37	昔の生活道具	298人
企画展小計			2,369人
4/1～3/31	73	生田和孝・加藤廉兵衛・福本和夫常設展のみ	248人
総入館者数			2,617人

	R4	R5	R6
入館者数（人）	3,043	3,058	2,617

【成果】 自然や文化、歴史等の展示を通じて、多くの方に北栄町の文化等について触れていただく機会を設けることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	9 町内遺跡発掘調査費	5,544千円	5,544千円

- ①町内遺跡発掘調査事業 5,544千円
- 町指定史跡六尾反射炉跡の内容確認及び開発行為に伴い、航空写真測量や試掘調査を実施（国庫補助事業）
- ・場所 北栄町六尾、北栄町上種、北栄町北尾
 - ・状況 六尾反射炉跡において、地形測量を実施し史跡範囲を明確にすることができた。東峯遺跡(上種)では、携帯基地局工事に伴う試掘調査を実施。北尾所在遺跡(北尾)では北条川・県道改良工事に伴い試掘調査を実施。

【成果】 六尾反射炉跡では、三次元航空測量の実施により詳細な地形の特徴を明らかにすることができるとともに、史跡範囲を明確化させることができた。
東峯遺跡では、遺構遺物は確認されなかった。
北尾地内の試掘調査では、北条川左岸で弥生時代前期から中世ごろにかけての遺構遺物を確認した。特に、弥生時代前期の土器が多量に出土するとともに、打製石斧等制作時と考えられる安山岩剥片などが出土し、試掘成果により現北条川左岸の一部を「北尾堤前遺跡」、右岸部分の一部を「北尾才塚遺跡」と新規に登録した。
試掘調査の成果を受け、令和7年度に工事範囲で本調査が行われる予定。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 保健体育総務費	136,392千円	85,675千円
<p>①保健体育総務事業 82,635千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北栄町スポーツ推進委員（24人） 地域の団体等に対するニュースポーツの指導、町社会体育事業への運営協力等を通して、生涯スポーツを推進した。 ≪主な活動内容≫ 協議会開催 4回 体力測定・ミニ体力測定の実施 8月24日ほか計4回 北栄町駅伝競走大会の運営協力 11月17日 元旦マラソン&ウオーキング大会 1月1日 東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会 ほか ニュースポーツ体験教室 10月27日・12月1日（2グループ） ・北栄町スポーツ表彰 本町のスポーツ・レクリエーションの発展のため、功績があった者並びに優秀な成績を収めた選手及び団体230名を表彰した。 ＜内訳＞体育功労賞1人、優秀指導者賞1人、スポーツ特別賞3人、スポーツ最優秀賞7人、スポーツ優秀賞22人、スポーツ敢闘賞99人、スポーツ奨励賞97人 ・社会体育施設関係 <ul style="list-style-type: none"> ・勤労者体育センターを解体し、用途廃止した。 ・大誠体育館を解体し、用途廃止した。 ・北条運動場のトイレを洋式化した。 ・北条ふれあい会館のエアコンを更新し、照明をLED化した。 ・B&G海洋センターのキュービクルへの高圧ケーブルを取り替えた。 ・B&G海洋センターにトレーニングマシンを設置した。 ・社会体育施設のAEDを更新した。 ・大栄ふれあい会館にスマートロックを設置した。 <p>【成果】 生涯スポーツの普及と社会体育振興の取組みにより、町民の体力向上と健康増進につながった。また、社会体育施設の設備を更新することにより適正管理を図り、利用者の利便性の向上と施設の長寿命化を図ることができた。</p>					
<p>②保健体育総務関係負担金事業 3,040千円</p> <p>社会体育に関する協議会等への負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡体育協会負担金 ・県スポーツ推進委員協議会負担金 ・郡スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ・ねんりんピック北栄町実行委員会負担金 <p>【成果】 関係機関との連携を図り、各種機関が実施する事業によって社会体育の振興につながった。また、米子市・日野町や関係団体と連携し、ねんりんピックのソフトテニス交流大会を成功させることができた。</p>					
款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 保健体育振興費	44,267千円	42,253千円
<p>①保健体育振興事業 535千円</p> <p>北栄町文化・スポーツ県外派遣費補助金 県又は県中部の代表として県外のスポーツ大会又は文化芸術に関する全国大会等に出場する町内の小中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助した。 利用実績：18件</p> <p>【成果】 中国、全国規模の大会に出場する者に補助することにより、町民のスポーツ競技力の向上と経済的負担の軽減につながった。</p>					

②北栄スポーツクラブ事業 41,560千円

一般財団法人北栄スポーツクラブに指定管理者として町内社会体育施設の管理を委託するとともに、主な社会体育事業の実施を補助事業として行った。

補助事業

各種スポーツ大会、スポーツ少年団、スポーツグランプリ表彰ほか

指定管理施設

北条体育館・大栄体育館・北条ふれあい会館・大栄ふれあい会館・北条野球場・大栄野球場・北条運動場・大栄運動場・B&G海洋センター・大誠体育館

年度	R4	R5	R6
全施設延べ利用人数	161,283	167,240	168,139
スポーツクラブ会員数	1,215	1,213	1,279

【成果】 総合型地域スポーツクラブである北栄スポーツクラブの会員は1,200人を超えているが、近年は概ね横ばいとなっている。北栄スポーツクラブが実施する「健康運動教室」は利用者も多く、高い評価を得ている。

北栄スポーツクラブを核として、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため「だれでも・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツの推進につながった。

③ウォーキングのまち北栄町推進事業 149千円

年齢、体力にかかわらず気軽に取り組むことのできるウォーキングを実施した。

北栄てくてくウォーキング 3回 参加者延べ167人 (R5:169人)

【成果】 ウォーキング機会の提供により、運動習慣の定着と町民の健康の増進に資する取組が出来た。

④訪問型ニュースポーツ体験事業 9千円

参加者の希望する身近な場所にスポーツ推進委員が出向き、希望する種目を指導することによりレクリエーション的な感覚で楽しみながらニュースポーツを体験し、運動に親しむきっかけとした。

年度	R4	R5	R6
回数	4	11	15
訪問した委員	11	35	41

【成果】 地域の皆さんにスポーツ推進委員指導によるニュースポーツを体験していただき、生涯スポーツ人口増の取り組みを幅広い年齢層に広げることができた。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 すいか・ながいも健康マラソン大会費		

①すいか・ながいも健康マラソン大会事業 20,659千円

参加申込者数 4,183人

参加記念品：名探偵コナンのイラスト入りオリジナルTシャツ

年度	R4	R5	R6
参加申込者	3,093人	4,046人	4,183人

【成果】 北は北海道、南は鹿児島までの計39都府県から参加いただき、本町の文化・産業・農業を幅広くPRし、魅力ある町づくりを推進することができた。



第37回大会の様子

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 人権推進費	2,965千円	2,204千円

①人権対策関係負担金事業 288千円

- ・ 県人権文化センター負担金
- ・ 部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金
- ・ 東伯郡同和対策協議会負担金
- ・ とっとり被害者支援センター負担金

②人権啓発活動事業 1,616千円

小学校に花の苗・プランター等を贈呈し、児童が花を育てる中で、命を大切に思いやりや協力する心を育むことを目的として「人権の花運動」を行った。

また、北栄町人権教育・啓発推進協議会に人権啓発事業の一部を委託し、じんけんフェスティバルや各種大会等へ参加した。

〔人権の花運動〕

期 日 10月17日、10月24日
場 所 大栄小学校、北条小学校、
内 容 花の苗・プランター等を贈呈
参加人数 児童29人（大栄小14人、北条小15人）
人権擁護委員6人



じんけんフェスティバル2024

〔北栄町じんけんフェスティバル2024〕

期 日 12月7日（土）
内 容 演題： 「ダイバーシティ～虹色に輝くまちづくり～」
講師： 山口 颯一氏（一般社団法人ELLY代表理事）
参加人数 160人

〔主な大会派遣〕

大会名	開催場所	参加者数
2024年度部落解放・人権要求第1次中央集会	東京都	1人
第49回部落解放・人権西日本夏期講座	大分県	2人
第39回人権啓発研究集会	奈良県	3人
第49回人権尊重社会実現鳥取県研究集会	倉吉市	40人
部落解放研究第57回全国集会	兵庫県	2人
第56回全国高校生集会	東京都	2人
第45回全国人権保育研究集会	徳島県	2人
第75回全国人権・同和教育研究大会	熊本県ほか	3人

※機関紙「北栄町人権教育・啓発推進協議会だより」を3回発行。（8月、12月、2月発行）

【成果】 人権を学ぶ会とテーマを統一し、年間を通して啓発ができた。参加者アンケートでは「とてもわかりやすい講演会で良かった」、「多様性を受け止められるように意識を変えるきっかけになった」等の感想が寄せられ、92.7%の方が満足のいく内容だったと回答した。

③人権擁護委員事業 264千円

地域において人権意識を広めるとともに、人権擁護のための相談を行った。また、倉吉人権擁護委員協議会に対し負担金を交付し、活動を支援した。

人権擁護委員 6人

（主な活動内容）

- ・ 特設人権相談（町内月1回）
- ・ 特設人権相談（じんけんフェスティバル）
- ・ 事業所訪問（24事業所）

倉吉人権擁護委員協議会負担金



事業所訪問(人権週間)

【成果】 地域住民に対し人権意識の普及と人権相談を通じて人権擁護に資することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 隣保館費	37,320千円	35,946千円

①隣保館管理運営事業 35,192千円

町全体を対象に人権啓発のための情報発信、住民交流の場として、人権課題解決のための各種事業や相談事業などを行い、さらに福祉の向上につながる取組みを実施した。

事業名		R4	R5	R6
事業	隣保館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
	人権保育・教育担当者会	3回	3回	3回
	分かりやすいじんけんの話	6回	6回	6回
	同和問題現地研修	6回	3回	4回
	習字教室	24回	24回	24回
	絵本の読み聞かせ	7回	12回	12回
	おしゃべりサロン	9回	12回	12回
相談件数		56件	86件	31件
施設利用者数		2,852人	2,851人	2,864人

- ・施設維持、改修
ほくほくプラザ駐車場整備
全館LED化、空調取替工事等

【成果】 「分かりやすいじんけんの話」により人権に関する認識を深めたり、教養・文化教室やおしゃべりサロンの開催等により地域住民相互の交流・理解を図ることができた。また、ほくほくプラザの駐車場整備や設備の改修により適正管理を図り、来館者の利便性向上と施設の長寿命化を図ることができた。



分かりやすいじんけんの話

②隣保館関係負担金事業 70千円

鳥取県隣保館連絡協議会負担金

③隣保館運営審議会（児童館運営委員会も兼ねる）事業 27千円

隣保館運営審議会兼児童館運営委員会 2回

【成果】 「ほくほくプラザ（北栄人権文化センター）」の事業実施状況や事業計画などを説明し、意見を伺うことによって事業実施の充実を図ることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 児童館費	313千円	150千円

①児童館管理運営事業 124千円

児童に健全で安全な遊びの場と体験事業を提供し、健康の増進と情操を豊かにする取組を行った。

主な事業等	R4	R5	R6
児童厚生員	3人	3人	3人
児童館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
体験教室（自然体験含）	7回	10回	9回
創作教室	3回	2回	1回
科学実験	1回	1回	0回
工作・木工教室	3回	3回	2回
お魚教室	1回	1回	1回
ほくほく食堂	1回	3回	3回
職場訪問（職場体験教室）	3回	3回	4回
施設利用者数	8,225人	7,574人	10,810人

【成果】 地域との連携を深めながら遊びと体験を通じて、児童の健全育成に貢献した。



職場体験教室

②児童館関係負担金事業 26千円

- ・全国児童館連合会負担金
- ・鳥取県児童館連絡協議会負担金
- ・鳥取県子ども会育成連絡協議会

款 9 教育費	項 6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
	目 4 人権教育費	25,296千円	24,341千円

①人権を学ぶ会事業 535千円

自治会単位で人権研修を開催。様々な人権問題や地域の課題について地域住民と一緒に考え認識を深めた。また、円滑な会運営を行うために推進協力員並びに地区推進員を対象に事前協議・総括・研修等を行った。

- ・人権を学ぶ会

項 目		R4	R5	R6
人権を学ぶ会(自治会対象)	実施回数	37回	52回	58回
	延参加者	591人	818人	822人
人権を学ぶ会(高齢者対象)	実施回数	2回	1回	2回
	延参加者	29人	11人	28人

- ・各種会議並びに研修会

項 目		R4	R5	R6
人権教育推進協力員会議	実施回数	3回	3回	3回
	延参加者	46人	39人	37人
人権教育地区推進員会議	実施回数	2回	2回	2回
	延参加者	149人	147人	153人

【成果】 身近に暮らす地域住民が人権問題等を共通認識することにより、一人では踏み出しにくい「人権尊重の行動」につなげることができた。

②人権学習会事業 244千円

小・中学生を対象に人権学習を開催し、仲間づくりや人権に関する知識や認識を広げた。

項 目		R4	R5	R6
人権学習会(小学生)	実施回数	21回	17回	19回
	参加者	15人	6人	6人
人権学習会(中学生)	実施回数	38回	24回	22回
	参加者	5人	4人	4人



人権学習会(小中交流会)

【成果】 お互いを大切にする気持ちや、真実を自分で調べることにより、自分の考えを持ち、差別や偏見をなくしていこうとする意識や態度を育むことができた。

③人権教育推進員設置事業 3, 237千円

人権教育推進員（1人）を配置し、町民や町内事業所等に対して人権研修の計画作成支援や講師を努めた。

項 目		R4	R5	R6
人権教育事業所研修 （人権教育推進員）	実施回数	6回	6回	7回
	延参加者	156人	135人	211人
人権教育事業所研修 （事業所自主研修）	実施回数	5回	3回	3回
	延参加者	112人	117人	129人
人権教育職員研修 （北栄町役場）	実施回数	5回	5回	5回
	延参加者	276人	262人	293人

【成果】 各所における人権研修の実施をしやすくし、多くの人の研修参加を通して人権尊重のまちづくりを推進することができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 公民館費	123,037千円	121,019千円

①中央公民館管理事業 5,153千円

- ・空調修繕費 1,806千円
- ・清掃業務委託料 857千円
- ・自動ドア改修費 385千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度
開館日数	359日	359日	359日
利用者数※	17,501人	18,414人	20,364人

【成果】 適切な点検、維持管理を行い、誰もが安心して気軽に集い学べる生涯学習の拠点施設として、学びの場を提供し、仲間づくり、学びの推進ができた。

②公民館運営事業 24,577千円

〔中央公民館運営〕

すべての町民が心豊かで健康的、文化的な生活を送るための生涯学習、文化活動の身近な拠点として効果的に施設利用ができるよう学習環境を整備し、適正な運営を行った。

〔中央公民館大栄分館管理委託〕 15,148千円

大栄分館の管理運営をNPO法人まちづくりネットに委託した。

中央公民館大栄分館利用実績

年度	R4年度	R5年度	R6年度
開館日数	359日	359日	359日
利用者数※	18,177人 (21,311人)	21,892人 (21,361人)	23,601人 (25,307人)

※（ ）内は大栄こども学級利用者等を別掲

【成果】 民間活力の活用により、すべての町民を対象に健康的、文化的な生活を送るために必要な町民の学びと地域づくり・人づくりの推進を図ることができた。

③公民館講座事業 989千円

ニーズが多様化する中、町民の生涯学習への意欲の向上を促すとともに、住民相互がつつながりを深めながら仲間づくりの輪を広め、心の豊かさや健康的・文化的な生活の向上、教養の向上をめざし、公民館講座を行った。

〔シニアクラブ（高齢者教室）〕

おおむね60歳以上の高齢者を対象に、「まなび・よろこび・仲間とともに」を合言葉に、学習講座を5月～3月に開催し、生涯学習を推進した。

学習別会員数

年度	R4年度	R5年度	R6年度
総合学習	37人	39人	45人
パソコン	6人	6人	7人
ニュースポーツ	46人	45人	43人
歌唱	22人	20人	15人
習字	11人	10人	10人
フラダンス	4人	7人	4人
絵てがみ	8人	10人	6人
食を楽しむ	13人	7人	8人
絵画	4人	6人	4人



シニアクラブ 閉講式

学習別参加者

内 容		R4年度		R5年度		R6年度	
総合学習		8回	延べ139人	8回	延べ164人	8回	延べ235人
コース別学習		10回	延べ514人	10回	延べ607人	10回	延べ673人
全体 学 習	開講式・講演	1回	58人	1回	57人	1回	76人
	ニュースポーツ交流会	1回	25人	1回	30人	1回	51人
	野外学習	2回	25人	2回	47人	2回	34人
	閉講式・講演	1回	43人	1回	40人	1回	54人

〔青少年・成人対象講座〕

青少年や成人を対象に、地域課題の解決や多様な学習を通じた仲間づくりの機会として各種講座を実施し、参加者の輪を広げた。

内 容		R4年度		R5年度		R6年度	
青少年対象講座		16回	299人	17回	347人	16回	260人
成人対象講座		18回	279人	22回	314人	21回	258人
民芸実習館活用講座		18回	185人	16回	126人	14回	113人

【成果】 予定通りの講座を開催することができ、青少年から高齢者までの幅広い年代に対し、仲間とともにつどい、まなぶ環境づくりが推進できた。

④北栄文芸編集・発刊事業 803千円

町民などの幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を育む場として文芸誌を発刊するとともに、広く「文芸」に触れ合う場として公民館ロビーや自治会公民館、町内金融機関などに文芸誌を配置し町民に周知した。

〔発刊実績〕 (R6)

発刊回数	編集委員会	1回あたり発行部数
4回	4回	300部

【成果】 随筆や川柳、短歌など小中高生も含めた町民に幅広く作品を募集し、文芸誌を発行。町内金融機関など町内の各所に配置することにより、北栄町内の各所で文芸に親しむ環境を整えることができた。

⑤展示・鑑賞・発表経費事業 2,096千円

〔第20回北栄町美術展〕

北栄町の文化・芸術活動の発展のため、美術展実行委員会を組織し、日本画、洋画、書道など13部門における文化・芸術活動者の創作活動の発表と鑑賞の機会を設け、町民の文化意識の高揚を図った。【開催日：令和6年11月3日(日・祝)～15日(金)】

出展状況 ※特別展示を除く

項目	R4年度	R5年度	R6年度
	出展点数	出展点数	出展点数
日本画	8点	6点	5点
洋画	15点	17点	18点
デザイン	1点	2点	6点
書道	32点	30点	28点
彫刻	0点	0点	1点
版画	8点	8点	7点
写真	18点	18点	19点
工芸	15点	19点	21点
ちぎり絵	9点	9点	7点
切り絵	4点	7点	8点
俳画	0点	0点	1点
絵手紙	11点	9点	8点
和紙あかり	12点	10点	12点
計	133点	135点	141点



美術展表彰式・講評

〔公民館まつり〕

今年度は、これまで懸念であった冬季の開催時期を改め、7月に実施した。また、これまで単独で合同発表会・作品展を開催していた文化団体協議会と共同開催とし、高齢化に伴う開催の困難さの解消や、公民館まつりでの、体験コーナーの充実を図った。

【開催日：作品展 令和6年7月13日（土）～21日（日）芸能発表会 令和6年7月15日（月・祝）】

〔公民館まつり展示・発表状況〕

年度	R4年度	R5年度	R6年度
作品展	27部門318点	—	25部門318点
芸能発表会	23組82人	—	34組107人



ロビー展

〔ロビー展〕

町文化団体協議会加盟団体による主体的運営の定着を図るとともに、非加盟団体の展示活動や、町や中央公民館事業の発表展示を行い、町民に幅広く文化・芸術活動などの観賞機会及び情報の提供を行った。

【成果】 美術展では、文化団体との連携や文化教室参加者への啓発などにより、地域の文化・芸術活動者が出展し、日ごろの取組を発表する場となった。また、住民には、芸術・文化に触れ合う貴重な場となった。

公民館まつりでは、初めて文化団体と共催で行った。より充実したワークショップを行い、住民に文化や芸術に触れることができた。

ロビー展は、文化団体との連携により出展の充実を図り、多くの中央公民館来館者に成果を発表し、創作意欲の向上を図るとともに多くの来館者へ文化・芸術に触れる機会を提供することが出来た。

⑥中央公民館大栄分館建替事業 67,430千円

大栄分館の老朽化に伴い、令和5年度に地質調査し、令和6年度は基本・実施・解体工事設計を実施した。今後、令和7年度に解体工事、令和8年度に建築工事、令和9年度に新大栄分館のオープンを予定している。

【成果】 令和4年度のほくえい未来ラボからいただいた意見や提案を設計に反映させた。「交流を育む未来につながる町の拠点」をコンセプトとして建築予定。

⑦成果還元活動事業 84千円

文化教室等が作品や技術など日頃の活動で得た成果について町民に発表（還元）し、地域住民の文化教養の向上につながる取組に対し補助した。

年度	R4年度	R5年度	R6年度
団体数	15団体	21団体	24団体
延回数	20回	27回	28回

【成果】 幅広く町民に生きがいと喜びを提供するなど地域に成果を還元することができた。また、仲間と集い・学び・ふれあいながら親睦を深め、健康の増進や幸せな人生の生きがいとなる学びの活動に寄与した。

⑧町文化団体協議会補助金事業 300千円

町民の文化的な生活や生涯学習の推進を図るため、多種多様な文化教室活動の自主的で主体的な活動を支援するとともに、中央公民館事業である美術展や公民館まつりへの文化芸術作品の出品や芸能活動発表会等の事業運営で連結するための活動経費の一部を補助した。

【成果】 町民の生涯学習推進と文化・芸術活動の発展に寄与した。

⑨ほくえい未来ラボ事業 636千円

北栄町の住民参画の新しい仕組みとして、学びと研究の場「ほくえい未来ラボ」を開催した。令和6年度は「地域×観光」をテーマに、住んでよし、訪れてよしとなるまちづくりについて提案していただいた。

参加者：44人(町民15人、鳥取短期大学学生29人)

コーディネーター：鳥取大学工学部 長曾我部まどか准教授

全体会：第1回(5/19)、第2回(6/22)、中間発表(9/29)、最終発表(12/15)

講演：獨協大学外国語学部交流文化学科 山口 誠教授

「住んでよし訪れてよし」のまちづくりに向けて(8/10)

【成果】 自らの調査に加え、専門家による講義、外部有識者によるアドバイスなどの学びの場を提供することができ、最終発表では客観的なデータ等に基づいた納得性のある提案をいただくことができた。

また、行政課題の解決に向けた過程を通じて、人づくりに資する取組ともなった。



最終発表の様子

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 民芸実習館費	1,587千円	1,542千円

①民芸実習館事業 1,542千円

町民が行う陶芸や油絵などの文化的創作活動が、安心・安全、かつ充実したものとなるよう施設の管理運営に努めた。

年度	R4年度	R5年度	R6年度
開館日数	199日	209日	268日
利用者数	1,851人	1,929人	1,959人



木版画教室

【成果】 陶芸教室や木竹教室、水墨画教室、木版画教室を実施し、文化教室への新規加入促進と施設の有効活用を図ることができた。また、施設の適切な管理を行い、絵画教室等自主的なサークル活動の拠点として安全に活動していただくことができた。なお、令和6年度より木工クラブの参加者増に伴い、旧北条庁舎に拠点を移した。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	4 図書館費	60,575千円	56,571千円

①図書館管理事業 4,486千円

- ・空調等修繕費 1,008千円
- ・パソコン保守委託料 1,716千円
- ・清掃業務委託料 830千円

【成果】 必要に応じて速やかに修繕等の環境整備を実施し、来館者が安心して利用できる環境を提供した。

②図書館運営事業 14,834千円

- ・光熱水費 5,473千円
- ・分室司書補助業務委託料 1,218千円
- ・新聞記事検索サービス使用料 297千円
- ・図書購入費（書籍・視聴覚資料等） 5,219千円

（北条分室・雑誌・AV資料全て含む）

年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用登録者数	13,872人	14,063人	14,472人
実利用者数	1,764人	1,804人	1,828人
来館者数	48,557人	58,911人	73,992人
貸出冊数	81,096冊	84,256冊	85,845冊
蔵書冊数	139,520冊	136,895冊	137,619冊
資料購入数	4,702冊	3,601冊	3,738冊

（図書館本館）

項目	R4年度		R5年度		R6年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
おはなし会	20回	151人	36回	251人	46回	216人
あたまイキイキ音読教室	4回	29人	6回	45人	6回	29人
出前講座	8回	70人	13回	163人	13回	177人

『特集・展示コーナー』

<特集コーナー>

【郷土】 祝・内閣総理大臣 石破茂、とっとりの手仕事

【一般】 自閉症、新紙幣、敬老の日、若い人に贈る読書のすすめ、読書の木、本屋大賞、動物愛護週間、オリンピック、蔦屋重三郎とその時代、アートの世界

【児童】 さとうわきこさん・せなけいこさん・中川李枝子さん・いわむらかずおさん・谷川俊太郎さん追悼、こどもの本総選挙、絵本屋さん大賞

<ギャラリーゆら里>

※展示：エイ！フェス写真展、特殊詐欺被害防止パネル展、性暴力防止パネル展、北方領土展示、ハンセン病問題啓発パネル展、まんが寺子屋作品展

※その他の用途：コワーキングスペース・フリースペース



図書館なつまつりなど年間を通じて様々な催しを実施した。

(北条分室)

「絵本・紙芝居などの読みきかせ」

読み聞かせボランティア「つくしんぼ」により、北条地区のこども園・小学校において毎月1回ずつ実施した。

「特集コーナー」は、分室も本館同様に実施した。

【成果】 資料を幅広く計画的に収集し、テーマを決めた特集など工夫することで、町民の多様なニーズに応えることができた。

各種講座、催し物で来館を促し、関連する図書資料の活用につなげることができた。

③図書館魅力化事業

305千円

<地域とつながる図書館>

夢の図書館プロジェクトメンバー（有志10人）の実施希望プロジェクトとして、フリーペーパー作成、ブックリサイクル、読書の木、レールトイ、フォトコンテスト等を実現した。

<居心地のよい図書館>

図書カフェ出店 7回



読書の木



レールトイ

【成果】 「夢の図書館プロジェクト」では、町民（有志メンバー）主体の企画を取り入れ、メンバーの「夢」の実現を後押しすることで、新たな図書館の魅力を発信することができた。

④絵本でつながるまちづくり事業

659千円

○真珠まりこ読み聞かせワークショップ

期日 11月30日

場所 中央公民館 講堂

参加者 68人



真珠まりこ読み聞かせワークショップ

○ブックスタート（生後7か月児対象）

赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと心ふれあう時間を持つきっかけとなるよう、赤ちゃん一人ひとりに絵本を手渡した。

7か月健診の際、赤ちゃんと保護者に読み聞かせを行い、数種類の中から保護者が選んだ絵本1冊を贈った。

年度	R4年度	R5年度	R6年度
対象者	99組	86組	76組
配布数	94組	83組	67組

○マタニティ・ファーストブック(母子手帳交付者)

妊娠中の母親がおなかの赤ちゃんに絵本を読んで語りかけることで、母子ともに豊かな時間を過ごし、赤ちゃんの健やかな成長を育むことを目指し、大人向けの絵本1冊と、赤ちゃんのために保護者が選んだ絵本1冊の計2冊を贈った。

年度	R4年度	R5年度	R6年度
対象者	80組	73組	90組
配布数	56組	40組	50組



【ブックスタート】
絵本をバッグに入れてプレゼント



【マタニティ・ファーストブック】
「絵本引換券」で絵本を引き換え

【成果】 「絵本と音楽を楽しむコンサート」での普段とは異なる読み聞かせ体験や、ブックスタートやマタニティ・ファーストブックにより、実際に絵本を手にとって選ぶ体験をとおして、絵本の楽しさに触れ、絵本や読み聞かせへの関心を高めることができた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
国民健康保険事業特別会計	1,869,463千円	1,648,323千円

1 国民健康保険税の収納状況

(単位：千円)

区 分	R4年度		R5年度			R6年度		
	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	396,341	99.8%	390,755	388,918	99.5%	378,832	375,485	99.1%
滞納 繰越分	3,345	55.3%	1,507	1,084	71.9%	2,215	1,224	55.3%
合計	399,686	99.1%	392,262	390,002	99.4%	381,047	376,709	98.9%

2 療養諸費に係る保険者負担分の給付状況

(単位：件・千円)

区 分	R4年度		R5年度		R6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
療養給付	58,317	1,051,614	56,775	1,061,526	55,120	988,451
療養費	301	2,561	326	5,512	275	1,964
審査支払手数料	—	3,699	—	3,595	—	3,501
高額療養費	2,493	155,599	2,394	162,625	2,415	158,808
高額介護合算療養費	10	207	9	106	5	72

【成果】 被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付（保険者負担分7割～8割及び高額療養費等）を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

3 出産育児一時金、葬祭費等事業の状況

(単位：件・千円)

区 分	R4年度		R5年度		R6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
移送費	0	0	1	193	0	0
出産育児一時金	6	2,508	6	3,000	8	4,000
葬祭費	27	405	21	315	26	520

4 特定健康診査受診状況

	R4	R5	R6
特定健診受診率	44.6%	44.1%	40.8%

(※R6は速報値)

5 国民健康保険の加入状況（年間平均） 年報数値（各年月報4月～3月報告）

区 分	R4年度	R5年度	R6年度
世 帯 数	2,166世帯	2,113世帯	2,042世帯
被 保 険 者 数	3,697人	3,558人	3,393人
介護保険第2号被保険者数	1,052人	1,031人	989人

R4年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入 74人	社保離脱 379人	生保廃止 0人	出生 10人	後期高齢離脱 0人	その他 6人	計 469人
	減少	転出 63人	社保加入 327人	生保開始 5人	死亡 29人	後期高齢加入 246人	その他 15人	計 685人

R5年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入 69人	社保離脱 422人	生保廃止 3人	出生 13人	後期高齢離脱 0人	その他 8人	計 515人
	減少	転出 61人	社保加入 283人	生保開始 4人	死亡 21人	後期高齢加入 226人	その他 10人	計 605人

R6年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入 46人	社保離脱 417人	生保廃止 8人	出生 10人	後期高齢離脱 0人	その他 13人	計 494人
	減少	転出 57人	社保加入 356人	生保開始 4人	死亡 31人	後期高齢加入 223人	その他 10人	計 681人

6 療養の給付等の内訳 年報数値（各年月報6月～5月報告：現物給付3月診療～2月診療）

区 分	R4年度		R5年度		R6年度	
	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)
入 院	548,369	148,328	605,886	170,288	560,942	165,323
入 院 外	484,225	130,978	441,278	124,024	428,422	126,266
歯 科	86,609	23,427	89,037	25,024	78,127	23,026
調 剤	274,501	74,250	269,506	75,746	240,534	70,891
食事療養	24,918	6,740	23,224	6,527	23,032	6,788
訪問看護	6,616	1,790	5,857	1,646	7,941	2,340
合 計	1,425,238	385,513	1,434,788	403,255	1,338,998	394,634

会 計 名	予算現額	決算額
介護保険事業特別会計	1,854,317千円	1,706,994千円

介護保険は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となった方に対して居宅サービスや施設サービスを提供し、それに係る費用は、被保険者（40歳以上）が納める保険料と国・県・町からの負担金・補助金・繰入金等により運営している。

介護予防の更なる推進のため、「介護予防教室」、「こけないからだ講座」等の拡充及び「地域ケア会議」を実践、ケアプランのチェックを徹底し、自立支援のための適正なサービス提供となるよう努めた。

月2回、地域包括支援センター職員を中心に、介護保険室、歯科医師、薬剤師、リハビリ専門職、栄養士などの専門職を交え、担当ケアマネ、サービス事業所職員と要支援者等のサービス提供について協議した。また、この会議を基に地域課題の検討会を実施した。



地域ケア会議

【成果】

利用者一人ひとりの生活機能向上に着目し、生活の質の向上に向けた支援体制の構築につながっている。また、社会福祉協議会と地域課題を共有することで、地域との関わり・連携に繋がっている。

	R4年度	R5年度	R6年度
対象件数	36件	56件	55件

決算は歳入総額18億1,146万1千円、歳出総額17億699万4千円、実質収支額は1億446万7千円であった。

1 認定者・要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(1) 認定者の状況

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
R6年3月末	68人	111人	135人	180人	108人	110人	72人	784人
R7年3月末	74人	103人	158人	165人	117人	92人	74人	783人
※死亡者	4人	6人	9人	24人	29人	53人	51人	176人

※令和6年度中に死亡した認定者数

(2) 要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(単位：人)

申請区分	申請件数	審査結果									申請取下	合計
		支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	非該当			
①新規申請	216	37	30	47	35	20	20	10	5	12	216	
更 新	支援1	21	8	6	4	2	0	0	0	1	0	21
	支援2	25	3	16	2	3	1	0	0	0	0	25
	介護1	60	0	2	28	22	4	3	0	1	0	60
	介護2	54	1	2	8	18	14	5	4	0	2	54
	介護3	34	0	0	0	7	13	6	8	0	0	34
	介護4	37	0	1	1	5	6	17	6	0	1	37
	介護5	23	0	0	0	0	2	4	17	0	0	23
②小計	254	12	27	43	57	40	35	35	2	3	254	
変 更	支援1・2の者	49	1	4	10	3	5	10	6	0	3	42
	介護1～5の者	60	0	0	0	1	12	24	16	0	6	59
	③小計	109	1	4	10	4	17	34	22	0	9	101
合計 (①+②+③)	579	50	61	100	96	77	89	67	7	24	571	

2 地域支援事業 53,601 千円

(1) 介護予防・生活支援サービス事業 39,987 千円

●訪問型サービス

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防訪問介護相当サービス	327人		

●通所型サービス

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防通所介護相当サービス	788人		
筋力アップ教室北条	314人	48回	通所型サービスA
筋力アップ教室大栄	262人	48回	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	232人	48回	通所型サービスA
リフレッシュ教室	352人	48回	通所型サービスA
はつらつ!お達者教室	359人	48回	通所型サービスA
食べて!うたって!笑わ一会!	269人	47回	通所型サービスA

●介護予防ケアマネジメント

事業名	延人数	備考
筋力アップ教室北条	12人	通所型サービスA
筋力アップ教室大栄	9人	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	7人	通所型サービスA
リフレッシュ教室	10人	通所型サービスA
はつらつ!お達者教室	10人	通所型サービスA
食べて!うたって!笑わ一会!	9人	通所型サービスA

●介護予防サービス計画書作成

		R4年度	R5年度	R6年度
事業所委託	件数	1,157 件	1,145 件	1,182 件
	委託料	4,966 千円	5,151 千円	5,477 千円
包括直営	件数	666 件	709 件	763 件

(2) 一般介護予防事業 8,206 千円

●介護予防普及啓発事業

事業名	延人数	開催回数	備考
シニアファイト教室	271人	48回	
転倒予防教室	365人	24回	
生きがいデイサービス	746人	99回	
脳活クラブ	340人	48回	
認知症サポーター養成講座	261人	10回	
介護予防講座	421人	29回	

●地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	件数	参加人数	備考
リハビリ専門職派遣事業(個別)	19回	19人	
リハビリ専門職派遣事業(通いの場)	31回	376人	

●オレンジガーデニングプロジェクト

認知症の啓発カラーであるオレンジ色の花を楽しみながら育てて、認知症について考えるプロジェクトを実施し、認知症の啓発を図った。

協力機関	機関数	備考
介護サービス事業所	8ヶ所	高齢者と園児が交流しながら種まきを実施した。
こども園・保育所	6ヶ所	
小中学校	4ヶ所	
その他	3ヶ所	オレンジカフェなう他

(3) 包括的支援事業・任意事業 5,183 千円

①在宅医療・介護連携推進事業 134 千円

2次医療圏である中部圏域1市4町、医師会、倉吉保健所協働にて、研修会の開催や情報共有支援、社会資源マップを作成し医療・介護関係機関の連携を図った。また、福祉映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」上映会を実施、160名の参加者があり、認知症や在宅介護の啓発を図った。

	延参加者	開催回数	備考
地域づくりしよいやの会	168人	2回	

	R4年度	R5年度	R6年度	備考
退院調整率	89.5%	85.9%	89.5%	
入院時連携シート提出率	83.9%	84.6%	83.3%	

②認知症総合支援事業 4,351 千円

認知症の人とその家族、地域の人、専門職など、どんな人でも気軽に集える場としてNPO法人まちづくりネットと共催し「オレンジカフェ」を開催し、相談等に対応した。

開催回数	実人数	延件数	備考
23	61	388	送迎あり、R5～北条地区でも開催

③任意事業 698 千円

主な事業名	延人数	開催回数	備考
在宅介護者慰労事業	21人	2回	
家族介護用品支給事業	46人		給付券使用枚数。実人数6人
認知症の人と家族のつどい	58人	12回	

●ほくえい見守り安心ネット

認知症高齢者等が行方不明になった時、地域ぐるみで早期発見につなげられるよう、安心安全なまちづくりの推進を行った。

	R4年度	R5年度	R6年度
協力機関登録数	38箇所	41箇所	40箇所
事前登録者	14人	23人	20人
GPS利用助成者	0人	0人	0人

3 介護保険給付費

区分	種別	延件数(件)	給付額(円)
居宅(介護予防)サービス	訪問介護	579	48,159,558
	訪問入浴介護	30	1,395,738
	訪問看護	649	24,801,248
	訪問リハビリテーション	443	12,815,649
	居宅療養管理指導	217	1,269,135
	通所介護	2,210	256,041,583
	通所リハビリテーション	1,750	123,794,742
	短期入所生活介護	181	25,767,351
	短期入所療養介護(介護老人保健施設)	259	20,086,385
	福祉用具貸与	3,628	46,434,918
	福祉用具購入費	66	1,928,493
	住宅改修費	56	2,887,782
	特定施設入居者生活介護	0	0
	居宅介護支援計画	5,208	66,172,610
	計		631,555,192
地域密着型(介護予防)サービス	地域密着型通所介護	0	0
	認知症対応型通所介護	1	30,105
	小規模多機能型居宅介護	231	33,420,862
	認知症対応型共同生活介護	863	227,481,894
	計		260,932,861

施設介護サービス	介護老人福祉施設	458	129,557,439	
	介護老人保健施設	1,367	414,450,055	
	介護医療院	25	9,676,845	
	計		553,684,339	
小	計		1,446,172,392	
特定入所者（介護予防）サービス等	特定入所者介護サービス費	食費	912	17,101,883
		居住費	931	7,812,738
	計		24,914,621	
高額介護サービス等	高額介護サービス費	2,143	26,532,819	
	高額医療合算サービス費	120	3,410,268	
	計		29,943,087	
諸	費審査支払手数料	18,029	1,712,755	
介護給付費合計額			1,502,742,855	

【成果】 介護予防教室や地域ケア会議等の取組により、事業計画内での給付費の決算となった。

4 介護保険料の収納状況

(単位：千円)

区 分	R4年度		R5年度		R6年度		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分特別徴収	336,502	100.0	338,006	100.0	335,774	335,774	100.0
現年度分普通徴収	26,432	99.3	26,509	99.2	32,509	32,286	99.3
滞納繰越分	607	99.9	182	99.5	227	144	63.5
計	363,541	99.9	364,697	99.9	368,510	368,204	99.9

5 介護保険認定状況

65歳人口・高齢化率等における年度末の状況

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
65歳以上人口	5,198 人	5,223 人	5,206 人
高齢化率	36.2 %	36.9 %	37.3 %
介護認定者数	756 人	784 人	783 人
65歳以上	751 人	777 人	774 人
40～64歳	5 人	7 人	9 人
認定率	14.4 %	14.9 %	14.9 %
介護給付費	1,448,195千円	1,488,150千円	1,502,743千円

※住所地特例被保険者含む

要介護認定者数における年度末の状況

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
要支援1	62人	68人	74人
要支援2	106人	111人	103人
要介護1	127人	135人	158人
要介護2	172人	180人	165人
要介護3	97人	108人	117人
要介護4	111人	110人	92人
要介護5	81人	72人	74人
合 計	756人	784人	783人

介護保険の資格取得者・喪失者の状況

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
取得者（65歳到達・転入）	216人	250人	227人
喪失者（死亡・転出）	208人	217人	259人
増 減	8人	33人	△32人

居宅サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
要支援1	27人	34人	40人
要支援2	82人	79人	76人
要介護1	103人	100人	103人
要介護2	111人	123人	106人
要介護3	51人	41人	51人
要介護4	48人	45人	34人
要介護5	20人	15人	20人
合 計	442人	437人	430人

地域密着型サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
要支援1	5人	3人	4人
要支援2	4人	1人	0人
要介護1	8人	15人	16人
要介護2	38人	29人	26人
要介護3	22人	26人	25人
要介護4	17人	16人	14人
要介護5	11人	8人	5人
合 計	105人	98人	90人

施設サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
介護老人福祉施設	45人	44人	35人
介護老人保健施設	91人	100人	107人
介護医療院	-	-	3人
合 計	136人	144人	142人

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
栄財産区特別会計	587千円	226千円

栄財産区に栄財産区管理会を設置し、保有財産等の適切な維持管理を行った。
管理会の開催、保有財産等は以下のとおり。

1 栄財産区管理会の開催状況

招集日	出席委員	内 容
8月1日	7人	令和5年度決算審議
12月16日	6人	令和7年度当初予算協議

2 事業等の状況

- ・ 栗林の管理 草刈1回 (9/19~20)
- ・ 栗拾いイベント 開催日：令和6年9月27日~10月10日、申込者数：約159人

3 財政調整基金の状況 (単位：千円)

	R4年度	R5年度	R6年度
基金残高	65,433	65,983	65,983

4 財産等の状況

(1) 栄財産区所有地

地 目	面積 (㎡)
山 林	375,529
畑 地	55,938
雑種地	1,377
原 野	623
計	433,467

(前年度末に変動なし)



東高尾地内にある栗木

(2) 保安林指定

森林の所在地	面積 (㎡)
西高尾字谷奥1798	33,854
同 1788-1	72,560
同 1788-2	20,304
同 1801-1	29,694
東高尾字奥谷773-5	57,203
同 852-1	52,555
同 852-2	15,467
同 852-3	64,794
同 852-313	10,804
同 852-317	6,014
計	363,249

(前年度末に変動なし)

【成果】 区有地を維持管理できた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
大栄歴史文化学習館特別会計	184,282千円	180,231千円

「名探偵コナン」の原作者 青山剛昌氏の生まれ育った地である鳥取県北栄町において、漫画家・青山剛昌氏にスポットをあて、青山作品の世界を解き明かし、青山剛昌ファンをはじめ、ここを訪れる人々に青山剛昌氏の魅力や人となりを紹介している。

総入館者数 234,459人 (うち有料入館者数 220,986人)

入場料収入 129,794,550円

有料入館者(数)の内訳

種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計
R4	95,438人	10,534人	17,645人	581人	124,198人
R5	132,908人	13,576人	20,426人	3,243人	170,153人
R6	172,137人	17,205人	27,648人	3,996人	220,986人
前年比	129.5%	126.7%	135.4%	123.2%	129.9%

誘客活動 令和6年度は、各種イベントのほか、入館者数が減少する時期に特別ノベルティの配布や、連載30周年を記念した「名探偵コナン30年の軌跡展」の特別原画展を行うことによって、繁忙期以外の集客を図った。

併せて、高速道路サービスエリア(加西、宝塚北)での広告掲出、旅行雑誌等への広告掲載に加え、読売テレビ系列局でのテレビCMを行うことで、県外への誘客も進めた。

このほか、SNS発信にも注力し、X(旧Twitter)フォロワー数は13万人を超えた。また、館内アンケートを継続して行い、入館者の動向などの把握に取り組んだ。

1 イベントの実施

- 4月 謎解きARラリー開館18周年記念編(3月から開催)
GWイベント
青山先生&怪盗キッド誕生日メッセージ募集
- 5月 館公式X(旧Twitter)フォロワー11万人突破記念キャンペーン
- 6月 青山先生&怪盗キッド誕生日イベント
すいか・ながいも健康マラソン入館料割引
- 7月 夏休み体験イベント、名探偵コナン30周年記念編
暑中見舞いはがき販売
七夕イベント
名探偵イラストコンテスト作品募集
- 8月 名探偵コナンまつり開催記念イベント
- 9月 倉吉警察署イベント
- 10月 町民無料デー
日本海新聞主催イベント「名探偵コナン コナン・平次と隠れた名所を探せ！」
名探偵コナン30周年軌跡展
- 11月 青山剛昌作品キャラクターイラスト年賀状募集
- 12月 クリスマスイベント
年賀状販売
- 1月 青山剛昌先生と話そうDAY2025
館公式X(旧Twitter)フォロワー12万人突破記念キャンペーン
- 2月 バレンタインデー・ホワイトデーイベント
- 3月 開館18周年記念イベント

2 館内展示の入れ替え、新設

通年	青山剛昌名探偵コナン特別原画展 第1期～第6期
4月～9月	100万ドルの五稜星原画展示①
10月～2月	100万ドルの五稜星グッズ展示
10月～2月	名探偵コナン連載30周年原画展示
12月～1月	2018クリスマスカード、2019、2024年賀状原画展示
2月	コミックスウォールに104巻～106巻を追加
3月～6月	100万ドルの五稜星原画展示②
3月～6月	原作YAIBA関連グッズ展示

3 館内設備の整備

高圧ケーブル取替
 スケートボードゲーム修繕
 排煙オペレーター取替
 車いす更新
 道の駅ほうじょう構内案内誘導看板設置
 玄関フロアマット2種更新

【成果】 令和7年3月には開館からの累計入館者数200万人を突破し、令和6年度は年間入館者数としては最多となる234,459人（有料入館は220,986人）を記録した。

- ・七夕、クリスマスなど季節イベントの開催により、満足度が向上し、リピーターの確保につながった。
- ・繁忙期の前売券販売により、入館待ち時間が短縮され、入館者の安全性確保や周辺観光の効率化につながった。
- ・繁忙期以外での特別展示やノベルティ配布等により、2月を除く全ての月で前年度の入館者数を上回る結果となった。
- ・X（旧Twitter）に館の情報や青山先生の作品に関するものだけでなく、町の様々な魅力を伝える投稿を行った結果、多くの方の関心を集めることができ、フォロワー数を13万人に伸ばすことができた。
- ・入館者の動向把握のため館内アンケートを行い、8,140件の回答を集計、分析することで、誘客に反映できた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
後期高齢者医療事業特別会計	264,468千円	262,346千円

医療給付などの運営主体は後期高齢者医療広域連合が行い、町は保険料の徴収や資格の取得・喪失など、主に窓口業務を担当した。

1 後期高齢者医療保険料の収納状況

(単位：千円)

区 分	R4年度		R5年度			R6年度		
	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	153,837	99.9%	165,748	165,097	99.6%	197,796	197,741	99.9%
滞納繰越分	531	99.6%	19	17	89.4%	650	603	92.7%
合計	154,368	99.9%	165,767	165,114	99.6%	198,446	198,344	99.9%

2 被保険者数

区 分		令和5年 3月末現在	令和6年 3月末現在	令和7年 3月末現在
被保険者数	65歳～69歳※	16人	13人	13人
	70歳～74歳※	18人	12人	14人
	75歳～79歳	934人	1,009人	1,104人
	80歳～84歳	634人	679人	705人
	85歳～89歳	583人	541人	510人
	90歳～94歳	347人	355人	346人
	95歳～99歳	115人	125人	116人
	100歳～	23人	21人	19人
	計	2,670人	2,755人	2,827人

※65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人

3 療養の給付等の内訳

区 分	R4年度		R5年度		R6年度	
	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)
入 院	1,405,728	526,490	1,339,472	486,197	1,678,965	593,903
入院外	607,844	227,657	640,256	232,398	645,838	228,453
歯 科	54,756	20,508	66,833	24,259	70,916	25,085
調 剤	381,828	143,007	403,163	146,339	387,710	137,145
食事療養	62,445	23,388	61,188	22,210	77,048	27,254
食事療養歯科	0	0	0	0	27	9
訪問看護	16,009	5,996	24,863	9,025	23,110	8,174
合 計	2,528,610	947,046	2,535,775	920,428	2,883,614	1,020,023

【成果】 被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計（収益的支出）	242,440千円	213,130千円

水道事業の概要

年間配水量は、1,900,259 m^3 で、前年度に比べ 1.2%の増加、年間給水量は、1,429,718 m^3 で、前年度に比べ 0.7%の減少となった。

この結果、年間有収水量率は、75.2%で、前年度に比べ 1.4ポイント減少となった。

事項	R4年度	R5年度	R6年度
年度末給水人口（人）	14,353	14,159	13,937
年度末給水戸数（戸）	5,456	5,457	5,439
年度末給水栓数（栓）	6,000	5,980	5,982
年間配水量（ m^3 ）	1,881,901	1,878,627	1,900,259
年間1カ月平均配水量（ m^3 ）	156,825	156,552	158,355
年間給水量（ m^3 ）	1,452,162	1,439,307	1,429,718
年間1カ月平均給水量（ m^3 ）	121,014	119,942	119,143
年間有収水量率（%）	77.2	76.6	75.2

1. 収益的収入

(単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	248,876,974	90.7%	245,970,751	90.8%	246,794,396	91.4%
営業外収益	25,554,679	9.3%	24,984,990	9.2%	23,120,833	8.6%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	274,431,653	100.0%	270,955,741	100.0%	269,915,229	100.0%

2. 収益的支出

(単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	202,478,842	89.3%	211,480,747	90.1%	188,800,105	88.6%
営業外費用	24,216,680	10.7%	23,331,596	9.9%	24,330,384	11.4%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	226,695,522	100.0%	234,812,343	100.0%	213,130,489	100.0%

【成果】 安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適切な維持管理等を行った。

老朽管の改良工事を進め、修繕費が減額になるよう努めた。

●水道料金 収納状況

(単位：千円)

現年	R4年度	R5年度	R6年度
調定	243,284	241,163	240,244
収納	240,517	238,499	237,862
収納率	98.86%	98.90%	99.01%
未収	2,767	2,664	2,382

(単位：千円)

滞納繰越	R4年度	R5年度	R6年度
調定	2,992	3,611	3,394
収納	2,148	2,880	2,756
収納率	71.79%	79.76%	81.20%
未収	844	731	638

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計（資本的支出）	201,925千円	99,980千円

1. 資本的収入 (単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
工事負担金	3,842,560	9.2%	1,980,330	5.5%	1,977,230	4.7%
企業債	38,000,000	90.8%	34,000,000	94.5%	40,000,000	95.3%
計	41,842,560	100.0%	35,980,330	100.0%	41,977,230	100.0%

2. 資本的支出 (単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	63,196,861	50.8%	48,349,958	45.7%	50,714,658	50.7%
企業債償還金	61,129,202	49.2%	57,510,858	54.3%	49,265,329	49.3%
計	124,326,063	100.0%	105,860,816	100.0%	99,979,987	100.0%

(建設改良費内訳)

- 配水施設等改良費 49,119千円
 - 配水管改良工事等
 - ・工事請負費 40,043千円
 - 配水管改良工事（道の駅北1.2工区）
 - 配水管改良工事（道の駅南工区）
- 営業設備費 1,595千円
 - ・取替量水器購入 1,595千円



配水管改良工事
（道の駅北1工区 屋外給水工事）

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計（収益的支出）	901,869千円	834,666千円

下水道事業の概要

処理区域内人口は、13,797人で、前年度に比べ17人の増加、水洗化率は、93.3%で、前年度に比べ0.6ポイントの上昇となった。

この結果、年間有収水量は1,258,760m³で、前年度に比べ約1.2%の増加となった。

事項	R4年度	R5年度	R6年度
行政区域内人口（人）	14,451	14,246	14,039
処理区域内人口（人）	13,985	13,782	13,797
水洗化人口（人）	12,904	12,781	12,876
普及率（%）	100	100	100
水洗化率（%）	92.3	92.7	93.3
年間有収水量（m ³ ）	1,250,621	1,243,710	1,258,760
使用料単価（円/m ³ ）税抜	202.4	202.5	220.7

1. 収益的収入

(単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	767,075,938	79.7%	279,123,733	27.4%	307,147,077	29.6%
営業外収益	195,611,532	20.3%	739,193,671	72.6%	728,891,336	70.4%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	962,687,470	100.0%	1,018,317,404	100.0%	1,036,038,413	100.0%

2. 収益的支出

(単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	679,056,301	84.9%	723,193,315	86.6%	730,683,484	87.5%
営業外費用	120,739,238	15.1%	111,819,206	13.4%	103,958,684	12.5%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	24,100	0.0%
計	799,795,539	100.0%	835,012,521	100.0%	834,666,268	100.0%

【成果】 下水道施設の事故もなく、適切な維持管理等に努めることができた。公共用水域の水質保全の確保及び住民の生活環境の改善に寄与した。

●下水道使用料 収納状況 (単位：千円)

現年	R4年度	R5年度	R6年度
調定	278,417	277,464	310,305
収納	275,566	274,744	307,480
収納率	98.98%	99.02%	99.09%
未収	2,851	2,719	2,825

(単位：千円)

滞納繰越	R4年度	R5年度	R6年度
調定	3,213	3,822	3,411
収納	2,230	3,125	2,785
不納欠損	13	5	70
収納率	69.41%	81.76%	83.70%
未収	970	692	556



マンホール清掃

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計（資本的支出）	979,802千円	800,657千円

1. 資本的収入 (単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
企業債	144,500,000	20.4%	55,700,000	12.8%	36,300,000	10.5%
他会計出資金	392,382,000	55.3%	321,912,000	74.2%	300,020,000	86.8%
国庫補助金	170,771,000	24.1%	54,920,000	12.6%	6,592,000	1.9%
負担金等	1,820,120	0.2%	1,946,760	0.4%	2,738,870	0.8%
計	709,473,120	100.0%	434,478,760	100.0%	345,650,870	100.0%

2. 資本的支出 (単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	333,800,078	30.5%	127,626,558	14.6%	77,472,259	9.7%
固定資産購入費	0	0.0%	0	0.0%	308,000	0.0%
企業債償還金	760,718,028	69.5%	745,084,047	85.4%	722,757,140	90.3%
返還金	0	0.0%	0	0.0%	119,470	0.0%
計	1,094,518,106	100.0%	872,710,605	100.0%	800,656,869	100.0%

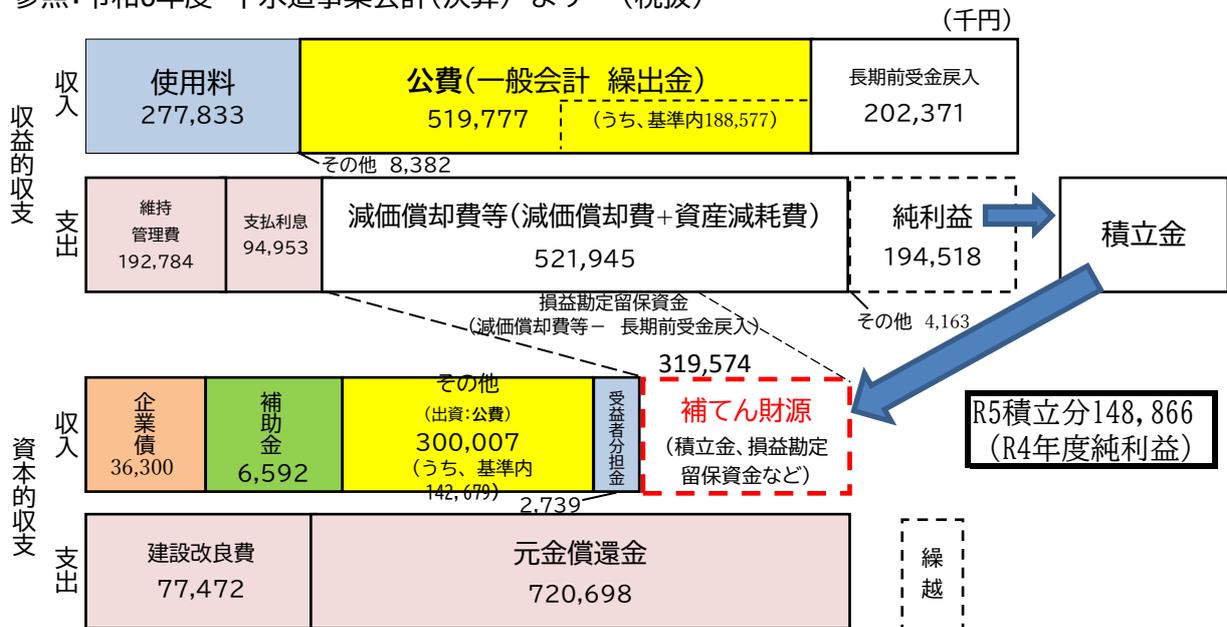
(建設改良費内訳)

- 管路建設改良費 61,257千円
- 道の駅北条公園北エリア布設替工事) 31,181千円)
- 処理場建設改良費 14,317千円
- 流域下水道建設費負担金 1,898千円



レジマンホールの据付け

参照：令和6年度 下水道事業会計(決算)より (税抜)



= 現金を伴うもの
 = 現金を伴わないもの

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
風力発電事業会計（収益的支出）	381,491千円	306,155千円

風力発電事業は、平成17年11月から本格運転を開始し、令和6年度で20年目を迎えている。

1,500kW／9基 総定格出力 13,500kW

1. 収益的収入 (単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	406,146,243	91.7%	456,045,805	92.6%	477,485,498	96.7%
財務収益	2,520,230	0.6%	2,551,448	0.5%	2,814,058	0.6%
事業外収益	34,271,890	7.7%	33,953,907	6.9%	13,204,022	2.7%
計	442,938,363	100.0%	492,551,160	100.0%	493,503,578	100.0%

2. 収益的支出 (単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	358,980,479	95.3%	341,032,693	93.2%	281,466,958	91.9%
事業外費用	17,620,600	4.7%	24,946,900	6.8%	24,688,400	8.1%
計	376,601,079	100.0%	365,979,593	100.0%	306,155,358	100.0%

3. 視察・見学者 168人 (12団体)

4. 20年を振り返るイベント

- ・風車現地ワークショップ (10/12) 25名

風車に直接触れたり、管理しているシステムで風車を止めたりするなど、風車をより身近に感じてもらえた。



- ・まちの環境健康診断inわいわいフェスタ (10/26) 45名

北栄町の風力発電や環境に対する取り組みについて世界的な視点からの評価や今後のことなどの話を聞いた。併せて民間事業者と連携していろいろな体験ブースを設置した。(商工わいわいフェスタと共催)



5. 風車撤去実施設計

風車撤去実施設計委託料 71,500千円

R5年度に行った基本設計を基に、撤去工法、必要なヤードの範囲、手続き及びスケジュールなどについて実施設計を行い、撤去に伴う概算事業費を算出した。

6. 年間発電量

売電実績 21,155,760kWh

(単位：kWh)

月	過去平均 売電電力量 (H17～R5) ①	年間推定 売電電力量 ②	年間売電 電力量 (実績) ③	過去平均と の比較 ③/①	売電電力量 達成率 ③/②
R6.3	2,418,467	2,850,552	2,869,680	118.7%	100.7%
4	1,929,108	1,562,004	903,120	46.8%	57.8%
5	1,437,491	1,250,883	1,845,840	128.4%	147.6%
6	840,023	1,581,444	1,009,680	120.2%	63.8%
7	984,080	1,082,403	1,102,320	112.0%	101.8%
8	911,036	1,122,174	591,120	64.9%	52.7%
9	1,206,892	1,698,894	975,600	80.8%	57.4%
10	1,563,241	1,717,281	1,676,880	107.3%	97.6%
11	1,947,639	2,156,787	2,469,120	126.8%	114.5%
12	2,601,281	2,678,832	2,934,000	112.8%	109.5%
R7.1	2,435,283	3,805,380	2,507,280	103.0%	65.9%
2	2,348,980	2,425,950	2,271,120	96.7%	93.6%
年計	20,623,521	23,932,584	21,155,760	102.6%	88.4%

【成果】 風力発電施設の適正な管理を行ったことで、年間8,716tのCO₂を削減した。
また、純利益は185,825,312円となった。

会 計 名	予算現額	決算額
風力発電事業会計（資本的支出）	100,000千円	100,000千円

1. 資本的収入

なし

2. 資本的支出

(単位：円)

事項	R4年度		R5年度		R6年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
基金積立金	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%
計	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%

(内訳)

○基金積立

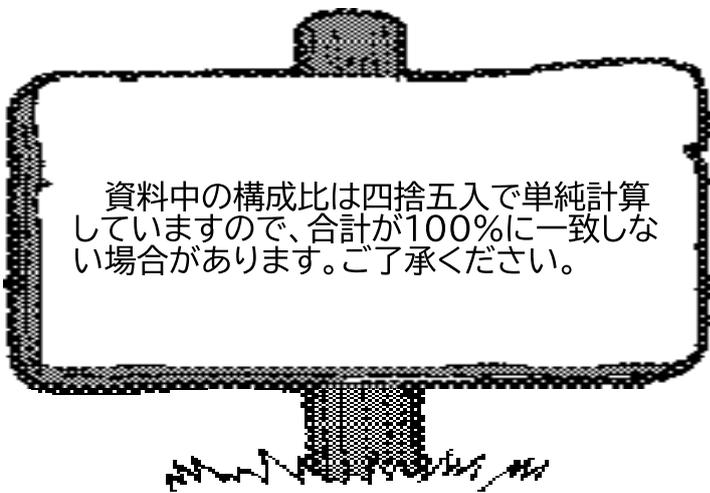
100,000千円

3. 基金

(単位：円)

R5年度末残高	新規積立	取り崩し	R6年度末現在高
1,082,654,735	100,000,000	0	1,182,654,735

資 料 編



資料中の構成比は四捨五入で単純計算
していますので、合計が100%に一致しな
い場合があります。ご了承ください。

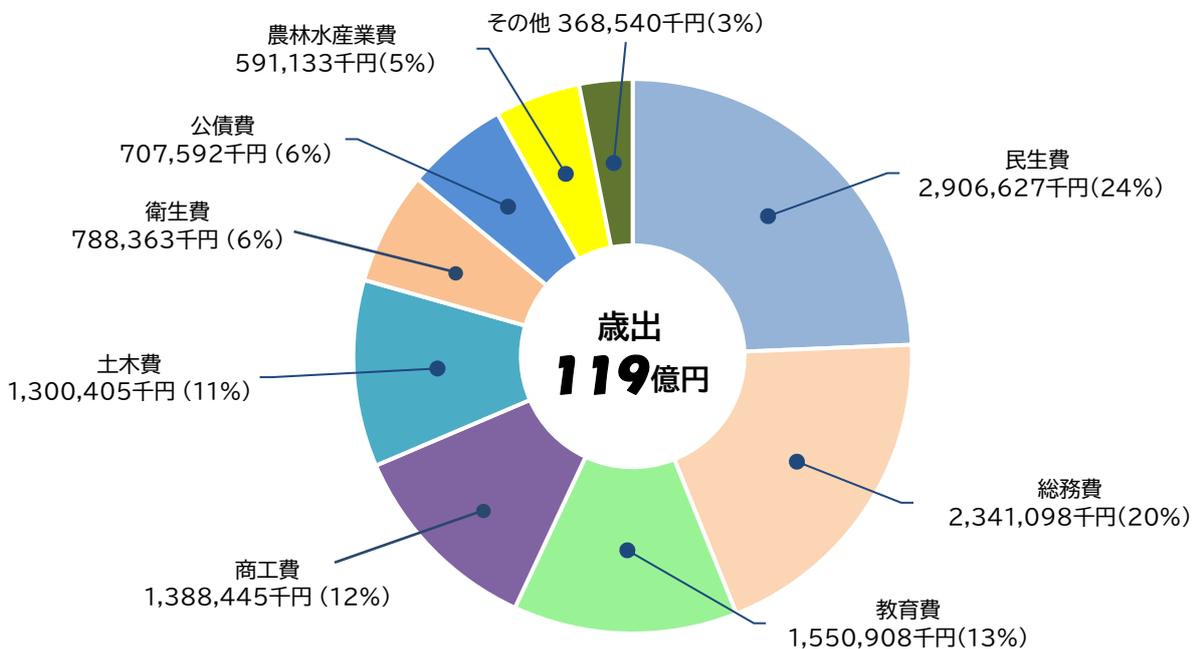
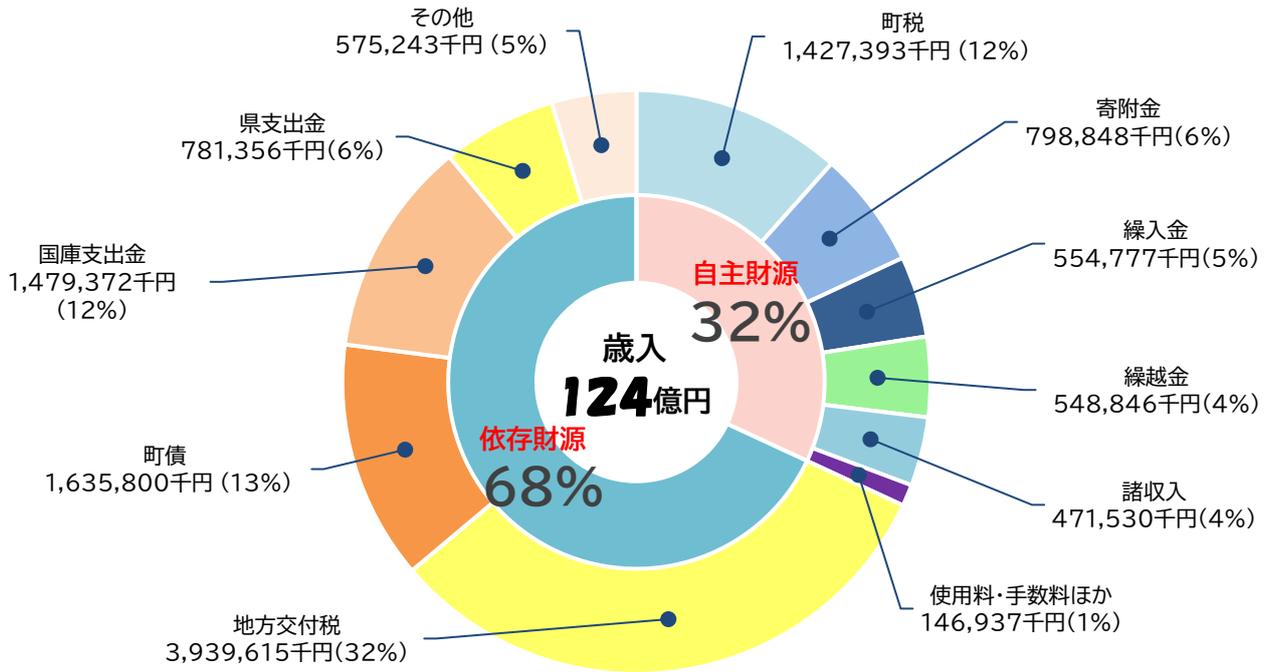
令和6年度各会計別決算状況

(単位:千円)

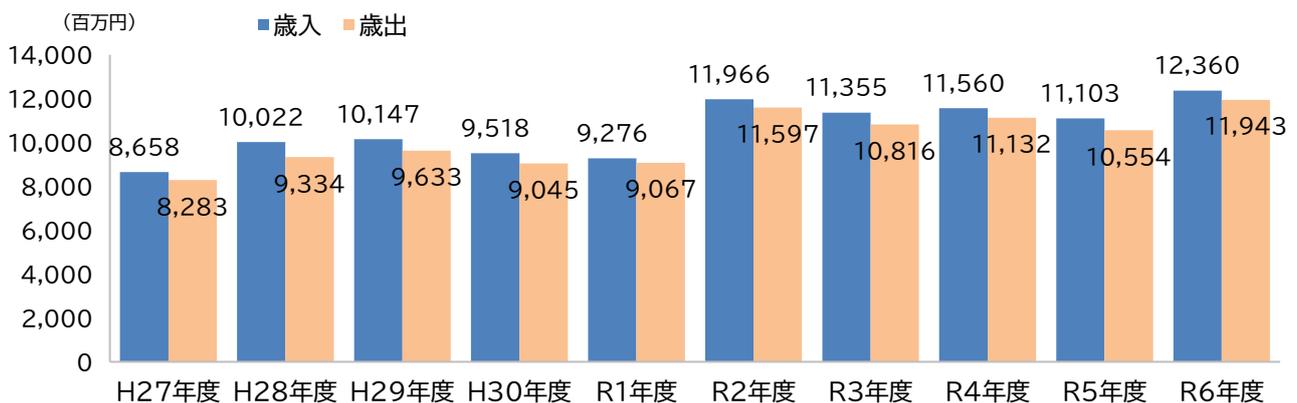
会 計 名	予算現額 (A)	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C)(D)	翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支額 (D-E) (F)		予算に対する決算額の比率	
					通次繰越	明許繰越	事故繰越	合計(E)	歳入(B/A)	歳出(C/A)	
一般会計	13,367,435	12,359,716	11,943,111	416,605	0	96,221	0	96,221	320,384	92.5	89.3
国民健康保険事業特別会計	1,869,463	1,753,856	1,648,323	105,533	0	0	0	0	105,533	93.8	88.2
介護保険事業特別会計	1,854,317	1,811,461	1,706,994	104,467	0	0	0	0	104,467	97.7	92.1
農業集落排水事業特別会計	13,222	13,474	10,131	3,343	0	0	0	0	3,343	101.9	76.6
栄財産区特別会計	587	691	226	465	0	0	0	0	465	117.7	38.5
大栄歴史化学習館特別会計	184,282	199,460	180,231	19,229	0	0	0	0	19,229	108.2	97.8
後期高齢者医療事業特別会計	264,468	263,006	262,346	660	0	0	0	0	660	99.4	99.2
合 計	17,553,774	16,401,664	15,751,362	650,302	0	96,221	0	96,221	554,081	93.4	89.7

会 計 名	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C)(D)
水道事業会計	269,915	213,130	56,785
収益的収支	41,977	99,980	△ 58,003
資本的収支	1,036,038	834,666	201,372
下水道事業会計	345,651	800,657	△ 455,006
収益的収支	493,504	306,155	187,349
資本的収支	0	100,000	△ 100,000

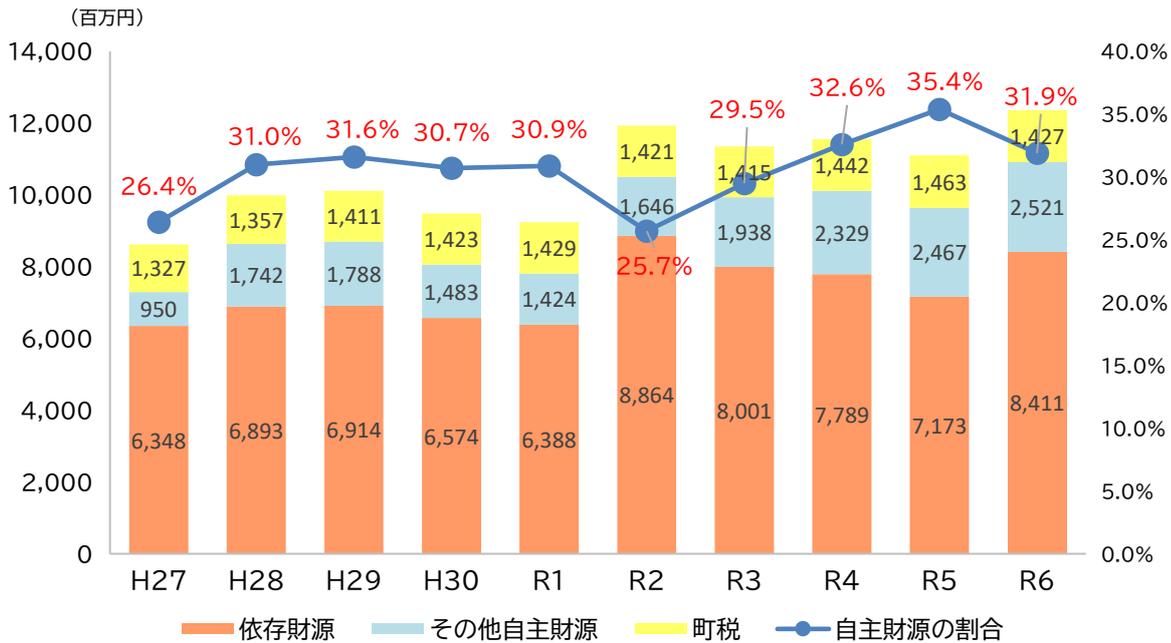
令和6年度決算(一般会計)



決算規模の推移(一般会計)



歳入決算額の推移（一般会計）



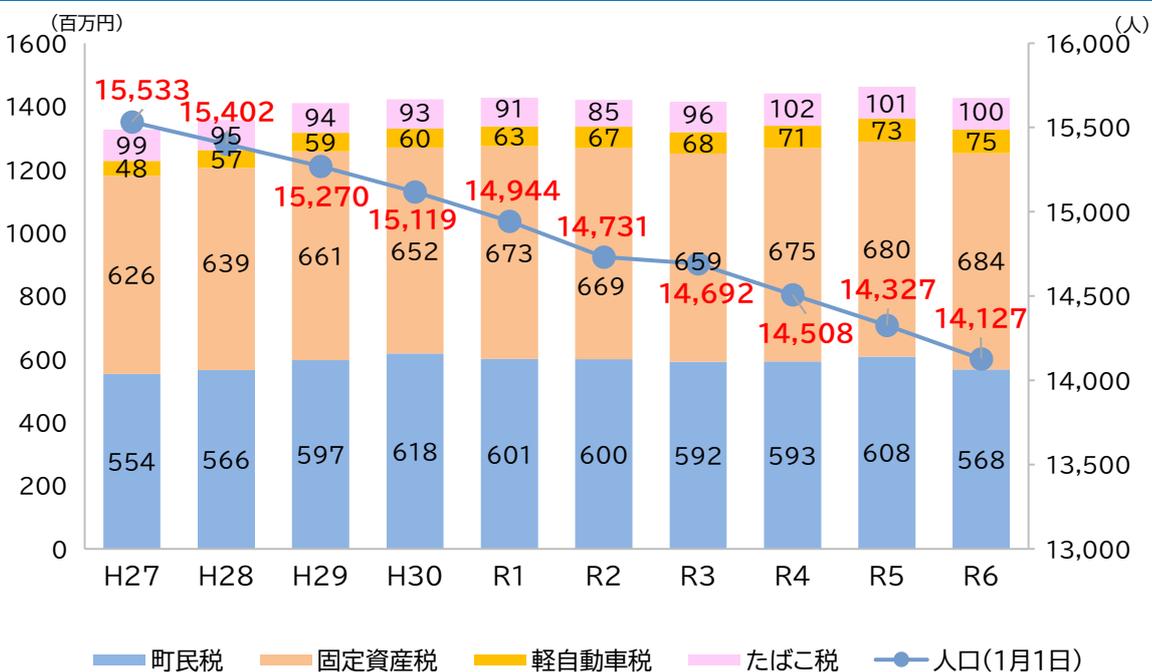
自主財源

町税や使用料、手数料など、地方自治体が自主的に集めることができる収入です。

依存財源

地方交付税や国庫支出金、借入金（町債）など、国や県から交付されたり割り当てられる収入です。

町税と人口の推移



普通会計決算状況(地方財政状況調査より)

①歳入決算額

(単位:千円、%)

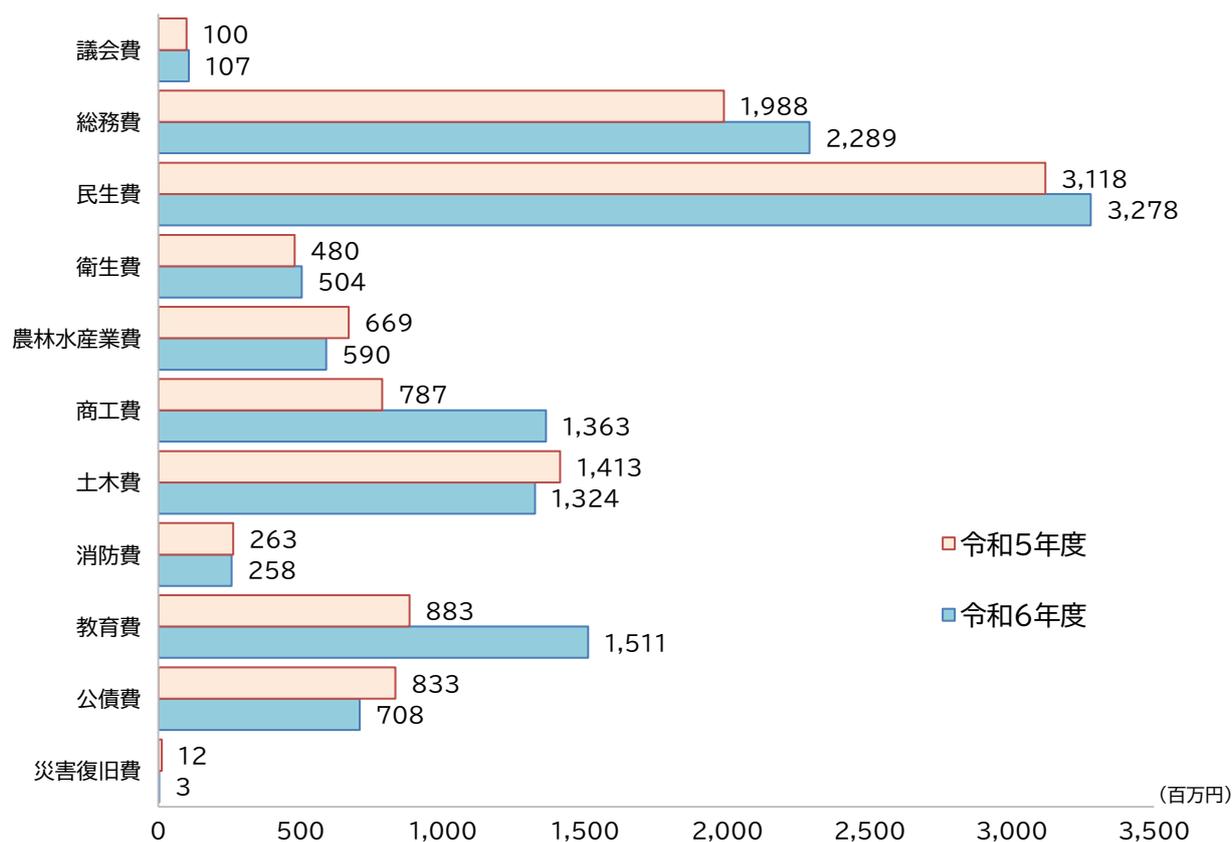
区分	令和6年度決算額		令和5年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 自主財源	3,939,811	31.9	3,922,471	35.4	17,340	0.4
町税	1,427,393	11.6	1,462,848	13.2	△ 35,455	△ 2.4
分担金及び負担金	12,405	0.1	13,441	0.1	△ 1,036	△ 7.7
使用料及び手数料	59,876	0.5	79,888	0.7	△ 20,012	△ 25.1
財産収入	82,096	0.7	85,653	0.8	△ 3,557	△ 4.2
寄附金	798,848	6.5	880,849	7.9	△ 82,001	△ 9.3
繰入金	550,528	4.5	631,811	5.7	△ 81,283	△ 12.9
繰越金	548,846	4.4	427,938	3.9	120,908	28.3
諸収入	459,819	3.7	340,043	3.1	119,776	35.2
2 依存財源	8,411,385	68.1	7,172,860	64.6	1,238,525	17.3
地方譲与税	92,483	0.7	91,396	0.8	1,087	1.2
利子割交付金	894	0.0	858	0.0	36	4.2
配当割交付金	12,984	0.2	8,333	0.2	4,651	55.8
株式等譲渡所得割交付金	17,003	0.1	9,642	0.1	7,361	76.3
法人事業税交付金	19,935	0.1	18,885	0.2	1,050	5.6
地方消費税交付金	346,763	2.8	326,600	2.9	20,163	6.2
自動車税環境性能割交付金	11,008	0.1	10,892	0.1	116	1.1
地方特例交付金等	72,453	0.6	13,093	0.1	59,360	453.4
地方交付税	3,939,615	31.9	3,870,502	34.9	69,113	1.8
交通安全対策特別交付金	1,720	0.0	1,806	0.0	△ 86	△ 4.8
国庫支出金	1,479,372	12.0	1,274,974	11.5	204,398	16.0
県支出金	781,355	6.3	840,479	7.6	△ 59,124	△ 7.0
町債	1,635,800	6.3	705,400	6.4	930,400	131.9
歳入合計	12,351,196	100.0	11,095,331	100.0	1,255,865	11.3

※引き上げ分の地方消費税収(202,548千円)は、社会保障施策に要する経費の財源となります。

②歳出決算額(目的別)

(単位:千円、%)

目的別	令和6年度決算額		令和5年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	107,351	0.9	100,459	1.0	6,892	6.9
2 総務費	2,288,556	19.2	1,987,683	18.8	300,873	15.1
3 民生費	3,277,954	27.5	3,117,910	29.6	160,044	5.1
4 衛生費	504,209	4.2	480,347	4.6	23,862	5.0
5 農林水産業費	590,348	4.9	669,323	6.3	△ 78,975	△ 11.8
6 商工費	1,362,655	11.4	786,779	7.5	575,876	73.2
7 土木費	1,324,065	11.1	1,413,048	13.4	△ 88,983	△ 6.3
8 消防費	257,614	2.2	263,279	2.5	△ 5,665	△ 2.2
9 教育費	1,510,913	12.7	883,018	8.4	627,895	71.1
10 公債費	707,592	5.9	832,695	7.9	△ 125,103	△ 15.0
11 災害復旧費	3,335	0.0	11,944	0.1	△ 8,609	△ 72.1
歳出合計	11,934,592	100.0	10,546,485	100.0	1,388,107	13.2

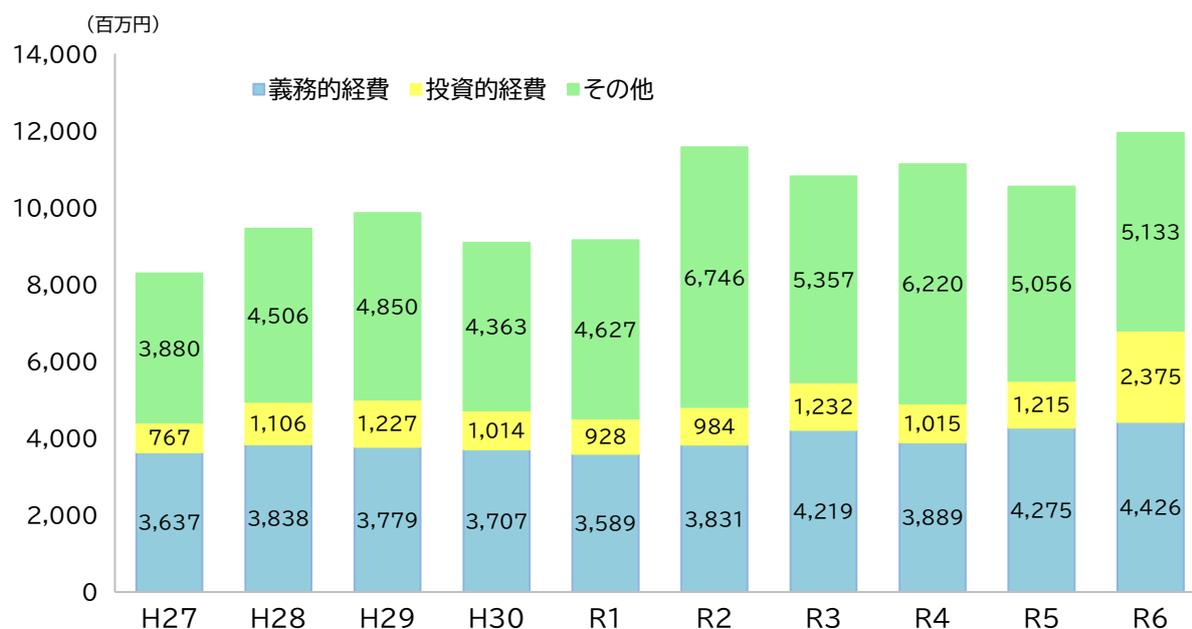


③歳出決算額(性質別)

(単位:千円、%)

性質別	令和6年度決算額		令和5年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 人件費	2,150,838	18.0	1,962,474	18.6	188,364	9.6
2 物件費	1,485,775	12.4	1,393,212	13.2	92,563	6.6
3 維持補修費	40,540	0.3	35,593	0.3	4,947	13.9
4 扶助費	1,567,655	13.1	1,480,331	14.0	87,324	5.9
5 補助費等	2,017,319	16.9	2,056,406	19.5	△ 39,087	△ 1.9
6 普通建設事業費	2,371,934	19.9	1,203,083	11.4	1,168,851	97.2
7 災害復旧費	3,335	0.0	11,944	0.1	△ 8,609	△ 72.1
8 公債費	707,592	5.9	832,695	7.9	△ 125,103	△ 15.0
9 積立金	627,046	5.3	576,427	5.5	50,619	8.8
10 投資及び出資金	300,020	2.5	321,912	3.1	△ 21,892	△ 6.8
11 貸付金	15,250	0.1	14,150	0.1	1,100	7.8
12 繰出金	647,288	5.4	658,258	6.2	△ 10,970	△ 1.7
歳出合計	11,934,592	100.0	10,546,485	100.0	1,388,107	13.2

※下水道事業繰出金(819,797千円)は、決算統計において補助費等(519,777千円)、投資及び出資金(300,020千円)として計上しています。

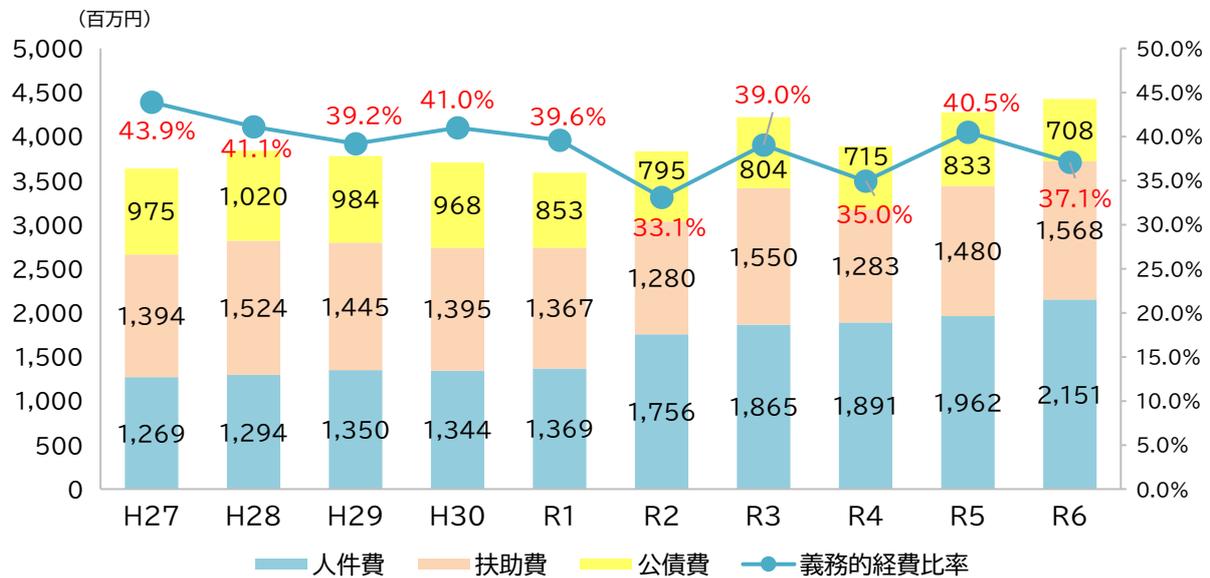


④ 義務的経費の推移

義務的経費

人件費、扶助費、公債費は毎年支出が義務付けられ、節減することが難しい経費です。

義務的経費の割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなります。そうすると、新たな事業やサービスなどが難しくなります。

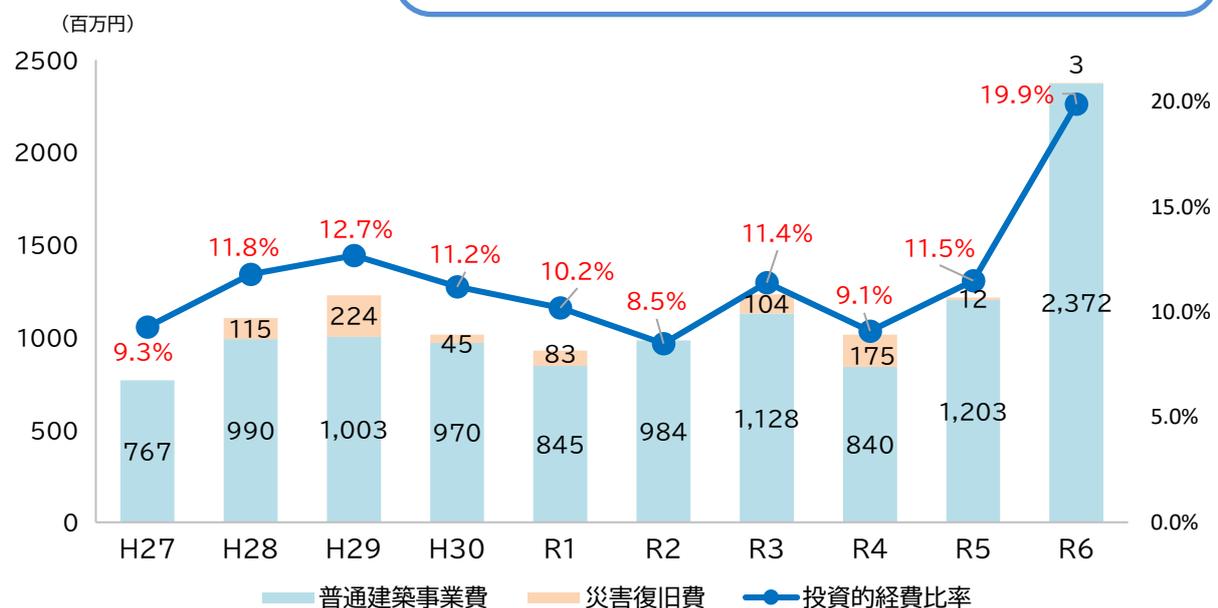


⑤ 投資的経費の推移

投資的経費

道路や施設など将来に残るものに支出される経費です。

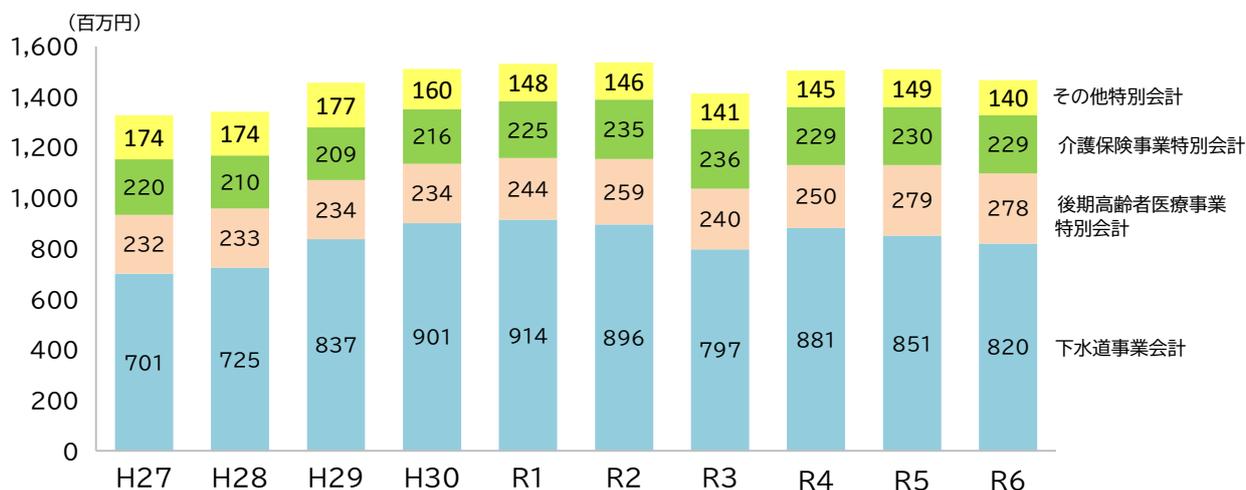
通常は、道路や公園、学校、公民館その他の公共用施設の新増設や大規模修繕、大型備品の購入などに要する経費（普通建築事業費）です。



⑥繰出金の推移

(単位:千円)

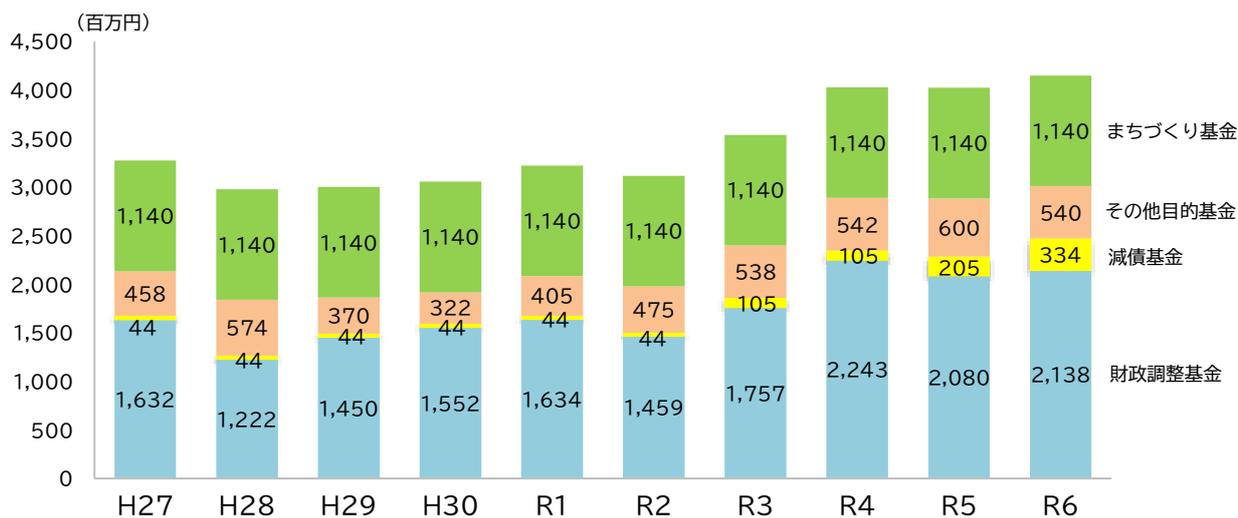
区 分	R2	R3	R4	R5	R6
下水道事業会計	896,215	796,638	881,274	850,715	819,797
後期高齢者医療事業特別会計	258,908	239,602	250,326	278,841	277,592
介護保険事業特別会計	235,353	235,630	229,038	229,833	229,437
国民健康保険事業特別会計	132,539	128,061	130,869	130,284	131,468
農業集落排水事業特別会計	9,135	11,916	9,437	11,590	8,791
合併処理浄化槽事業特別会計	4,441	1,263	4,995	7,710	
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
合 計	1,536,591	1,413,110	1,505,939	1,508,973	1,467,085



⑦基金残高の推移

(単位:千円)

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
財政調整基金	1,459,187	1,756,617	2,243,386	2,080,139	2,137,737
減 債 基 金	44,062	104,680	104,684	204,688	333,799
そ の 他 目 的 基 金	474,502	537,876	542,341	600,201	540,009
ま ち づ くり 基 金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000
合 計	3,117,751	3,539,173	4,030,411	4,025,028	4,151,545

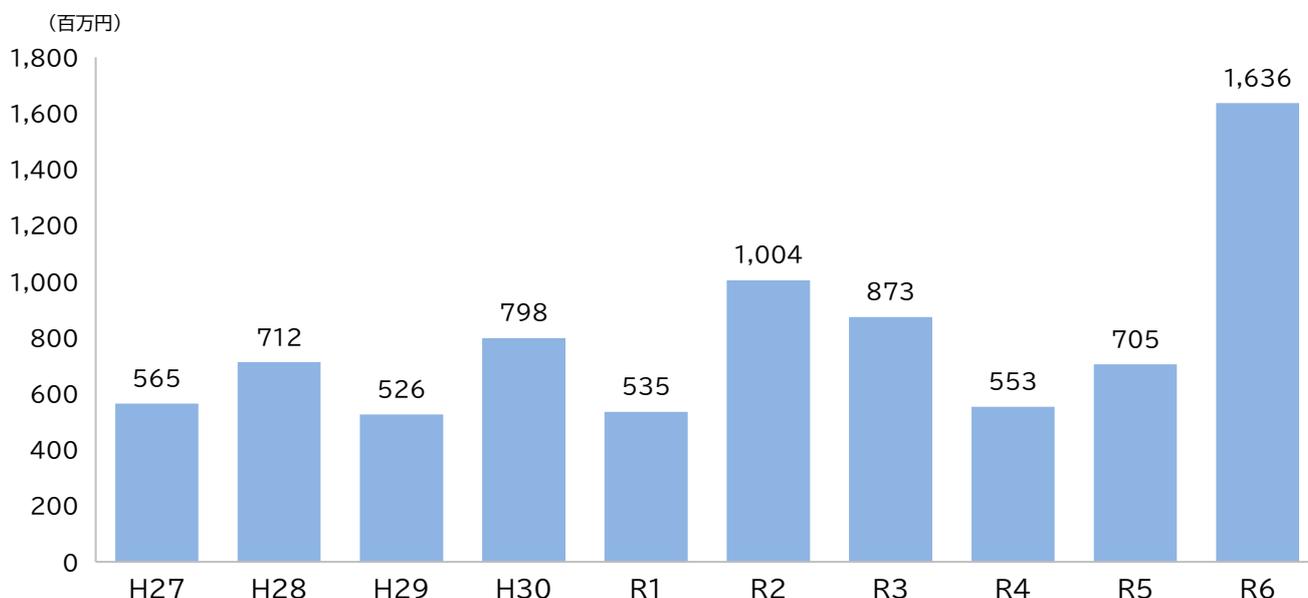


⑧地方債残高の内訳

(単位:千円)

区 分	令和5年度末 現在高	令和6年度 発行額	令和6年度 元金償還額	令和6年度末 現在高
一般会計債	7,225,868	1,635,800	678,379	8,183,289
1 普通債	4,996,218	1,633,800	352,374	6,277,644
2 災害復旧	127,930	2,000	14,482	115,448
3 その他	2,101,720	0	311,523	1,790,197
(1) 減収補てん債	13,607	0	1,943	11,664
(2) 臨時財政対策債	2,084,425	0	307,322	1,777,103
(3) 減税補てん債	3,687	0	2,258	1,429

⑨地方債年度別借入額の推移



公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄うと、ほかのサービスが提供できなくなる可能性があります。また、整備した施設は現在の町民だけでなく、将来の町民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、町債（借金）を活用し、世代間で平等に費用を負担します。

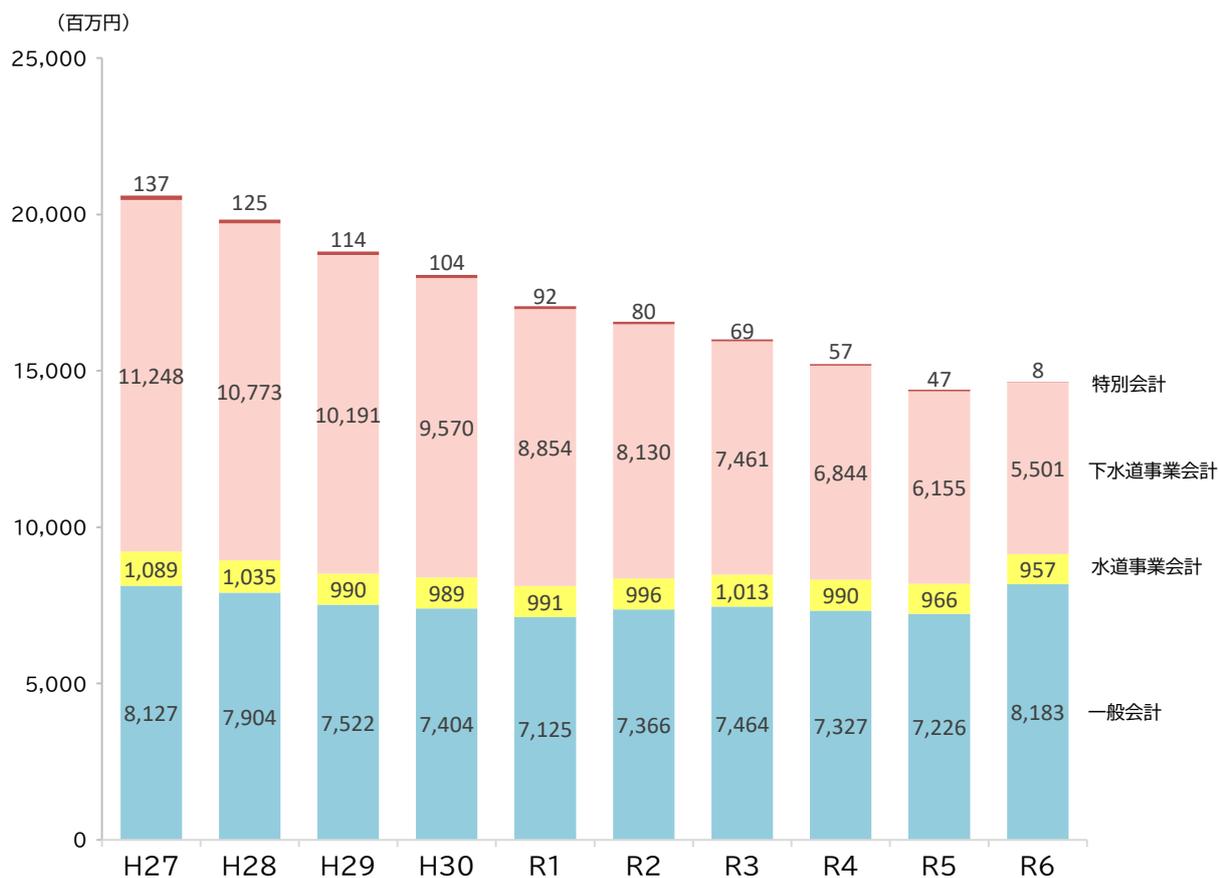
地方債残高の推移(各会計)

(単位:百万円)

会計名	R2	R3	R4	R5	R6
一般会計	7,366	7,464	7,327	7,226	8,183
特別会計	80	69	57	47	8
住宅新築資金等貸付事業特別会計	0	0	0	0	0
農業集落排水事業特別会計	42	33	23	15	8
介護保険事業特別会計	0	0	0	0	0
合併処理浄化槽事業特別会計	38	36	34	32	
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
公営企業会計	9,126	8,474	7,834	7,121	6,458
水道事業会計	996	1,013	990	966	957
下水道事業会計	8,130	7,461	6,844	6,155	5,501
風力発電事業会計	0	0	0	0	0
合計	16,572	16,007	15,218	14,394	14,649

※ 一般会計及び特別会計は出納閉鎖の5月末時点。

※ 公営企業会計は3月末時点。

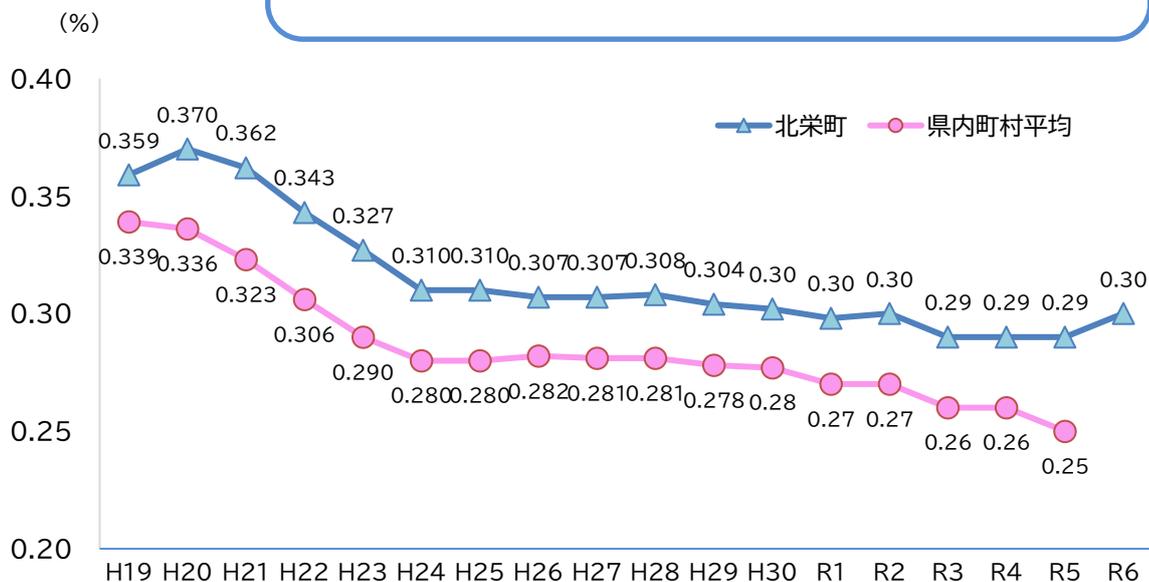


財政力指数の推移

財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数。標準的な行政サービスを行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを示します。

★この数値が大きいほど財政力が強く、1未満の場合は国から普通交付税が交付されます。

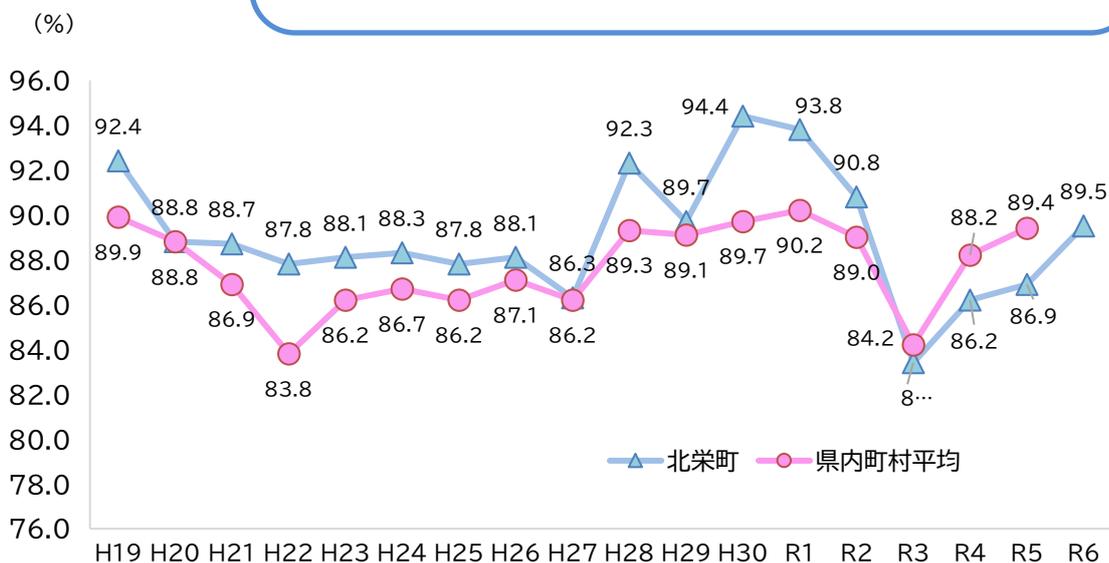


経常収支比率の推移

経常収支比率

地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように義務的に支出される経費に充てた割合。

★財政構造の弾力性を示す指標で、この比率が低いほど弾力性が大きいことを示します。



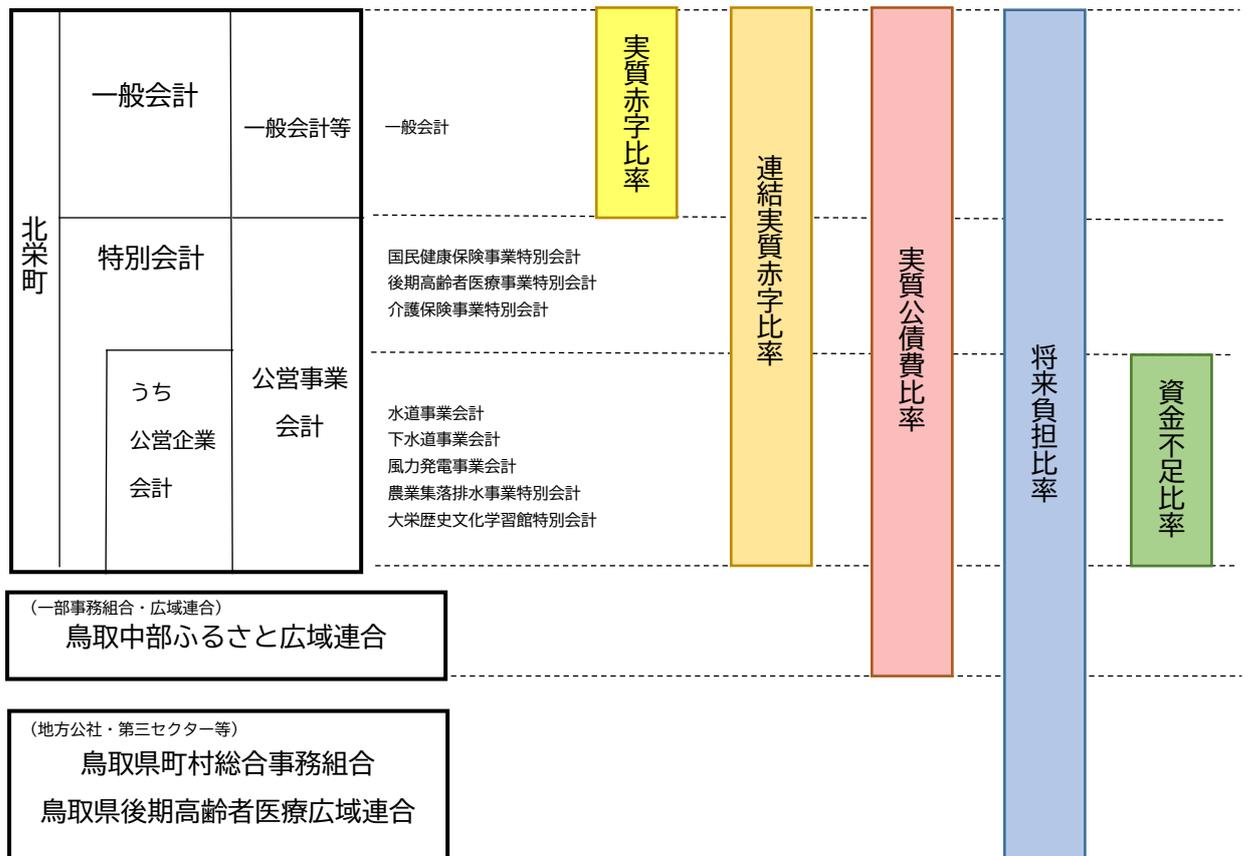
健全化判断比率等の状況(令和6年度決算)について

1 概要

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年 6 月 22 日公布）」に基づき算定するもので、地方公共団体の財政の健全度を表す「健全化判断比率（①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率）と公営企業の健全度を表す「資金不足比率」を公表します。

※毎年度、監査委員の審査に付した上で、議会に報告し、公表しなければならないとされています。

2 対象会計



※地方公社・第三セクター等…債務保証及び損失補償契約を締結していない団体は除外

3 令和6年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果

令和6年度決算に基づいて、健全化判断比率を算定したところ、いずれも国の示した早期健全化基準を大きく下回っており、「健全」な状況となっています。

指標		令和6年度	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	①実質赤字比率	— (赤字なし)	— (赤字なし)	14.63%※	20%
	②連結実質赤字比率	— (赤字なし)	— (赤字なし)	19.63%※	30%
	③実質公債費比率	9.4%	9.5%	25%	35%
	④将来負担比率	40.0%	38.9%	350%	
⑤資金収支比率		— (資金不足なし)	— (資金不足なし)	経営健全化基準 20%	

※実質収支または連結実質収支は黒字であるため、「—」表示となります。

①実質赤字比率

実質赤字比率とは、地方公共団体の一般会計等の赤字額を標準財政規模の額で除して赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額 (実質収支額)}}{\text{標準財政規模}}$$

(単位：千円)

区 分	実質収支額			
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
一般会計	320,383	359,572	△39,189	△10.9%
標準財政規模	5,620,854	5,560,518	60,336	1.1%
実質赤字比率 (%)	—	—	—	—

※実質収支＝歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源

令和6年度の実質赤字比率は、一般会計等の実質収支が黒字だったため、算定されませんでした。

②連結実質赤字比率

連結実質赤字比率とは、すべての会計の黒字や赤字を合算し、標準財政規模の額で除して地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額（実質収支額または資金不足額・剰余額）}}{\text{標準財政規模}}$$

(単位：千円)

区 分	実質収支額		
	令和6年度	令和5年度	増減率
一般会計	320,383	359,572	△10.9%
国民健康保険事業特別会計	105,533	62,809	68.0%
後期高齢者医療事業特別会計	660	911	△27.6%
介護保険事業特別会計	104,467	162,016	△35.5%
水道事業会計	554,522	464,114	19.5%
下水道事業特別会計	484,723	419,983	15.4%
風力発電事業会計	471,091	397,632	18.5%
農業集落排水事業特別会計	3,343	0	—
合併処理浄化槽事業特別会計	—	10,883	—
大栄歴史文化学習館特別会計	19,229	38,636	△50.2%
計	2,063,951	1,905,673	
標準財政規模	5,620,854	5,560,518	1.1%
実質赤字比率 (%)	—	—	—

令和6年度の連結実質赤字比率は、すべての会計において、実質収支は黒字で資金不足が生じた会計はなかったため、算定されませんでした。

③実質公債費比率

実質公債費比率とは、借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し、赤字団体になる可能性が高まります。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{公債費及び公債費に準ずる額} - \text{特定財源} - \text{普通交付税算入額}}{\text{標準財政規模} - \text{元利償還金に係る交付税算入額}}$$

分子の計算

(単位：千円)

項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	増減額
①公債費の元利償還金の額（繰上償還除く）	642,592	713,558	715,325	△70,966
②積立不足額を考慮して算定した額	0	0	0	0
③満期一括償還の元金償還金	0	0	0	0
④公営企業の公債費に要する繰入金	673,319	715,261	766,095	△41,942
⑤一部事務組合等の公債費負担金等	28,603	29,930	22,887	△1,327
⑥公債費に準ずる債務負担行為	1,122	1,122	1,122	0
⑦一時借入金利子	0	0	0	0
公債費等額（①～⑦の計）A	1,345,636	1,459,871	1,505,429	△114,235
⑧特定財源 B	34,662	19,157	3,651	15,505
⑨普通交付税算入額 C	926,594	987,962	1,039,139	△61,368
分子 計（A－B－C）	384,380	452,752	462,639	△68,372

分母の計算

項 目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	増減額
⑩標準財政規模 D	5,620,854	5,560,518	5,547,134	60,336
⑪普通交付税算入額 E	926,594	987,962	1,039,139	△61,368
分母 計（D－E）	4,694,260	4,572,556	4,507,995	121,704

◆単年度比率

(令和3年度＝8.5%)

$$\text{令和4年度} = \frac{A \ 1,505,429 - B \ 3,651 - C \ 1,039,139}{D \ 5,547,134 - E \ 1,039,139} = \frac{462,639}{4,507,995} = 10.3\%$$

$$\text{令和5年度} = \frac{A \ 1,459,871 - B \ 19,157 - C \ 987,962}{D \ 5,560,518 - E \ 987,962} = \frac{452,752}{4,572,556} = 9.9\%$$

$$\text{令和6年度} = \frac{A \ 1,345,636 - B \ 34,662 - C \ 926,594}{D \ 5,620,854 - E \ 926,594} = \frac{384,380}{4,694,260} = 8.2\%$$

$$\text{令和6年度実質公債費比率（3カ年平均）} = \underline{9.4\%}$$

過去3か年の実質公債費比率は、令和4年度が10.3%、令和5年度が9.9%、令和6年度が8.2%で、3か年の平均は9.4%で昨年比0.1ポイント減となり、早期健全化基準の25.0%を大きく下回る状況となっています。

単年度の比率では、令和5年度と比較して1.7ポイント減となりました。

主な要因は、「①公債費の元利償還金」が減少したこと、下水道事業債の完済に伴い「④公営企業の公債費に要する繰入金」が減少したことで分子が減少したことのほか、交付税算入される地方債の償還が進んだことで「⑨⑩普通交付税の算入額」が減となったことにより分母が増加したことが挙げられます。

また、過去のピーク時である平成21年度の22.4%と比較すると、実質公債費比率は13.0ポイント減少し、県内町村平均に近い比率となっています。

今後は、青山剛昌ふるさと館や中央公民館大栄分館の建替等の大型事業による地方債借入を予定しているため、増加に転じ、しばらくは増加していくと見込んでいます。

④将来負担比率

将来負担比率とは、地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。この比率が高い場合は、標準財政規模に比べ将来負担額が大きいということであり、今後、将来負担比率が増大することにより、財政上の問題が生じる可能性が高くなります。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能財源等}}{\text{標準財政規模} - \text{元利償還金に係る交付税算入額}}$$

分子の計算

(単位：千円)

項 目	令和6年度	令和5年度	増減額
①地方債の残高	8,183,289	7,225,868	957,421
②債務負担行為に基づく支出予定額	957	2,080	△1,123
③公営企業債等繰入見込額	4,595,904	5,092,318	△496,414
④組合等負担等見込額	218,900	201,556	17,344
⑤退職手当負担見込額	790,270	706,444	83,826
⑥設立法人の負債額等負担見込額	0	0	0
⑦連結実質赤字額	0	0	0
⑧組合等実質赤字負担見込額	0	0	0
将来負担額(①～⑧の計) A	13,789,320	13,228,266	561,054
⑨充当可能基金	3,102,986	3,230,621	△127,635
⑩充当可能特定収入	298,018	330,376	△32,358
⑪基準財政需要額算入見込額	8,506,738	7,886,004	620,734
充当可能財源等 B(⑨～⑪の計)	11,907,742	11,447,001	460,741
分子 計(A-B)	1,881,578	1,781,265	100,313

分母の計算

項 目	令和6年度	令和5年度	増減額
⑫標準財政規模 C	5,620,854	5,560,518	60,336
⑬普通交付税算入額 D	926,594	987,962	△61,368
分母 計(C-D)	4,694,260	4,572,556	121,704

◆将来負担比率

$$\text{将来負担比率} = \frac{A \ 13,789,320 - B \ 11,907,742}{C \ 5,620,854 - D \ 926,594} = \frac{1,881,578}{4,694,260} = 40.0\%$$

令和6年度将来負担比率 = 40.0%

令和6年度決算では、令和5年度の38.9%に対し1.1ポイント増の40.0%となりました。
令和5年度と比較して微増となった主な要因については、将来負担額Aのうち下水道事業の地方債残高及び将来負担に係る算入率の減などにより「③公営企業債等繰入金見込額」

の減少額以上に「①一般会計債の地方債残高が大幅に増加（+957,421千円）」したこと、
 充当可能財源等Bのうち「①基準財政需要額算入見込額」が交付税措置のある地方債を借入れ
 たことで増となったことにより分子が増（+100,313千円）となったことのほか、普通交付税
 額等の増による②標準財政規模の増及び交付税算入される地方債の償還が進んだことで③
 普通交付税算入額が減となり、分母が増（+121,704千円）となったことが挙げられます。

また、将来負担比率は、過去のピーク時である平成20年度の205.3%から徐々に減少し
 てきていますが、県内町村平均と比較すると、まだ高い比率となっています。

今後は、青山剛昌ふるさと館や中央公民館大栄分館の建替等の大型事業による地方債借
 入を予定しているため、しばらくは将来負担比率も増加していくと見込んでいます。

⑤資金不足比率の状況

資金不足比率とは、公営企業の資金不足額または剰余額を、公営企業の事業規模である
 料金収入等の規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額または剰余額}}{\text{事業規模}}$$

(単位：千円)

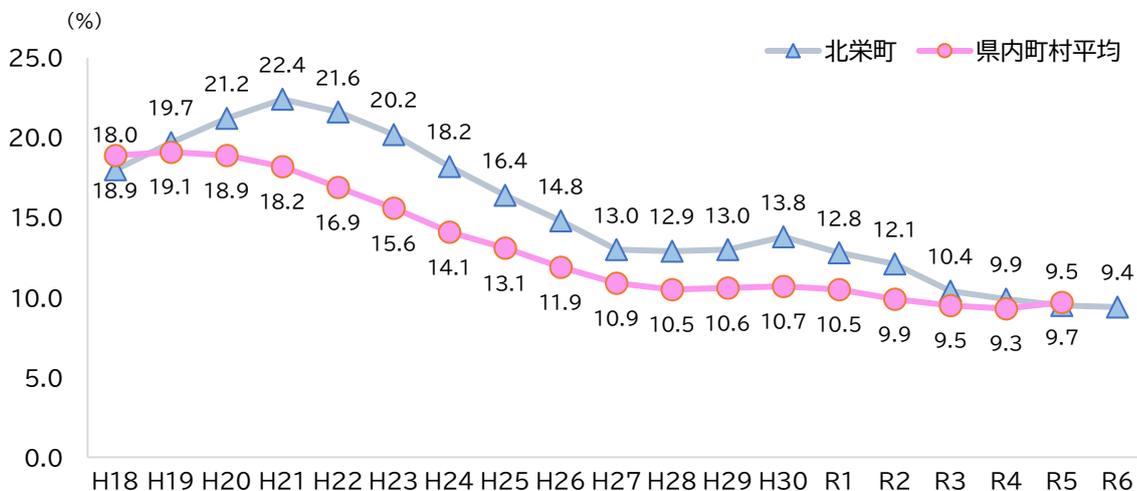
区 分	令和6年度			令和5年度		
	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金 不足 比率	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金 不足 比率
水道事業会計	554,522	224,679	—	464,114	223,772	—
下水道事業会計	484,723	276,684	—	419,983	253,967	—
風力発電事業会計	471,091	434,078	—	397,632	414,587	—
農業集落排水事業特別会計	3,343	4,684	—	0	4,253	—
合併処理浄化槽事業特別会計	—	—	—	10,883	2,700	—
大栄歴史文化学習館特別会計	19,229	160,824	—	38,636	122,496	—

令和6年度の資金不足比率は、すべての会計において、資金不足はなかったため、算定
 されませんでした。

実質公債費比率の推移

実質公債費比率

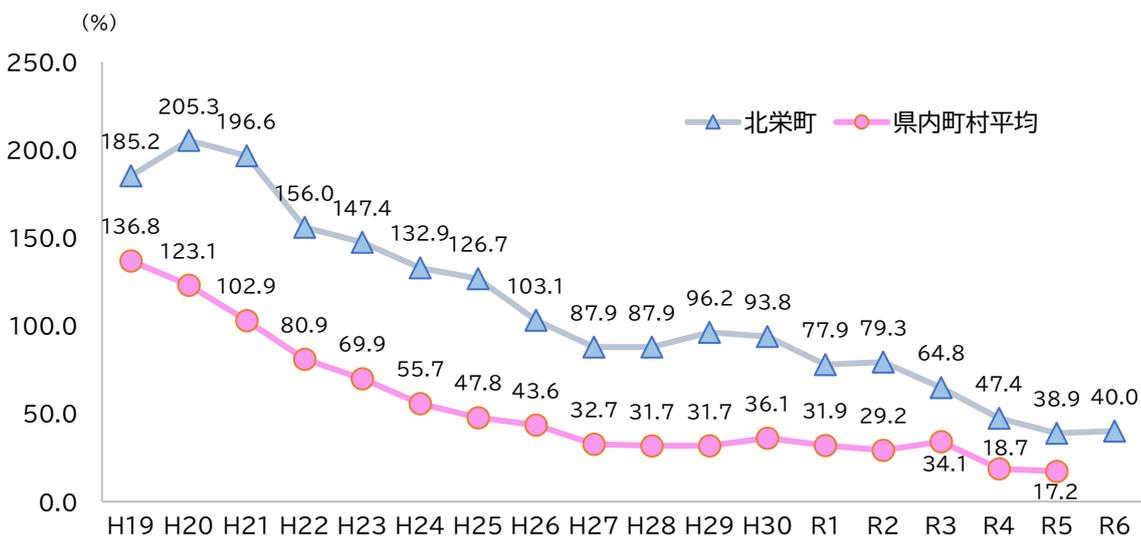
公債費や公債費に準じた経費を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、財政の硬直化をします。
 ★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払いなどのその年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いことを示します。



将来負担比率の推移

将来負担比率

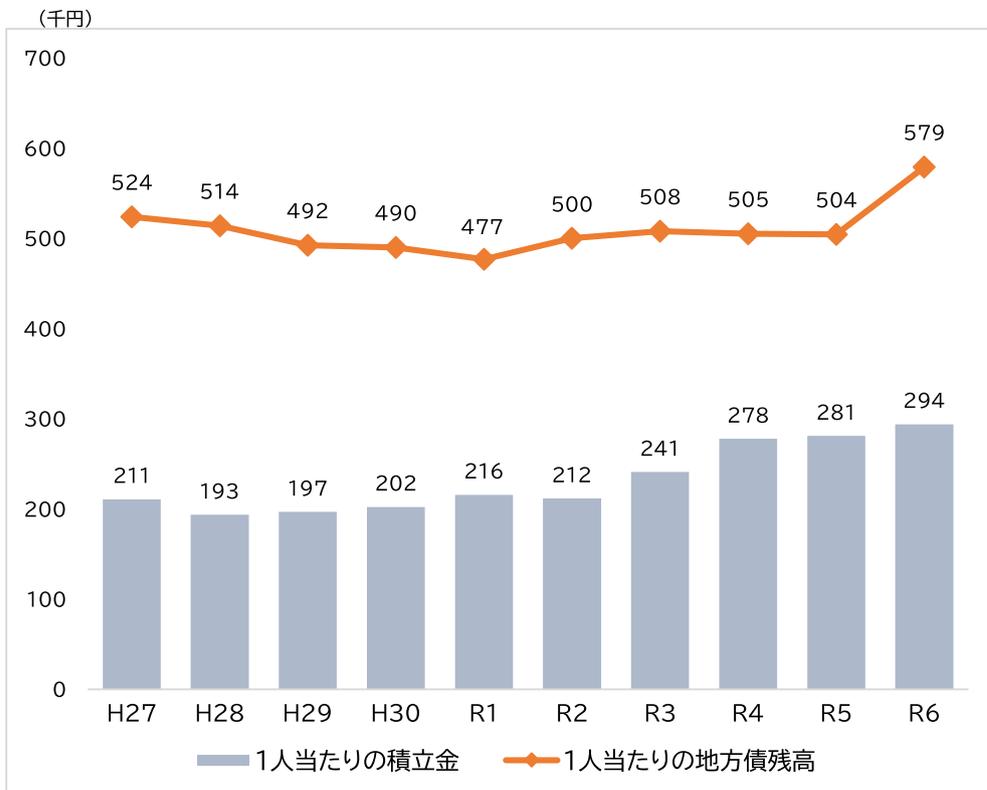
地方債の現在高など、将来実質的に負担すべき債務を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、将来負担の程度を把握するものです。
 ★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払い残高などが、年収の3.5倍(350%)以上になると、経済的苦境に陥る状態にあることを示します。



実質公債費比率と将来負担比率における状況



町民1人当たりの地方債残高・積立金の推移(一般会計)





北栄町役場

大栄庁舎 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1

電話番号:0858-37-3111

FAX番号:0858-37-5339

北条支所 〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下121-1

電話番号:0858-36-3111

FAX番号:0858-36-4595